

1830迄 (2634件)

1821年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテ・スルタン「Muhammad Sarmoli」(~1823年)
 1821年-08:00|インドネシア| |||<復位>パレンバン・スルタン「Sultan Ahmad Najamuddin3世」(~1823年)
 1821年-07:00|ラオス/タイ| |||<就任>チャンパ・サック総督「ラージャブト・ヨー」(~1827年没)
 1821年-05:30|インド| |||<就任>アサカル国ラジャ「カラン・クリシュナ・チャンドラ・パワルタ・パトナイク」(~1825年)
 1821年-05:30|インド| |||<就任>カンパラ国ラジャ「クリシュナ・チャンドラ・シン・プラマハール・ライ」(~1842年)
 1821年-05:30|インド| |||<就任>コンダル国統治者(タル・サーヒブ)「チャンドラシンジ・デヴァジ・モティバ・イ・サーヒブ」(~1841年没)
 1821年-05:30|インド| |||<就任>ジャバア国ラジャ「プラタップ・シン」(~1832年没)
 1821年-05:30|インド| |||<就任>バガット国統治者(ナ)「モヒンダル・シン」(~18390711没)
 1821年-05:30|インド| |||<就任>バジヤナ国統治者(マレク)「ダリヤ・ハンジ」(~1841年没)
 1821年-05:30|インド| |||<就任>ランブル国ラジャ「プラジ・スンダル・バジユダル・ナレンドラ」(~1842年)
 1821年-05:30|インド| |||イタル国モサガアファマダ・ナガルに吸収される
 1821年-05:30|インド/イギリス| |||ナラグント国が国家として認められる(イギリスの保護領)
 1821年-05:30|インド/イギリス| |||ヒプロダ国、ラムトウル国はイギリスの保護領
 1821年-05:00|ガザフスタン| |||<就任>中ジユス・ハン「ケナサル」カスムの子(~1847年)
 1821年-04:00|ジョージア| |||<就任>スヴァニア公「ツイオク・ベ」12世(~1841年9月没)
 1821年-03:00|エチオピア| |||<就任>ハラール首長国エミール「アブドゥ・ウ・アル・ラマン・イブン・ムハンマド」(~18250616没)
 1821年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラのムテッサリフ「カジム・アガ」(~1823年)
 1821年-03:00|エチオピア| |||<即位>カファ帝国カフィ・アティオ「ガハ・ネチョ」(~1841年)
 1821年-03:00|ジブチ| |||<即位>タジュラ・スルタン国スルタン「アロム・ムハンマド・ビン・フマド」(~1859年)
 1821年-02:00|ジンバブエ| |||<就任>アマンデベレ統治者(ソシ)「ムジリカシ・カムソバ・ナ・クマロ」ズール族の酋長が移住し建国(~18680905没)
 1821年-02:00|ザンベーク| |||<即位>アンゴシェ・スルタン国スルタン「アラウー・ムゴ・シリマ」(~?) =>「アファデ・イ・イブン・スレイマン・バーリ・ブワ・ムク」(~1849年)
 1821年-01:00|ベナン| |||<死去>サハルのマニ国統治者「ケバギ・デ」15世「デブ」
 1821年-01:00|スペイン/パナマ| |||<死去>ペラガア公「マリアーノ・コロン・テ・ラアテグ・イ・イ・ヒメネス・デ・エンボン」
 1821年-01:00|ニジェール| |||<就任>アイル国統治者(アメノカ)「イブラヒム・ワッファ」(~1828年)
 1821年-01:00|ベナン| |||<就任>アグウェのウエ国統治者「カトヤ」(~1833年)
 1821年-01:00|ベナン| |||<就任>サハルのマニ国統治者「ケバギ・デ」16世「ユニユイ」(~1863年没)
 1821年-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公国管理評議会会長「イェヴレム・オブレノヴィッチ」(~1826年)
 1821年-01:00|スペイン/パナマ| |||<就任>ペラガア公「ペドロ・コロン・テ・ラアテグ・イ・イ・ラミレス・デ・バグダノ」先代の子(~1866年没)
 1821年 00:00|トゴ| |||<就任>ア林統治者(アッ・タ)「アスリグ・イ」(~1835年)
 1821年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「John Pine Coffin」(~1823年)
 1821年 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島市民知事「Juan Bautista Antequera」(~1822年)
 1821年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<死去>南グリーンランド 検査官「Marcus Nissen Myhlenphort」
 1821年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>南グリーンランド 検査官代理「Christian Alexander Platou」(1期目~1823年)
 1821年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督代理「Samuel Hinds」(~同年) =>総督「Sir Henry Warde」(~1829年)
 1821年 04:00|トニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総督・総司令官「パスカル・レアル」(~12. 1)
 1821年1月-05:00|ウズベキスタン/カザフスタン/キルギス/タジキスタン| |||<死去>コーカンド・ハン国ハン「ムハンマド・ウマル・ハン」
 1821年1月-05:00|ウズベキスタン/カザフスタン/キルギス/タジキスタン| |||<即位>コーカンド (フェルガナ)ハン「ムハンマド・アリー・ハン」ウマル・ハンの息子(~1842. 4、ブハラ・アミール国により処刑される)、摂政「Haq Quli Bek」(~1827年死去)
 1821年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「デビッド・フォン・ワイス2世」Con(2期目~12. 31)
 1821年1月1日 00:00|ポルトガル| |||<死去>3代オエイラス公・3代ポンバル侯「ル・フランシスコ・ザビエル・マリア・デ・カルヴァリョ・メロ・エ・タウ」
 1821年1月1日 00:00|ポルトガル| |||<就任>4代オエイラス公・4代ポンバル侯「セバスチャン・ル・デ・カルヴァリョ・メロ・エ・タウ」(~1834 0222死去)
 1821年1月1日 00:00|カーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールト=コスト総督「ピーター・フレデリック・スヴェイン・ステフェンス」(~9. 5没)
 1821年1月1日 00:00|ポルトガル/ブラジル| |||ベレンに駐留するポルトガル軍、本国に呼応し、自由主義者と結びついて反乱
 1821年1月3日 05:00|エクトル| |||タニガアの闘い/ル・バルサル・ガルの部隊が、王党軍に敗れる/独立派兵士410人が戦死
 1821年1月3日-09:00|日本| ||文政3年11月29日<死去>2代芳村伊三郎(86歳)長唄唄方
 1821年1月15日-02:00|ルーマニア| |||<即位>ワキア公(統治委員会)「ゲリゴレ・ブルコベア」
 1821年1月15日 04:00|BES諸島/セント・マルテン/オランダ| |||セント・ユスティウス島はセント・マーティンに従属(~18280520)、サハはセント・ユスティウスに従属(~1848年)
 1821年1月19日-02:00|ルーマニア| |||ワキア総督・領主「アレクサンドル・ド・ラコ・ニコラエ・ストゥ」
 1821年1月21日 00:00|南極/ルウェー| |||ピーター1世島は、ロシアの探検家ファビアン・ゴットリーブ・フォン・リング・スハゲンによって発見
 1821年1月21日 00:00|ポルトガル/ブラジル| |||リスボンに議会が成立。絶対王政の終焉を宣言。財の王朝との二重権力

1830迄 (2634件)

となる

1821年1月25日-09:00|日本| ||文政3年12月22日|<死去>本多利明(78歳)数学者、経世家/開国・貿易と北防の急務を主張した

1821年1月27日-09:00|日本| ||文政3年12月24日|薬湯と称し、高額 of 湯銭を取ったり、混浴させることなどが禁止され、風呂の寸法も二尺一寸x二尺六寸に定められる

1821年1月28日 05:00|ペルー| ||ラセナ、クーデターによりペルー副王を放逐、みずから副王となる。カンテラックが司令官に、バルデスが参謀長に昇格

1821年1月29日 05:00|ペルー/スペイン| ||<就任>ペルー副王代行「ロス・アンデス伯セルゲ・ラセナ・エ・ヒノサ」(~18241209)

1821年1月30日-02:00|ルーマニア| ||ルーマニアで、トゥトル・ヴァラデ・イミレスク(41)が、ワキアの解放のために蜂起

1821年2月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレクサンダー・ワリス(総督)「Seyyid Hasan Riza Pasha」(~4月)

1821年2月-02:00|ルーマニア| ||<即位>ワキア公「スカラット・カリマキ」(~6月)

1821年2月1日 00:00|シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督代行「エドワード・パーキ」(~4日)

1821年2月3日-09:00|日本| ||文政4年1月|<出版>岳亭春信「狂歌読本詠吟奇譚」

1821年2月3日-09:00|日本| ||文政4年1月|<出版>式亭三馬編(北溪插画)「狂歌読人名寄細見」

1821年2月3日-08:00|中国| ||清・道光1年1月1日|清・道光と改元

1821年2月4日 00:00|シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督代行「アレクサンダー・グラント」(2度目~11.28)

1821年2月8日 04:00|グレタ/イギリス| ||<就任>グレタ 総督「フィニアス・リアル」(2回目~1823年7月)

1821年2月12日 05:00|ペルー/スペイン| ||ペルー副王領の一部が解放軍によって占領された

1821年2月12日-01:00|スペイン| ||<死去>16代メニエ・シニア公「フランシスコ・デ・ボルハ・アルバレス・デ・トレド・オリオ・イ・ゴンサガ」

1821年2月12日-01:00|スペイン| ||<就任>17代メニエ・シニア公「ペドロ・デ・アルカンタラ・アルバレス・デ・トレド・イ・パラフォックス」(~18670110死去)先代の子

1821年2月13日 00:00|イギリス| ||<死去>イギリスの詩人ジョン・キーツ/25歳(誕生17951029)

1821年2月15日-04:00|リュネオン/フランス| ||<就任>ブルボン島知事「Louis Henri de Saulces de Freycinet」(~18261014)

1821年2月17日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領メリウ暫定総督「Antonio Mateos Malpartida」(~1823年)

1821年2月19日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|文政4年1月17日|鎌倉の鶴岡八幡宮が全焼

1821年2月19日-09:00|日本|東京都品川区|文政4年1月17日|品川宿全焼

1821年2月24日-01:00|イタリア| ||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「マテル・ジャブ・ラン、または冷たい心の美人」》

1821年2月24日-01:00|スペイン/メキシコ| ||ビセンテ・ゲレロ討伐にむかったイトゥルビデ、イグアラ市でイグアラ憲章発表/革命に反対し独立君主国家の樹立

1821年2月26日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガル首相「イサオ・ダ・コスタ・キンテラ」(~7.5)

1821年2月26日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル王国主席大臣「マヌエル・イサオ・ダ・コスタ・キンテラ」(~4.22)

1821年2月26日 03:00|ブラジル| ||リオ駐留の軍人がバヤに呼応して蜂起

1821年2月27日-01:00|ドイツ| ||<死去>ヘッセン選帝侯「グイルヘルム1世」

1821年2月27日-01:00|ドイツ| ||<就任>ヘッセン選帝侯「グイルヘルム2世」グイルヘルム1世の息子(~18471120死去)1831年より息子フリートリヒ・グイルヘルム1世が摂政

1821年2月27日-09:00|日本|栃木県大田原市|文政4年1月25日|<死去>大田原光清(46歳)下野大田原藩主

1821年3月-02:00|ルーマニア| ||<即位>ワキア公「トゥトル・ヴァラデ・イミレスク」(~5月)

1821年3月2日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理Joaquin Anduaga Cuenca(~18210423)

1821年3月2日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>サンミゲル島太守長官「Antonio Francisco de Chaves e Melo」(~1822.2)

1821年3月2日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||サンミゲル島でバラルな反乱が権力を握りアゾレス諸島の主権からの分離を宣言(ポルトガルからではない) (~1822.2)

1821年3月2日 06:00|アメリカ| ||モンロー、陸軍を削減する軍隊常備編成法案に署名

1821年3月3日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「ニコラス・メイ・イ・マーティン」(~18220713没)

1821年3月4日-08:00|中国| ||清・道光1年2月|中国の雲南でイ族の反乱がおこる

1821年3月5日-03:00|スーダン/エジプト| ||ペルベル人がエジプトのスーダンに併合

1821年3月6日-02:00|ギリシャ| ||ギリシャ、対オスマントルコ独立戦争開始

1821年3月6日-02:00|ルーマニア/ギリシャ| ||モルダヴィアをギリシャの反オスマン組織「フィリキ・エテリア」のアレクサンダー・イブラヒム・イブ・ランデイスが占領(~1821.6)

1821年3月7日-01:00|オーストリア/イタリア| ||ナポリ革命がオーストリア軍により鎮圧される

1821年3月8日-09:30|オーストラリア| ||ハラムマとホクスバリー川間に初めて乗り合い馬車が走る

1821年3月8日 00:00|リベリア/アメリカ| ||<就任>アメリカ領ケープ・メサト 植民地代理人「ジョセフ・ラファエル・アントラス」(~18210728没)

1821年3月10日-01:00|イタリア| ||サルデーニャ王国のピエモンテで、軍隊、市民、学生が蜂起

1821年3月12日-01:00|イタリア/フランス| ||<即位>サルデーニャ国王・サヴォイア公「カルロ・フェリチェ」ウイットリオ・アマデオ3世とマリア・アントニア・デ・イスパニャの息子(~18310427死去66歳)

1821年3月12日-01:00|イタリア| ||<退位>サルデーニャ王「ウイットリオ・エマヌエーレ1世」

1821年3月12日 00:00|チャンド諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ジャージー知事「William Carr Beresford」(~18540108死去)

1830迄 (2634件)

1821年3月12日-09:00|日本|愛知県岡崎市|文政4年2月9日|<交替>三河岡崎藩5万石「本多忠顕」隠居⇒四男「本多忠考」が継ぐ(⇒天保6(1835)年5月24日、隠居)

1821年3月13日-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事「マヌエル・ホアキン・デ・マテス・エ・ゴイス」(~18320414)

1821年3月15日 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ・スルタン「サイード・イブン・ヤズィード」(反乱)」(~1821年)

1821年3月16日-02:00|ルーマニア/トルコ| |||<就任>ワラキア総督・領主「チュダ・コンスタンティン・ウラジミレク(反乱指導者)」(~5. 15)、
「ステファン・ホゴリテ」(オスマン帝国総督)」(~18220924)

1821年3月16日-02:00|ルーマニア| |||ワラキアでファナリオの支配者に対する反乱、反乱軍が首都を奪取(~5. 16)

1821年3月20日-09:30|オーストラリア| |||オーストラリアのマクナリー総督が、イギリス弁務官ビッグに権力乱用の嫌疑をかけられて
辞任

1821年3月23日-01:00|オーストリア/イタリア| |||オーストリア軍が両シチリア王国に侵入して革命政府を倒し、フェルディナンド1世を復
位させる

1821年3月24日-09:00|日本|東京都台東区|文政4年2月21日|<大相撲>文政4年2月場所[江戸浅草御蔵前大護院](1
0日間)幕内優勝:(前2)四賀峰, 7勝1敗1分1無勝負

1821年3月26日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||<ギリシャ独立戦争>イプシランティス隊がブルート川を越えヤッサーでオスマン帝国に蜂起

1821年3月27日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|文政4年2月24日|<死去>亀井矩賢(56歳)前石見津和野藩主

1821年3月28日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ベンダーリ・アリ・パシャ」(~4. 30)

1821年3月29日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督領主代行「エドモンド・リット・ウエフミン・コスタツシュ」(~18210615)

1821年3月29日-09:00|日本| ||文政4年2月26日|(~3. 6)長州病(インフルエンザ)大流行し幕府施薬と御救銭

1821年3月30日 00:00|トゴ| |||<就任>ロラント統治者(トグベ・アウオト)「シヨルジュ・アケテ・ザンクリ・ロソン1世」(~18570629没)

1821年3月31日-09:00|日本/中国|長崎県長崎市|文政4年2月28日|長崎で取り締まりに反発する清国人が番所を
襲撃

1821年4月-05:30|インド| |||<就任>アッサム国ラジャ「ヨグ・シュウ・アランハ」(1回目~1822年)

1821年4月-03:00|スーダン/エジプト| |||<就任>エジプト領スーダン司令官「Muhammad Bey Defterdar」(~1824. 9)

1821年4月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Salih Pasha」(2期目~1824. 1)

1821年4月-01:00|スペイン/メキシコ| |||ペラルタに潜伏中のゲアダルベ・ビクトリア、蜂起開始

1821年4月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「ジョアン・デ・アラウ・ゴ・マス」(~1823年4月)

1821年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・オノフリ」
「ヒエル・ガ・インチェンツォ・ジ・ヤンニニ」

1821年4月2日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アゾレス諸島総司令官「Francisco Antonio de Araujo e Azevedo」(2期目~4日)

1821年4月4日-09:00|日本|岡山県高梁市|文政4年3月2日|<死去>板倉勝政(63歳)前備中松山藩主

1821年4月6日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア蜂起指導者「トゥドル・ウラジミレク」(~6. 8死刑)

1821年4月6日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||パトラスで主教ゲルマノスの呼びかけで、ギリシャ本土でもオスマン帝国からの独立戦争
が始まる

1821年4月8日-01:00|イタリア| |||オーストリアとサルデーニャの軍隊が、ピエモンテ軍をノヴァで破り、革命を鎮圧

1821年4月10日-09:00|日本|千葉県野田市|文政4年3月8日|<死去>久世広誉(71歳)前下総関宿藩主

1821年4月12日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事代行「エラス・ウィリアム・ヤング」(~18230218)

1821年4月14日 00:00|チャネル諸島| |||<死去>イギリス王領ガーンジー-島管理人「Peter de Havilland」

1821年4月18日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「Samuel Hinds」(~7. 26)

1821年4月22日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル王国主席大臣「アルコス・デ・ビレヘス伯爵マルコス・デ・ノロニャ・エ・プリト」
(~6. 5)

1821年4月22日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル王国摂政「ペドロ・デ・ブラガンサ皇子」(~18221012)

1821年4月22日-09:00|日本|三重県桑名市|文政4年3月20日|<死去>伊勢桑名藩10万石「松平忠翼」(42歳)⇒長男「
松平忠堯」が継ぐ(⇒文政6(1823)年3月24日、武蔵忍藩10万石に移封)

1821年4月23日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理「Francisco de Paula Escudero」(~同日
⇒主席補佐官「Eusebio Bardaji y Azara」(~18220108)

1821年4月27日 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ガーンジー-島管理人「Daniel de Lisle Brock」(~184
20924死去)

1821年4月30日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「イズミル・ハチ・サファ・パシャ」(~18221110)

1821年4月30日-09:00|日本|東京都江東区|文政4年3月28日|江戸深川三十三間堂通矢「全堂百射」で、大沼優之助
が84本(総矢数100中)を記録

1821年5月-05:30|インド| |||<就任>ジャハル国ラジャ「ハ・タンジャ-3世・ウイクラムシャ-」(~18650611没)、摂政「ラニ・サガナバイ」(~1
842年)

1821年5月-03:00|スーダン/エジプト| |||ハルツーム地域がムハンマド・アリの息子イスマイル・パシャによってエジプトのスーダンに併合

1821年5月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Beylanli Mehmed Pasha」(~1824年)

1821年5月1日 00:00|イギリス| |||イングランド 銀行が金本位制度を実施

1821年5月5日-01:00|フランス| |||<死去>ナポレオン・ボナパルトがセント・ヘルナのわびしい宿舎で/51歳(誕生17690815)

1821年5月5日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「ホアキン・ド・ペレイラ(軍事委員会議長)」(~1823
年1月)

1821年5月8日-09:00|日本|栃木県足利市|文政4年4月7日|<交替>下野足利藩11000石「戸田忠喬」隠居⇒三男「戸田
忠禄」が継ぐ(⇒弘化4(1847)年9月20日、死去)

1821年5月14日-05:30|インド| |||<就任>ブタニヤ国統治者(マハオ・ラジャ)「ラム・シン」(~18890328没)

1830迄 (2634件)

1821年5月14日-09:00|日本|東京都|文政4年4月13日|<死去>画家びに鑑定家、菅原洞斎 (50歳)
1821年5月16日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキ7総督・領主「ステファン・オヴラディ」オスマン帝国が直接統治 (~18220924)
1821年5月17日-02:00|ギリシャ| |||エヌイール・パパスは、カリスのアトス山修道院の修道院長を召集し、チャルキイ半島でギリシャ革命を宣言
1821年5月21日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アゾレス諸島総司令官「暫定最高政府委員会:Jose Leite Botelho de Teive/Jose Francisco do Canto e Castro/Alexandre de Gamboa Loureiro/Antonio Maria Osorio Cabral」 (~1823. 8)
1821年5月23日 05:00|ペルー| |||アレリス、山岳地帯に再侵入。タルマとハウハ、ウツカバをあいついで確保
1821年5月25日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「韓用亀」 (~11. 12)
1821年5月25日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア帝国国家宰相「クレメンス・フォン・メッテルニヒ侯爵」 (~18480313)
1821年6月-05:30|インド| |||パトナ国がチャンパに併合される
1821年6月-01:00|スペイン/ペネエラ| |||ペネエラがスペインから独立。ポリアル軍がペネエラを解放し、大コンビアに合流
1821年6月-01:00|スペイン/ペルー| |||ペルーがスペインからほぼ独立。サン・マルチンがリマを奪取し、ペルー共和国を宣言
1821年6月 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「エドワード・ゴッソン」 (~7. 18)
1821年6月 05:00|エクトル| |||キ軍司令官アイメリチ、グアヤキを攻撃。スクレはこれを撃破し、さらにアマトまで追撃するが、キから迎撃に出たコンサス軍に惨敗、死者3百、捕虜6百4十を出しグアヤキに退却
1821年6月3日-03:00|エチオピア| |||<死去>エチオピア帝国皇帝「イヨアス2世・ヒズケヤス」
1821年6月3日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国皇帝「ギガール・イヤス」 (1回目 ~1826年4月)
1821年6月5日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル王国主席大臣「ペドロ・アルバレス・テニス」 (~10. 4)
1821年6月7日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ペネエラ上院 (トリポリ) 議長「テオドロス・ウァシレイウ・グレスティス」 (~18220127)
1821年6月9日-09:00|日本|京都府南丹市|文政4年5月10日|<死去>丹波園部藩24000石「小出英たけ」 (48歳) => 7月16日、次男「小出英発」 (=> 天保14 (1843) 年9月20日、隠居)
1821年6月11日-01:00|マルタ| |||<就任>聖ヨハネ騎士団グランド・マスター・副官「アントニオ・フスカ・アルコナーティ・ウ・イスコンティ」 (~18340519 没)
1821年6月12日-03:00|スーダン/エジプト| |||シナールのフンズルタン国 (北部スーダン) がエジプトに併合
1821年6月14日-09:00|日本|福井県福井市|文政4年5月15日|福井城下で火事、町家112軒など焼失
1821年6月18日-01:00|ドイツ| |||<初演>カール・マリア・フリードリヒ・エルンスト・フォン・ヴェーバー 《歌劇「魔弾の射手」》
1821年6月19日-02:00|ルーマニア/トルコ| |||ルーマニアのドラクシャニで、イプシランティスの軍隊がオスマン軍に敗れる
1821年6月24日 04:30|ペネエラ/スペイン| |||<就任>ペネエラ県総督兼総司令官「Francisco Tomas Morales」 (~1823 0803)
1821年6月24日 04:30|ペネエラ| |||シモン・ホリーバルが、カホボの戦いでスペイン軍を破り、ペネエラを解放
1821年6月25日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク総督・総司令官「バルトロメウ・マルティリス・デ・マイア (暫定行政長官)」 (~9. 5)
1821年6月26日-09:00|日本|香川県高松市|文政4年5月27日|<交替>讃岐高松藩12万石「松平頼儀」隠居 => 養子「松平頼恕」が継ぐ (=> 天保13年4月16日 (18420525)、死去)
1821年6月28日-01:00|ドイツ| |||<初演>カール・マリア・フリードリヒ・エルンスト・フォン・ヴェーバー 《ピアノ小協奏曲へ短調》
1821年6月28日 00:00|ポルトガル/ブラジル| |||サントス港の駐留部隊が反乱。給料の遅配に抗議し、ポルトガルからの独立を要求
1821年6月29日-02:00|ルーマニア/トルコ| |||<就任>モルダヴィア総督領主「シュテファン・オヴラディ」 (オスマン帝国総督) (~18221012)
1821年6月29日 04:30|ペネエラ| |||シモン・ホリーバルがカラスを占領し、ペネエラを解放/第3ペネエラ共和国を宣言
1821年6月30日 00:00|ポルトガル/ブラジル| |||ミナスで自由黒人アルコームの率いる奴隷反乱/オロ・プレトでは1万5千人、S. Joao del Reiでは5千人が蜂起
1821年7月 00:00|セネガル| |||<就任>ワタ・トロ統治者統治者 (アルマ・ミ)「ユフ・シレリ」 (6回目 ~1822年7月)
1821年7月2日-05:30|インド| |||<就任>コルハール国統治者 (ラジャ・チャトラパティ)「シヴァージー-3世」 (~18220103 没)、摂政「シヤハジ・フワサハブ」 (~18220103)
1821年7月2日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス総督「Rodrigo Antonio de Melo」 (~18220422)
1821年7月5日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル首相「シルベストル・ピニェロ・フェレイラ」 (~9. 7)
1821年7月6日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王代行「フランシスコ・ノグエラ・アサバル・ペレス・イ・シカルト」 (~30 日)
1821年7月9日 05:00|ペルー/スペイン| |||休戦期間の期限切れにともない、副王はモンテリ侯爵に全権を依託しリマを撤退、南方のカエテに本拠を移す。その後あらためてクスコに陣を構える。市会はサンマルチンの入市を許可。マルチン軍、リマを解放
1821年7月9日-09:00|日本|長野県須坂市|文政4年6月10日|<死去>信濃須坂藩10053石「堀直興」 (29歳) => 弟「堀直格」が継ぐ (=> 弘化2 (1845) 年、隠居)
1821年7月10日 05:00|ペルー| |||ペルー沖で地震 (M8. 2) 死者160人
1821年7月15日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ハウ伯「リチャード・ウィリアム・カーゾン=ハウ」 (~18700512 死去)
1821年7月17日 00:00|イギリス| |||<昇格>2代アイルズ・ベリー伯「チャールズ・フルデネル=ブルース」 => 初代アイルズ・ベリー侯 (~185601 04 死去)
1821年7月18日 03:00|ウルグアイ/ブラジル| |||ブラジル、ウルグアイに侵攻しパンダ・オリエンタルを併合しシスブラチナ州と名付ける (~18250825)
1821年7月18日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督「ジョン・モンタギュー・メインワリング」 (1回目 ~1823年2

1830迄 (2634件)

月)

1821年7月18日 06:00|アメリカ/スペイン| |||テキサス共和国がスペインから独立宣言
1821年7月19日-03:00|スーダン/エジプト| |||コルト・ファンがエジプトのスーダンに併合
1821年7月19日 00:00|イギリス| |||チャールズ・グリーンが、ジョージ4世即位記念飛行で石炭ガスが使用した気球で飛行
1821年7月22日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「ホアキン・イシオ・デ・リマ」(~18220206)
1821年7月23日-09:00|日本|富山県高岡市|文政4年6月24日|<越中高岡文政4年の大火>城内外とも被害甚大
1821年7月24日-01:00|スペイン/チリ| |||コクレンの部下トマス・クロビー、夜戦をしかけ敵艦4隻を鹵獲/スペイン軍は完全に戦意を喪失、アンデス山中に撤退
1821年7月25日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督・最高司令官代理「トマス・ヘンリー・ブルック」(1期目~18230311)
1821年7月26日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督「ヘンリー・Warde卿」(1期目~18250526)
1821年7月27日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールド・コースト司令官代行「フレデリック・フランシス・リュデウィッチ・ウルリッヒ・ラスト」(1回目~18230111)
1821年7月28日 00:00|リベリア/アメリカ| |||<死去>アメリカ領ケープ・メサド 植民地代理人「ジョセフ・ラファエル・アントナス」
1821年7月28日 00:00|リベリア/アメリカ| |||<就任>アメリカ領ケープ・メサド 植民地代理人代行「ジョン・クリスチャン・ウィルトバーガー」(~11月)
1821年7月28日 05:00|ペルー/スペイン| |||ペルー護国卿ホセ・デ・サン・マルティンでスペインからペルー共和国独立を宣言
1821年7月30日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニア副王「ファン・ド・オト・ボジュ・オライン」(~9.28没)
1821年7月31日 03:00|ウルグアイ/ブラジル| |||シパラチ州という名前でブラジルに組み込まれた(~18250825)
1821年7月31日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サテティアコ 総督代行「ヘンリー・ケラン」(~18221222)
1821年8月-01:00|フランス| |||パリに「サル・ル・ペルティエ」(11代目ホウ座)が、「ル・ペルティエ通り」(9区)開場(1873年に焼失)
1821年8月2日 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督代行「トマス・サイレ」(~同月)⇒総督「ファン・デ・ラ・クルス・ムルジョン・イ・アチ」(~10.22)
1821年8月3日-05:30|インド| |||<就任>ブタニヤ国摂政「スプ・ラム・ホーラ」(~1831年)
1821年8月3日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー護国卿「ホセ・フランシスコ・デ・サン・マルティヌ」(~18220920)
1821年8月5日-09:00|日本|岐阜県中津川市|文政4年7月8日|<死去>遠山友随(75歳)前美濃苗木藩主
1821年8月6日-05:30|インド| |||<死去>ベンガル太守「ザイッテ・イー・アリー・ハーン」
1821年8月6日-05:30|インド| |||<就任>ベンガル太守「アフマド・アリー・ハーン」(~18241030死去)
1821年8月7日-09:00|日本| |文政4年7月10日|日本初の実測地図「大日本沿海輿地全図」と「大日本沿海実測録」が完成し、幕府に献上される
1821年8月8日 04:00|英領ヴァージン諸島/イギリス| |||<死去>ヴァージン諸島主席「Richard Hetherington」
1821年8月8日 04:00|英領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>ヴァージン諸島主席「Richard Hetherington2世」(~1830年)
1821年8月8日-09:00|日本|秋田県秋田市|文政4年7月11日|<死去>久保田新田藩(2)2万石「佐竹義知」(35歳)⇒9月16日、養子「佐竹義純」が継ぐ(⇒嘉永2(1849)年10月26日、隠居)
1821年8月9日-05:30|インド| |||<就任>ラジビラ国統治者(ラジャ・マハラ)「ウァリサル2世」(~18601117)
1821年8月10日 06:00|アメリカ| |||<加盟>ミズーリ準州⇒アメリカ合衆国ミズーリ州(24番目)
1821年8月18日-09:00|日本| |文政4年7月21日|<死去>森狙仙(75歳)絵師
1821年8月18日-09:00|日本|大阪府豊中市|文政4年7月21日|<交替>摂津麻田藩1万石「青木一貞」隠居⇒長男「青木重竜」が継ぐ(⇒弘化4(1847)年11月23日、隠居)
1821年8月19日 05:00|エクアドル| |||ホセ・ミラの率いる独立軍、ジャグアチの闘いでゴンサレス軍を撃破
1821年8月20日-09:00|日本|山形県鶴岡市|文政4年7月23日|<死去>出羽松山藩25000石「酒井忠禮」(43歳)⇒長男「酒井忠方」が継ぐ(⇒弘化2(1845)年10月20日、隠居)
1821年8月23日-09:00|日本|東京都|文政4年7月26日|<死去>書家、中井董堂敬義(64)
1821年8月24日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ暫定統治委員会議長「アグスティン・コスメ・ダ・ミアン・デ・イトゥルビデ・イ・アランプル」(~9.28)
1821年8月24日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|文政4年7月27日|<死去>下野壬生藩3万石「鳥居忠燾」(46歳)⇒次男「鳥居忠威」が継ぐ(⇒文政9(1826)年11月11日、死去)
1821年8月25日 05:00|ペルー| |||カンテラック、反撃に出てリマを襲う。サンマルチン軍の強力な反撃にあい、サンチェス大佐を失うなど大きな犠牲を出し、成果を上げることなく退却
1821年8月27日-09:00|日本|兵庫県三田市|文政4年7月30日|<死去>九鬼隆張(75歳)前摂津三田藩主
1821年8月28日-02:00|フィンランド/ロシア| |||<就任>フィンランド 国務委員会議長代行(サントペテルブルク)「ロバート・ヘンリック・レービング」(~18260329)
1821年8月28日-09:00|日本| |文政4年8月|<出版>速水春暁斎「男山放生会図録」
1821年8月28日-09:00|朝鮮| |清・道光1年8月|朝鮮の平壤地方で疫病が流行し、死者10万人余
1821年9月4日-05:30|インド| |||<就任>マレコトラ国支配者(ナワブ)「アミール・アリ・カーン・バハドゥル」(~18460408没)
1821年9月5日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク総督・総司令官「ジョン・マヌエル・ダ・シルバ」(18240625まで統治委員会議長~18250125)
1821年9月5日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールド・コースト総督代行「マティアス・トニンク」(~18231223)
1821年9月7日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル首相「フィリッパ・フェレイラ・デ・アラウホ・エ・カストロ」(~18230529)
1821年9月9日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ暫定総督・総司令官・大統領「ガビエル・デ・ゲインサイ・イ・

1830迄 (2634件)

フェルナンデス・デ・マトゥラノ (~15日)

1821年9月9日-09:00|日本|三重県四日市市|文政4年8月13日|<死去>伊勢東阿倉川13000石「加納久慎」(46歳)⇒10月6日、嫡男「加納久儔」が継ぐ(⇒文政9(1826)年3月、上総一宮藩13000石に藩庁移転)

1821年9月12日-08:00|マレーシア/タイ| |||ペルリスはタイの主権下 (~19090716)

1821年9月15日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア| |||<就任>中央アメリカ連合最高統治組織代表・暫定諮問委員会議長「ガビエーノ・ガインサ」(~18220105メキシコ帝国に統合)

1821年9月15日 06:00|グアテマラ| |||<就任>グアテマラ州最高政治責任者・総督・次官「ガビエーノ・デ・ゲインサ・イ・フェルナンデス・デ・マトゥラノ」(~18220622)

1821年9月15日 06:00|ニカラグア| |||<就任>レオン上級政治長官・次官「ミゲル・ゴンサレス・デ・サラビ・ア・イ・コラルテ」(~10.12)

1821年9月15日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア/スペイン| |||<設立>中央アメリカ連合(スペインから独立~18220105メキシコ帝国に統合)

1821年9月15日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア| |||中米グアテマラのスペイン総督府が独立を宣言しグアテマラ、エルサルバドル、コスタリカ、ニカラグア、ホンジュラスを併せた地域が中米連邦州として独立

1821年9月15日 07:00|メキシコ| |||スペイン政府軍将軍のアグスティン・イトゥルビデ (38) が、スペイン政府を裏切ってメキシコ市に入城し、メキシコ帝国を樹立

1821年9月16日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「統治委員会:マヌエル・ゴデイニョ・ダ・ミラ/ホアキン・マヌエル・コレア・ダ・シルバ・エ・ガマ/ゴンサロ・デ・マカルハンス・テイシェイラ・ピント/マヌエル・ホセ・ゴメス・ルレイロ/マヌエル・ドゥアルテ・レイタン」(~12.3)

1821年9月17日-09:00|日本|岩手県盛岡市|文政4年8月21日|<死去>陸奥盛岡藩20万石「南部利用」5月に庭の樹木から転落し、それが元で(15歳)⇒養子「南部利用」が継ぐ(⇒文政8年8月21日(18250831)、死去)

1821年9月17日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|文政4年8月21日|<死去>備中足守藩25000石「木下利徳」(33歳)⇒1月8日、養子「木下利愛」が継ぐ(⇒弘化4(1847)年11月23日、隠居)

1821年9月21日 05:00|ペルー| |||カリャオ要塞のラマル司令官、サンマルチンのすすめを受入れ降服

1821年9月21日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連合サンサルバドル上級政治長官「ペドロ・オルティス・デ・ラ・バリエラ」(~11.28)

1821年9月23日-05:30|インド| |||<就任>スーラト国支配者(ナワブ)「ミール・アフサル・ウッデーン・ムハンマド・カーン」(~18420808没)

1821年9月27日-01:00|スペイン/メキシコ| |||スペインがメキシコの独立を承認

1821年9月28日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>コマヤグア上級政治責任者「ホセ・グレゴリー・ティノコ・デ・コントレラス」(~18211121)

1821年9月28日 06:00|ホンジュラス| |||コマヤグア州独立宣言

1821年9月28日 06:00|アメリカ/メキシコ| |||テキサス共和国は独立したメキシコの一部

1821年9月28日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ帝国摂政大統領「アグスティン・コスメ・ダミアン・デ・イトゥルビデ・イ・アラングル」(~18220519)

1821年9月28日-09:00|日本| |||文政4年9月3日|<死去>初代梅暮里谷峨(72歳)戯作者

1821年9月29日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>テグシガルパ市長「ステイブ・ン・ゲアルデ・イ・アラ・アモラス」(~12.18)

1821年9月29日 06:00|ホンジュラス| |||テグシガルパ州が独立

1821年10月-03:30|イラン| |||外務省設置

1821年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・マルベリ」|「ビエトロ・ベルティ」

1821年10月4日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル王国主席大臣「フランシスコ・ホセ・ウエイラ」(~18220116)

1821年10月5日-01:00|ロシア/キリシヤ/トルコ| |||キリシヤの反乱軍がトリポリを占領し、約1万人のイスラム教徒を虐殺

1821年10月7日-09:00|日本|東京都|文政4年9月12日|<死去>塙保己一(76歳、延享3(1746)0505生)国学者/萩原宗固の門人

1821年10月11日-05:30|インド/イギリス| |||ラジピプーラ国はイギリスの保護領

1821年10月11日 06:00|コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連合コスタリカ州政治長官「フアン・マヌエル・デ・カニャストルヒョ・イ・サンチェス・デ・マトリート」(~11.12)

1821年10月17日 00:00|ガンビア/ガーナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)「アレクサンダー・ゲラント」(~11.28)

1821年10月17日 00:00|ガンビア/ガーナ/シエラレオネ/イギリス| |||<設置>イギリス領西アフリカ植民地(ガンビア、ゴールドコースト、シエラレオネを含む)

1821年10月22日 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ暫定総督「ホセ・デ・ファブラ」(1回目~18211128)

1821年10月22日-09:00|日本|大阪府大阪市|文政4年9月27日|<死去>初代嵐璃寛(二代目嵐吉三郎)

1821年10月22日-09:00|日本|東京都墨田区|文政4年9月27日|<大相撲>文政4年10月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東大関)柏戸,8勝2敗

1821年10月23日-09:00|日本| |||文政4年9月28日|<死去>香川景柄(77歳)歌人

1821年10月26日 03:00|ブラジル| |||ゴイアス州でペルナンブコ共和政府の復活を目指す蜂起

1821年11月 00:00|リベリア/アメリカ| |||<就任>アメリカ領ケープ・メスト植民地代理人「イーライ・アーズ」(~18220425)

1821年11月2日 07:00|メキシコ| |||コタンがメキシコ帝国へ編入

1821年11月7日 04:00|トミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領トミニカ総督代行「ロバート・リート」(3回目~18220605)

1821年11月11日-09:00|日本|大分県臼杵市|文政4年10月17日|<死去>豊後臼杵藩5万石「稲葉尊通」(21歳)⇒弟「稲葉幾通」が継ぐ(⇒天保14(1843)年12月17日、29歳で死去)

1821年11月12日-08:00|マレーシア/タイ| |||シャムがクマ併合(~1843年)

1821年11月12日 05:00|コロンビア| |||スクレの部隊、ウチの闘いでアメリカの騎兵部隊に敗れる

1821年11月12日 06:00|コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連合コスタリカ州暫定統治理事会議長「ホセ・ニコラス・カリジョ・イ・アギレラ」(~12.1)

1830迄 (2634件)

1821年11月13日-04:00|ジョージア| |||<就任>アフハズア公「デ・イミトリ」(~18221016)、摂政「タマル・ダ・デ・イアニ」(1回目~18221016)

1821年11月16日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||<設立>西ギリシャ元老院が反乱

1821年11月16日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、サン・フェ街道開通

1821年11月21日-02:00|ギリシャ| |||<就任>西ギリシャ上院(メロンキ)議長「アレクサント・ロス・ニコラウ・マヴ・ロコルダス」(~18220127)

1821年11月21日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>コマケア市長代行「シヨ・ホ・ムセノ・フェルナンデス・リント・イ・セラヤ」(~18240211)

1821年11月21日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>コマケア上級政治責任者「シヨ・ホ・ムセノ・フェルナンデス・リント・イ・セラヤ」(~18240211)

1821年11月22日 06:00|ニカラガア| |||<設立>ケラタ運営委員会「ヒ・オ・ホ・ド・ミティー・シヨ・ホ・ラ・ニコス・ト・ム・サンテリス・モリス/ラファエル・ブ・リセ・ニコ・フェリペ・アルグエロ・モリーナ/デ・イオニシオ・デル・カステイジョ」(~18220204)

1821年11月26日-09:00|日本| ||文政4年11月2日<死去>木下幸文(43歳) 歌人

1821年11月28日 00:00|ガンビア/ガーナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)「チャールズ・マッカーシ卿」(4回目~18240417)

1821年11月28日 05:00|パナマ/スペイン| |||パナマのロス・サントス市、スペインからの独立を宣言

1821年11月28日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連合サルバドル監事・総督「ホセ・マティアス・デル・カスト・イ・デ・レオン」(18220111から政府委員会議長~18230209)

1821年11月29日-02:00|ギリシャ| |||<就任>東大陸ギリシャのアレホ・ゴス(サウ)大統領「テオ・ロス・ゲオルギ・オウ・ネリス」(~18220127)

1821年11月29日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||ギリシャ東部大陸のアレホ・ゴスが反乱

1821年11月30日 05:00|ハイチ/スペイン| |||スペイン政府の副知事ホセ・ヌニェス・デ・カセス、スペインからの独立と「ハイチ・スペイン人共和国」の樹立を宣言

1821年12月-03:30|イラン/トルコ| |||イラン・トルコ戦争が勃発

1821年12月1日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>ニューサウスウェルズ植民地総督「トマス・フリスベーン」(~18251201)

1821年12月1日 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ政治的総督・国家大統領「ホセ・ヌニェス・デ・カセス・イ・アルホー」(~18220209)

1821年12月1日 04:00|トミニカ共和国| |||サント・ト・ミンゴ島のスペイン人たちが、トミニカ共和国として独立を宣言

1821年12月1日 06:00|コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連合コスタリカ州上院議長「ペドロ・ホセ・デ・アルバラード・イ・バエサ」(~18220106)

1821年12月2日 06:00|ホンジュラス/メキシコ| |||コマケアがメキシコへ編入(~18230328)

1821年12月3日-05:30|イント/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領イント総督「統治委員会:マヌエル・マリア・ゴンサルベス・ザルコ・タカマラ/フレイ・パウロ・デ・サントマス・デ・アキノ/アントニオ・ホセ・デ・メロ・ソウト・マイオール・テレス/ファン・カルロス・レアル/アントニオ・ホセ・デ・リマ・レイタン/ホアキン・モラウ・カルロス・バルバ」(~18231118)

1821年12月3日-09:00|日本| |山形県米沢市|文政4年11月9日<死去>上杉勝定(55歳) 前出羽米沢新田藩主

1821年12月5日-09:00|日本| |静岡県沼津市|文政4年11月11日<加増>駿河沼津藩3万石「水野忠成」+1万石⇒4万石(⇒文政11(1829)年11月26日、1万石加増され5万石)

1821年12月6日 00:00|南極/イギリス| |||サウス・キー諸島は、ジョージ・パウエル大尉によって英国領土宣言(サウス・キー諸島に改名され、1822.2開拓された)

1821年12月7日 10:00|ポリネシア| |||<就任>ツェツ諸島統治者「Teri`i tari`a Pomare3世」(~18270108死去)、摂政「Teri`i tari`a Ari`i paea vahine」(~18270108)

1821年12月11日-09:00|日本| ||文政4年11月17日|松浦静山、随筆集「甲子夜話」執筆開始(~天保12年6月29日)

1821年12月13日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金載沅」(~18230403)

1821年12月13日 05:00|コロンビア| |||<就任>コロンビア大統領代理「フランシスコ・デ・パウサンタネル」(~18261114)

1821年12月13日-09:00|日本| ||文政4年11月19日|奥州で大地震。家600余戸倒壊。人馬死傷多数

1821年12月14日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国第6代首相「ジョセフ・ド・ガイレール」(~18280103)「カトリック教会」との連携を強めた反動政治を推進

1821年12月18日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>テグシガルパ総司令官「シモン・ゲティエリス」(~18220203)

1821年12月19日-09:00|日本| |青森県上北郡七戸町|文政4年11月25日<死去>七戸藩11000石「南部信鄰」(46歳)⇒翌年正月、長男「南部信譽」が継ぐ(⇒文久2(1862)年8月12日、死去)

1821年12月20日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ総督「チャールズ・ウィリアム・マクスウェル」(2回目~18270702)

1821年12月21日-09:00|日本| ||文政4年11月27日|幕府が真鍮四文銭を鑄造

1821年12月24日-01:00|ドイツ| |||ドイツで世界初の気象図が描かれ公表されるザクセンの気象をハインリヒ・ブランデスが図示

1821年12月26日 05:00|エクアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領ト総督・議長「ファン・デ・ラ・クルス・ムルジョン・イ・アジェ」(~18220408没)

1821年12月28日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||オスマン帝国がチャルキイ半島地域で親ギリシャの独立反乱を鎮圧し、アトスを駐屯させる

1821年12月29日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「ウェルズリー侯爵リチャード・コリー・ウェルズリー」(1回目~18280301)

1821年12月30日-09:00|日本| |北海道|文政4年12月7日<移封>陸奥国梁川藩9000石(実高18000石余)「松前章広」⇒蝦夷松前藩(⇒天保2(1831)年10月29日、1万石に復す)

1821年12月30日-09:00|日本| |北海道|文政4年12月7日|幕府、松前奉行を廃止

1830迄 (2634件)

1822年-08:00|インドネシア| |||<即位>ジョグジャカルタ君主「Hamengkubuwono5世」(~1826年)
 1822年-08:00|インドネシア| |||<即位>ティール・スルタン「Al-Mansur Sirajuddin」(~1856年)
 1822年-07:00|ベトナム| |||<死去>パントウラン王「Po Saong Nyung Geng」ベトナムに統合される
 1822年-07:00|タイ| |||<就任>ランナー国主(チャオ)「カム・ファン」(~18250201)
 1822年-07:00|ベトナム| |||<即位>パントウラン王「Po Bait Lan(Nguyen Van Lan)」⇒「Po Klan Thu」(~1828年死去)
 1822年-07:00|ベトナム| |||チャンパ王国はベトナムによって消滅したが、ある程度の自治権を保持
 1822年-05:30|インド| |||<就任>アッサム国ラジャ「ステインファ・チャントランタシハ・ナレントラ」(3回目~6.21)
 1822年-05:30|インド| |||<就任>アカルコット国ラジャ「マロジ・ラオ1世ファッテン・ラオ・ボンズレ・ハバ・サハブ・ラジエ」(~1828年没)
 1822年-05:30|インド| |||<就任>ジャラウ国統治者(ラオ)「ハラオ・コウ・イント」(~1832年没)
 1822年-05:30|インド| |||<就任>ジャムム-首席大臣(デワン)「アミール・チャント」(~1836年)
 1822年-05:30|インド| |||<就任>ジョス国統治者(デシュムク)「サリ・パイ」(~1823年12月没)
 1822年-05:30|インド| |||<就任>タフラール国統治者(デシュムク)「サウ・アジ・ラオ2世」(~1885年12月没)
 1822年-05:30|インド| |||<就任>チョタ・ウダール国ラジャ「ケマンシ」(~1851年没)
 1822年-05:30|インド| |||<就任>デシカナル国ラジャ「シヤム・チャントラ・マヘントラ」(~1830年)
 1822年-05:30|インド| |||<就任>パソダ国支配者(ナワブ)「アサド・アリ・カーン」(2回目~1864年)
 1822年-05:30|インド| |||<就任>ハラノール国支配者(ナワブ・ハビ)「ジャラル・ハンジ(エドウル・ハンジ)」(~18311202没)
 1822年-05:30|インド| |||<就任>マウルニ国ラジャ「シヤド・ウナス・ハンジ・デオ」(~1863年没)
 1822年-05:30|インド/イギリス| |||コラバ国、ジャウル国、パソダ国はイギリスの保護領
 1822年-05:00|パキスタン| |||<就任>ギルギット国統治者「アッバス・カーン」(~1825年)
 1822年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>バダフشان汗国ハン「ミルザ・カーン4世」(~1828年)
 1822年-04:30|アフガニスタン| |||バダフشانはコトウス支配下(~1859年)
 1822年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>マク汗国ハン「アリ・カーン・バヤット」、「ハジ・イスマイル・カーン・バヤット」(~1866年)
 1822年-04:00|ロシア| |||カバルディヤの政体は解散し、ロシアに併合される
 1822年-04:00|UAE/イギリス| |||ラース・アル=ハイマが英国との航海自由条約に署名
 1822年-03:30|イラン| |||<就任>カンガリ汗国カーン「アリ・カーン・カンガリ」(~1866年)
 1822年-03:00|カンタラ| |||<即位>トロ王国国王「Olimi1世 Kaboyo1世」⇒「Ruhaga Kazana」(~1866年死去)
 1822年-02:00|ギリシャ| |||<死去>ヨニナ・パシヤ国パシヤ「Ali Pasha」
 1822年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Behram Mehmed Pasha」(~1823.2)
 1822年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Mehmed Wahid Pasha」(~1826年)
 1822年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ガリツ州知事代理「Adam Reviczky de Revisnye」(~18230302)
 1822年-02:00|モザンビーク| |||<就任>サンクル首長「ムクセディ・アリ・ムハンマド・ラジヤ」(~1832年)
 1822年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Muftizade Ahmed Pasha」(~5月)
 1822年-02:00|モザンビーク| |||<就任>マニカ統治者(マンボ)「チンガ・シユル(ムサ・シユル)」(同年)⇒「ムサ・ムテンベルワ」(~1845年)
 1822年-02:00|リト| |||<即位>リト大酋長「モシヨシヨ1世」建国(~18700118)
 1822年-01:00|スペイン| |||<就任>スベイン領セウ総督「Alvaro Maria Chacon」(~1823年)
 1822年-01:00|ニジェール| |||<就任>ダマラム国統治者(サルキン・ダマラム)「イブラム・タン・スレイマン」(1回目~1841年)
 1822年-01:00|ドイツ| |||<就任>ロイス=エーベルストルフ侯「Heinrich72世」(⇒1824年、ロイス=ローエンシュタイン=エーベルストルフ侯~18481001解任、ロイス=シュライツ侯領へ)
 1822年-01:00|アルジェリア| |||<即位>トゥグルト・スルタン「アマル2世」(~1830年)
 1822年 00:00|トコ| |||<就任>アグバナンキン摂政「ロコ・フォル」(~1835年)
 1822年 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>スペイン王国ラゴメラ及びエル・ヒロ総支配人「Matias Martinez Valcarcel」(~1829年)
 1822年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>エニ首長「イェリス・カリ・コマ1世」(~1850年頃)
 1822年 00:00|モロッコ| |||<就任>モロッコ大宰相「アブ・アブト・アッラー・モハメド・ビン・イトリス・ビン・モハメド・アル・アザムリ・アル・アムラニ・アル・ファン」(1回目~1831年)
 1822年 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ・スルタン「アブト・アス・サラム(反乱)」(~同年)
 1822年 10:00|ボリネシア| |||<死去>ルツ統治者「Teramana Teuruari`i1世」
 1822年 10:00|ボリネシア| |||<就任>ルツ統治者「Tearoro`o Teuruari`i2世」⇒「Pa`a Teuruari`i3世」(~1879年)
 1822年1月 06:00|アメリカ/スペイン/メキシコ| |||<移管>スペイン領ニューメキシコ総督「Facundo Melgares」⇒メキシコ領ニューメキシコ総督(~18220705)
 1822年1月 06:00|コスタリカ| |||カルタゴとサンセのあいだで内乱になる
 1822年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ハンス・フォン・ラインハルト」Con(3期目~12.31)
 1822年1月1日 04:00|アルバ/オランダ| |||<就任>アルバ島司令官「Jacob Thielen1世」(~1826年)
 1822年1月3日-05:30|インド| |||<就任>コルハール国統治者(ラジャ・チャトラプティ)「シャハジ1世ハバ・サ・ヒブ」(~18381129)
 1822年1月5日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラガ/メキシコ| |||<統合>中央アメリカ連合⇒メキシコ帝国(~18230701)
 1822年1月5日 06:00|ホンジュラス/メキシコ| |||テグシガルパがメキシコに編入(~18230328)
 1822年1月6日 06:00|コスタリカ| |||<就任>メキシコ帝国コスタリカ州上級理事会議長「ラファエル・デ・ラ・トリニダード・パロタ・イ・カステリャ」(12日まで選挙管理委員会議長~4.13)
 1822年1月8日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理「Ramon Lopez Pelegrin」(~1.24)
 1822年1月12日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ラスダウン伯「ヘンリー・スタンリー・マンク」(~18480920死去廃絶)

1830迄 (2634件)

1822年1月12日-09:00|日本| ||文政4年12月20日|<死去>3代藤間勘兵衛(不明) 振付師
1822年1月16日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル王国主席大臣「セル・ホ・ニファシオ・デ・アント・ラダ・エ・シルバ」(1回目~10.28)
1822年1月18日 04:00|BES諸島/オランダ| ||<就任>セント・ユースティウス島知事代理「Diederik Johannes van Romondt」(~18230306)
1822年1月23日-09:00|日本| ||文政5年|<刊行>青地林宗、万国地理書「輿地誌」
1822年1月23日-09:00|日本|石川県金沢市|文政5年|<交替>加賀藩102万5千石「前田斉広」隠居⇒嫡男の「前田斉泰」が継ぐ(慶応2(1866)年4月4日、隠居)
1822年1月23日-07:00|ベトナム| ||越南・明命3年|<解任>順城鎮藩王「Po Chong Chan」ベトナムに統合
1822年1月23日-09:00|日本| ||文政5年1月|<刊行>科学者・宇田川榕庵「苦多尼詞経」/体系的植物学を日本に最初に紹介
1822年1月23日-09:00|日本| ||文政5年1月|<初演>「傾城染分総」[作・龍玉(三代目中村歌右衛門)]
1822年1月24日-02:00|ギリシャ| ||ギリシャ独立宣言、憲法制定
1822年1月24日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官Jose Gabriel de Silva y Bazan(~18220130)
1822年1月25日-09:00|日本|東京都墨田区|文政5年1月3日|<大相撲>文政5年1月場所[江戸本所回向院](10日間) 幕内優勝:(東大関) 柏戸、7勝2敗1休
1822年1月27日-02:00|ギリシャ| ||<就任>ギリシャ執行部委員長「アレクサンド・ロス・ニコラウ・マヴ・ロルダス」(~18230509)
1822年1月27日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||گران・カリヤ島、テリフェ島はスペイン王国カリヤ諸島州の一部となる(~18231001)
1822年1月28日-01:00|イタリア| ||<初演>ガエターノ・ド・セッティ《歌劇「クアラダのゾライダ」》
1822年1月30日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理Ramon Lopez Pelegrin(~18220228)
1822年2月-01:00|マルタ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「Manley Power卿」(3期目~5.17)
1822年2月2日-05:30|スリランカ/イギリス| ||<就任>イギリス領セイロン第4代総督「エドワード・パジエット」(~11.6)
1822年2月2日-09:00|日本|山形県酒田市|文政5年1月11日|<酒田文政5年の大火>染屋小路から出火し、炎は本町四ノ丁から三ノ丁、和泉小路、上の山、荒瀬町、近江町、新片町など町の中心部をなめて904軒焼失
1822年2月3日-05:30|インド| ||<就任>シンド国ラジャ「サンガット・シン」(~18341104没)
1822年2月3日 06:00|ホンジュラス| ||<就任>テグシガルパ上級政治責任者「セル・デ・イオニシオ・デ・ラ・トリニダード・デ・エレ・イ・ディ・アス・デル・パジエ」(~18240916)
1822年2月4日 00:00|イギリス| ||<就任>初代バッキンガム=シャントス公・シャントス侯・ストーの初代テンポル伯「リチャード・テンポル=ニュージェント=ブリッジ=ス=シャントス=グレンヴィル」3代ニュージェント伯(~18390117死去)
1822年2月4日 06:00|ニカラガ/メキシコ| ||「クアラダ」はメキシコに編入(~18230116)
1822年2月5日-02:00|ギリシャ/トルコ| ||ギリシャの豪族アリ・パシャがオスマン帝国に降伏し、処刑される/81歳(誕生:1741)
1822年2月5日-01:00|マルタ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ウィリアム・Parker Carrol卿」(2期目~3.17)
1822年2月5日 00:00|イギリス| ||<就任>初代リスト=エル伯「ウィリアム・ヘア」(~18370713死去)
1822年2月5日-08:00|インドネシア/中国| ||清・道光2年1月14日|インドネシア・バンカ・フリタウ州のGaspar海峡で清からの移民を載せたジャンク船「的星」が座礁し沈没
1822年2月6日-08:00|中国| ||<即位>タライ=ラム「10世ツルティム・ギャツォ」(~18370930死去)
1822年2月6日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「アンゴラとコンゴ」の司教ジョアン・ダ・マスケノ・ダ・シルバ・ボウオス(臨時政府委員会議長)」(~18230524)
1822年2月9日 04:00|トミカ共和国/ハイチ| ||<就任>ハイチ軍サント・ミンゴ司令官「ジョエル=マクシミアン・バルビエラ」(~1832年)
1822年2月9日 04:00|トミカ共和国/ハイチ| ||ハイチ軍が首都サント・ミンゴを制圧。スペイン系クレオール人の自治を保障することと、エスパニョラ島全土を統合(~18440227)
1822年2月9日 05:00|パナマ| ||<就任>パナマ軍事総督「セル・マリア・カレニョ」(~1826年)、総督「ファン・セル・アルコテ」(1回目~1826年)
1822年2月10日-01:00|ポーランド| ||<死去>チェシ公「アルベルト・カジミール」
1822年2月10日-01:00|ポーランド| ||<就任>チェシ公「カール」(~18470430死去)
1822年2月11日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|文政5年1月20日|<死去>片桐貞彰(52歳) 前大和小泉藩主
1822年2月12日 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||<就任>プエルトリコ知事兼提督代理「Diego Jose de Navarro」(~5.30)
1822年2月16日-05:30|インド/デンマーク| ||<就任>デンマーク領東インド諸島(トランケバル)総督「キューバーン」「イェンス・コフォート」(~18230507)
1822年2月16日-01:00|イタリア| ||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「セ・ルミラ」》
1822年2月21日 05:00|エクアドル| ||「ケカ」の王党派軍、戦わずしてスル軍に降伏
1822年2月21日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|文政5年1月30日|(~閏1月1日)<鹿児島文政5年の大火>晩の六つ半(午後7時ごろ)、下町菩薩堂通りから出火し城下の武家屋敷ごとごとく焼失
1822年2月21日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡日野町|文政5年1月30日|<死去>近江仁正寺藩17000石「市橋長発」(18歳)⇒2月22日、養子「市橋長富」が継ぐ(⇒天保15(1844)年10月7日、隠居)
1822年2月27日-09:00|日本|東京都|文政5年閏1月6日|<死去><死去>式亭三馬(49歳、安永5(1776)年生)滑稽本作者、浮世絵師/「浮世風呂」の作者
1822年2月28日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「Francisco Martinez de la Rosa」(~8.5)
1822年3月1日 00:00|セカール/フランス| ||<就任>フランス領セカール司令官「ロジェ男爵ジャック=フランソワ」(1回目~18240831)
1822年3月2日-08:00|中国| ||清・道光2年2月9日|鉄砲(鳥槍)や火器を私蔵すること、私造することが禁止され

1830迄 (2634件)

る

1822年3月9日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ウクライナのロシア総督「Nikolay Ivanovich Perovskiy」(~18231028)
1822年3月12日-09:00|日本|北海道|文政5年閏1月19日|有珠山が噴火する/火砕流で虻田集落が全滅し、和人およびアイヌ70余人死亡
1822年3月17日-09:00|日本|京都府綾部市|文政5年閏1月24日|<交替>丹波綾部藩19500石「九鬼隆度」隠居⇒弟「九鬼隆都」が継ぐ(⇒文久元(1861)年6月10日、隠居)
1822年3月23日-09:00|日本| ||文政5年2月|<刊行>八百善主人・栗原善四郎「江戸流行料理通」初編(翌年完結)
1822年3月23日-09:00|日本| ||文政5年2月1日|かん踊りという唐人踊りの見せ物が禁止
1822年3月27日 00:00|ガーナ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ植民地ゴールドコースト準州総督「チャールズ・マッカーシー卿」(1回目~5.17)
1822年3月30日 06:00|アメリカ| |||<発足>アメリカ、フロリダ準州設置
1822年4月 05:00|ペルー| |||イカの闘い。副王軍がサンマルチン軍を撃破。リマに迫る
1822年4月 05:00|ペルー| |||ペレハは、ハウハのカテラックとアレキパのバルデスに出動を命令。トリストン、ガラ大佐の独立軍を攻撃/独立軍惨敗
1822年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フェデリコ・ゴッジ」「フランチェスコ・グイ・イ・ジヤンツ」
1822年4月1日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ領ギアナ(オランダ西インド会社)総督「アブラハム・デ・ウイア」(~18271012)
1822年4月4日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ウィリアム・Parker Carrol卿」(3期目~6.20)
1822年4月4日 06:00|ベリーズ/イギリス| |||<就任>ベリーズ居留地管理者(ジャマカの知事に従属)代行「アレン・ハンプデン・ハイ」(~18230115)
1822年4月6日-09:00|日本|福岡県北九州市|文政5年2月15日|<死去>小倉新田藩(篠崎屋敷)1万石「小笠原貞温」(57歳)⇒長男「小笠原貞哲」が継ぐ(⇒天保14(1843)年12月9日、隠居)
1822年4月7日 05:00|エカトル| |||ホリバル、ホンネーナのたたかい/千8百名以上の死傷者を出し敗退
1822年4月7日-09:00|日本| ||文政5年2月16日|幕府が、全国の人口を調査
1822年4月8日 05:00|エカトル/スペイン| |||<就任>スペイン領トリスチナ暫定総督・議長「メルチョー・デ・アイメリッ・イ・ビシヤファナ」(2回目~5.24)
1822年4月11日 05:00|エカトル/コロンビア| |||ケカを大コロンビアへ再編入(~18300513)
1822年4月12日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|文政5年2月21日|宇和島藩領三机浦大火、274軒焼失
1822年4月13日 06:00|コスタリカ| |||<就任>メキシコ帝国コスタリカ州上級理事会議長「ホセ・サンティアゴ・デ・ホーネ・ジョー・イ・ラ・ホーリャ」(~7.15)
1822年4月17日-09:00|日本|宮城県仙台市若林区|文政5年2月26日|仙台佛眼寺類焼
1822年4月18日-02:00|キプロス/エジプト| |||<就任>エジプト軍キプロス司令官「サリフ・ベイ」(~1825年)
1822年4月18日-02:00|キプロス/エジプト| |||ギリシャ独立戦争の間(オスマン帝国を代表して)エジプトがキプロス占領(~1829年12月)
1822年4月20日-09:00|日本|福島県会津若松市|文政5年2月29日|<死去>陸奥会津藩23万石「松平容衆」(20歳)⇒弟「松平容敬」が継ぐ(⇒嘉永5年2月10日(18520229)、死去)
1822年4月21日 03:00|アルゼンチン| |||アルゼンチンの騎兵部隊がバティで王党派を撃破
1822年4月21日 05:00|エカトル| |||スクレ軍、リパバンバの近郊でアイメリ軍と対決。これを打ち破る/王党派軍はトリスチナ北西のヒンチャに敗走/スクレ軍、リパバンバにはいる
1822年4月22日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||エーゲ海のオス島で、オスマン軍が多数のギリシア人を処刑
1822年4月22日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス総督「Antonio Manuel de Noronha」(~18230828)
1822年4月22日-08:00|中国| ||清・道光2年閏3月|広東でイギリス人と中国人の乱闘で死傷事件が発生
1822年4月25日 00:00|リベリア/アメリカ| |||<就任>アメリカ領ケープ・メスト植民地代理人代行「フレデリック・ジェームス」(~6.4)
1822年4月26日-09:00|日本|福井県|文政5年3月5日|大野城下で大火、家中100軒・町家706軒焼失
1822年5月-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ・スルタン「オマル・アリ・サイフディン2世」(1824年12月まで反体制派~18521118没)
1822年5月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>タマカス・ワリス(総督)「Beylanli Mustafa Pasha」(~1823.3)
1822年5月 05:00|エカトル/スペイン| |||エカトルがスペインから独立。ホリバルの部下アントニオ・ホセ・デ・スクレがエカトルを解放
1822年5月1日 06:00|カナダ| |||モントリオール総合病院が設立される
1822年5月2日-09:00|日本|山形県米沢市|文政5年3月11日|<死去>上杉治憲(上杉鷹山)。疲労と老衰のため(72歳)前出羽米沢藩主
1822年5月4日-05:30|インド| |||<就任>ジャムナ国ラジャ「ケラフ・シン」(~18460315)
1822年5月12日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ゼッティ「歌劇「ジプシーの女」」
1822年5月12日-09:00|日本|島根県松江市|文政5年3月21日|<死去>出雲松江藩18万6千石「松平齐恒」(32歳)⇒5月23日、長男「松平齐貴」が継ぐ(⇒嘉永6(1853)年9月5日、強制隠居)
1822年5月14日 13:00|日本|北海道|文政5年3月23日|有珠山、火砕流で山麓の集落が全滅/死者103名、馬1,473頭被害
1822年5月17日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン＝コーター＝アルテンブルク公「アウグスト」
1822年5月17日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「Augustus フレデリック・Warburton」(~6.5)
1822年5月17日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝コーター＝アルテンブルク公「フリードリヒ4世」(~18250211死去)
1822年5月17日 00:00|ガーナ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ植民地ゴールドコースト準州総督「ジェームス・チャム司令官

1830迄 (2634件)

」(1回目~11.28)

1822年5月18日-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ・スルタン「ムハンマド・アラム」篡奪者(1824年12月)

1822年5月19日 07:00|メキシコ| |||<即位>メキシコ帝国皇帝「アグスティン1世(アグスティン・デ・イトゥルビデ)」(18230319)

1822年5月19日-09:00|日本|茨城県古河市|文政5年3月28日|<加増>下総古河藩7万石「土井利厚」+1万石⇒8万石(⇒文政5(1822)年6月24日、死去)

1822年5月23日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督代理「ウィリアム・スミス」(4期目~18231016)

1822年5月24日-01:00|ドイツ| |||ドイツの天文学者「フランク・ベネ」は、彗星を発見(「ベネ彗星」)この彗星が3.3年周期であることを示し、この日「ベネ彗星」が近太陽点にあることを予言

1822年5月24日 05:00|エクアドル/スペイン| |||スレ軍3千名とアイメリツ指揮下のスペイン王党派2千名が、ピチンチャ火山の山麓で決戦/スレ軍の勝利/キトが解放される

1822年5月30日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Francisco Gonzalez de Linares」(18231202)

1822年6月-01:00|ドイツ| |||<就任>プロシヤ王国首相「オットー・カール・フリードリヒ・フォン・フオス」(18230630)

1822年6月1日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<死去>セント・マース島・セントジョン島総督「Carl Gottlieb Fleischer」

1822年6月1日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>セント・マース島・セントジョン島総督「Carl Vilhelm Jessen」(18230330死去)

1822年6月1日-09:00|日本|東京都|文政5年4月12日|<死去>画家、渡辺(内田)玄対/74歳/中山高陽にまなび、山水、花鳥を得意とした/谷文晁の師

1822年6月4日 00:00|リベリア/アメリカ| |||<就任>アメリカ領ケープ・メサド植民地代理人代行「ライオン・ジョンソン」(1回目~8.8)

1822年6月5日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ウィリアム・Parker Carol 卿」(1期目~18日)

1822年6月5日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領ドミニカ総督「ハントントン伯爵ハンス・フランシス・ヘイスティングス」(1824年)

1822年6月9日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||オスマン帝国の守備隊がアテネのアカロリスを明け渡す

1822年6月14日-09:00|日本|和歌山県新宮市|文政5年4月25日|<死去>紀伊新宮藩35000石(紀州藩附家老)「水野忠実」(74歳)⇒6月5日、嫡孫「水野忠啓」が継ぐ(⇒天保6(1835)年8月16日、隠居)

1822年6月15日 00:00|イギリス| |||<死去>2代オフォート伯「ホレーショ・ウオルポール」

1822年6月15日 00:00|イギリス| |||<就任>3代オフォート伯「ホレーショ・ウオルポール」(18581229死去)

1822年6月16日 05:00|エクアドル/コロンビア| |||エクアドル、グランコロンビアに併合

1822年6月16日 06:00|アメリカ| |||サスカラワでヴァーの率いる奴隷反乱。30人以上が処刑される

1822年6月18日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「Manley Power 卿」(4期目~18230205)

1822年6月20日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「Manley Power 卿」(5期目~18240113)

1822年6月21日-05:30|インド| |||<就任>アッサム国ラジャ「ヨーゲシュワラシンハ」(2回目~18260224)

1822年6月21日-02:00|ルーマニア| |||<即位>モルダヴィア公「イアン・スタルザ」(18280505~18420202死去)

1822年6月22日 06:00|グアテマラ| |||<就任>グアテマラ州最高政治責任者・総督・次官「ヒセンテ・フィリッパ・デ・マルティネス」(18230717)

1822年6月23日 05:00|コロンビア| |||サン・アントニオ島、プロビデンス島、セント・キャサリン諸島の住民は、自発的に大コロンビア共和国に加盟

1822年6月25日-09:00|日本|福島県須賀川市|文政5年5月7日|<死去>亜欧堂田善(75歳)銅版画家/司馬江漢に就いて西洋画を学び、盛んに銅版画を製作

1822年6月29日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ドニゼッティ《歌劇「署名のない手紙」》

1822年6月30日-02:00|ルーマニア| |||<即位>ワキア公「ゲリコ・レ4世ギェーカ」(18280429)

1822年6月30日-01:00|スペイン| |||マドリッドの軍部隊が反乱開始。内戦はカスティリヤ、トレド、アンダルシアに拡大。共和派はフェルナンドを捕らえ幽閉

1822年7月 00:00|セガル| |||<就任>フクト・トロ統治者統治者(アルマニ)「ホカル・モティ・カン」(18230208)

1822年7月4日 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島市民知事「Juan Ramirez de Cardenas」(18230301)

1822年7月5日-02:00|ルーマニア| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ヤノス・ハーロ・ヨシカ・ブーニツカイ」(11.25まで政府議長~1834年1月)

1822年7月5日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督「Johan Frederik Bardenfleth」(18270714)

1822年7月5日 06:00|アメリカ/メキシコ| |||<就任>メキシコ領ニューメキシコ総督「Francisco Xavier Chavez」(~11月)

1822年7月8日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスのロマン派詩人「シェリー」/29歳(誕生17920804)

1822年7月9日-01:00|ノルウェー| |||<就任>ノルウェー首席国務長官「ジョナス・コレット」(18361110)

1822年7月11日-09:00|日本| |||文政5年5月23日|<死去>4代岸澤式佐(51歳)常磐津節三味線方

1822年7月13日-02:00|ルーマニア| |||ワキアとモルダヴィアでファナリオット制が廃止

1822年7月13日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官代行「セバスチャン・キンテン・イ・オルガン」(18230502)

1822年7月15日 06:00|コスタリカ| |||<就任>メキシコ帝国コスタリカ州上級理事会議長「ホセ・マリア・デ・ペラルタ・イ・デ・ラ・ウエガ」(180.17)

1830迄 (2634件)

1822年7月17日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ノボロシヤベッサリア総督「Ivan Nikitich Inzov」(~18230507)
1822年7月17日 05:00|エクトル| |||エクトル民兵軍、バレーの闘いで王党派を撃破。両軍併せ800の死者を出す激戦
1822年7月19日-09:00|日本|東京都|文政5年6月2日|<死去>烏亭焉馬(80歳)戯作者、浄瑠璃作家
1822年7月21日 07:00|メキシコ| |||アグスティン1世が周辺諸国を統治しメキシコ帝政開始
1822年7月28日 05:00|ペルー| |||サン・マルティンがボリバルにペルーを委譲
1822年7月30日-05:30|インド| |||<就任>ジント 国摂政「ラニ・マイ・サーヒブ・カール」(1回目~1827年)
1822年7月31日 05:00|エクトル/コロンビア| |||ボリバル、グアヤキルをグラン・コロンビアに併合/グアヤキルとエスメラルダを併せグアヤキル州と
1822年8月2日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|文政5年6月16日|近江の幕府領八幡町で増助郷に反対する強訴が起る(御朱印騒動)
1822年8月3日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの政治家カスリーが喉を切って自殺/53歳(誕生17690618)アイルランドとイングランドの合併を成功させた
1822年8月3日-09:00|日本|埼玉県深谷市|文政5年6月17日|<死去>安部信享(65歳)前武蔵岡部藩主
1822年8月5日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「Evaristo Fernandez San Miguel y Valedor」(~18230425)
1822年8月6日-09:00|日本|愛知県豊田市|文政5年6月20日|<死去>内藤政峻(45歳)前三河挙母藩主
1822年8月8日 00:00|リベリア/アメリカ| |||<就任>アメリカ領ケー・マスラ 植民地代理人代行「ジェフ・ディ・アッシュン」(1回目~18230402)
1822年8月10日-09:00|日本|茨城県古河市|文政5年6月24日|<死去>下総古河藩8万石「土井利厚」(64歳)⇒8月23日、養子「土井利位」が継ぐ(⇒嘉永元(1848)年4月25日、隠居)
1822年8月14日-02:00|トルコ/シリア/アラブ| |||トルコ・シリアで地震(M7.4)死者2万人
1822年8月14日-09:00|日本|長野県諏訪市|文政5年6月28日|<死去>諏訪忠肅(55歳)前信濃諏訪藩主
1822年8月15日-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| |||<就任>マリアナ諸島暫定知事「Jose Montilla」(~18230515)
1822年8月17日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・道光2年7月|朝鮮の西海岸一体で伝染病が流行し、死者多数
1822年8月17日-09:00|日本|長野県伊那市|文政5年7月1日|信濃の高遠藩の農民が、わらじ・木綿の人頭税に反対して強訴する(わらじ騒動)
1822年8月19日-09:00|日本|大分県速見郡日出町|文政5年7月3日|<死去>木下俊懋(51歳)前豊後日出藩主
1822年8月21日-05:30|インド| |||ボンベイにインド人教育協会が設立され、イギリス化教育を開始
1822年8月21日-09:00|日本| |||文政5年7月5日|<死去>5代都太夫一中(63歳)浄瑠璃太夫
1822年8月24日-09:00|日本|大阪府大阪市|文政5年7月8日|<就任>大坂城代「松平周防守康任」(~文政8.5.15)
1822年8月24日-09:00|日本|東京都千代田区|文政5年7月8日|<解任>老中「土井利和」
1822年8月25日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの天文学者ウィリアム・ハーシェル/83歳(誕生17381115)/天王星や土星の衛星など多数の天体を発見した
1822年9月 05:00|ペルー| |||ボリバル、副王軍を撃破しリマを解放
1822年9月2日-09:00|日本| |||文政5年7月17日|<死去>2代富本豊前掾(69歳)浄瑠璃太夫
1822年9月7日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||サン・パウロを旅行中の摂政公ドン・ペドロが、ブラジルのポルトガルからの独立を宣言
1822年9月8日-05:30|インド| |||<就任>バンガハル国統治者(ナワブ)「フサイン・アリ・カーン」(1回目~1835年10月)
1822年9月11日 03:00|ウルグアイ/ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル/ブラジル軍モンテビデオ総督「マデイラ伯Alvaro da Costa de Souza Macedo」(~18240228)
1822年9月14日-01:00|フランス| |||仏ジャン・ポリオン、エジプトの象形文字ロゼッタ石のヒエログリフを解読
1822年9月15日-09:00|日本| |||文政5年8月|<完成>塙保己一編「続群書類従」(1150巻に2103種の文献を収録)
1822年9月15日-08:00|中国| |||清・道光2年8月|河南で捻子の暴動
1822年9月20日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー主権制憲議会議長代行「トリビオ・ロドリゲス・デ・メントーサイ・コランテス」⇒議長「フランシスコ・ザビエル・デ・ルナ・ビサロ・イ・パチエコ・アラウス」(~22日)
1822年9月21日 00:00|イギリス/オマーン| |||イギリスとオマーンが奴隷貿易禁止条約を締結
1822年9月22日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー最高統治委員会「ホセ・ドミンゴ・デ・ラ・メルセ・ド・ラ・マル・イ・コルタサル(大統領)/フェリペ・アントニオ・アルバラート・イ・デ・トレド・ヒメンテル/ヒスタ・フロリダ 伯爵ヌニョ・ホセ・サザール・イ・バキナ」(~18230227)
1822年9月23日 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルで1822年憲法が制定される
1822年9月24日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ゲオルゲ・イミトリ・キカ」(~18280630)
1822年9月27日-02:00|エジプト/フランス| |||フランス、グルノーブルの高校の歴史教師ジャン・フランソワ・ジャン・ポリオン(32)が、ロゼッタストーンを手掛かりに古代エジプトの文字ヒエログリフの解読に成功し、学士院で発表
1822年9月28日-09:00|日本| |||文政5年8月14日|日本初のコレラ患者(コレリ)が発生(~10月初旬)全国での死亡者はわずかに10数万人と推定
1822年10月-05:30|インド| |||<就任>ロハル国摂政「ミルザ・シャムステイン・アフマト・カーン」(~1825年2月)
1822年10月 06:00|エルサルバドル/グアテマラ| |||エルサルバドル軍、メキシコ軍の支援を受けたフィリッパのグアテマラ軍に敗れる
1822年10月1日-01:00|スロベニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア領イリュリア王国ライハツ州知事「ヨーゼフ・カミッロ・フライヤー・フォン・シュミットブルク」(~18401224)
1822年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリアーノ・ベグニ」(「ジョヴァンニ・マルペリ」)
1822年10月1日 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルが立憲王国になる
1822年10月1日-09:00|日本|東京都|文政5年8月17日|浅草寺奥山、御蔵前通、両国などの盛り場で流行していた投扇興行が禁止

1830迄 (2634件)

1822年10月6日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|文政5年8月22日|<死去>出羽本荘藩2万石「六郷政純」(22歳)⇒12月14日、養子「六郷政恒」が継ぐ(⇒嘉永元(1848)年2月22日、隠居)

1822年10月8日-08:00|インドネシア| ||ジャワ島のガランゲンで噴火が起こり、100の村が破壊される

1822年10月12日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ミハイル・イリコヴィッチ総督領主「イオン・アレクサンドル・シュトゥルツァ」(~18280425)

1822年10月12日 03:00|ブラジル| ||<即位>ブラジル帝国皇帝「ペドロ1世」(~18310407)

1822年10月13日 10:00|クック諸島/アメリカ| ||アメリカのパトリック・スミス大尉がマニヒキを発見し、ハンフリーズ島と名付けた

1822年10月16日-04:00|ジョージア| ||<就任>アフバニア公「ミハイル」(~18640624)、摂政「タマル・ダ・ディアニ」(2回目~1824年)

1822年10月17日 06:00|コスタリカ| ||<就任>メキシコ帝国コスタリカ州上級理事会議長「ラファエル・ルイス・ホセ・デ・ガシエロ・ス・イ・アルバート」(~18230101)

1822年10月17日-09:00|日本| ||文政5年9月3日|<就任>老中「松平乗寛」(~天保10年12月2日)

1822年10月17日-09:00|日本|京都府京都市|文政5年9月3日|<就任>京都所司代「内藤信敦」(⇒1825(文政8年04月06日))

1822年10月21日-05:30|インド/イギリス| ||チャタグパール国はイギリスの保護領

1822年10月21日 03:00|ブラジル/ポルトガル| ||バイ州Conceicao農園の戦い/独立派部隊がポルトガル軍の攻撃を跳ね返す

1822年10月25日-09:00|日本|山形県米沢市|文政5年9月11日|<死去>上杉治広(59歳)前出羽米沢藩主

1822年10月26日-01:00|イタリア| ||<初演>ガエターノ・ド・ネッティ《歌劇「釘とセフィア、または海賊たち」》

1822年10月28日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国主席大臣「サントアマロ侯爵ルイス・エジペ・イ・アルバレス・デ・アルメイダ」(~30日)

1822年10月29日-01:00|チュニジア| ||<就任>サイン朝大法官「フセイン・コジヤ」(~1829年)

1822年10月30日-08:00|フィリピン/スペイン| ||<就任>スペイン領フィリピン総督「フアン・アントニオ・マルティネス」(~18251014死去)

1822年10月30日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ホセ・ホセ・ファシオ・デ・アントニオ・エ・シルバ」(2回目~18230717)

1822年11月 06:00|アメリカ/メキシコ| ||<就任>メキシコ領ニューメキシコ総督「Jose Antonio Vizcarra」(~1823.9)

1822年11月1日-01:00|クロアチア/ハンガリー| ||クロアチアのリュリアの一部であった地域がハンガリーに復元される

1822年11月2日-03:00|スーダン/エジプト| ||<就任>エジプト領スーダン最高司令官「ムハンマド・ベイ・デ・フテルダール」(~1825年)

1822年11月6日-05:30|スリランカ/イギリス| ||<就任>イギリス領セイロン総督代行「ジェームズ・キャンベル」(~18240118)

1822年11月8日 03:00|ブラジル/ポルトガル| ||ピラジニャの戦いで独立派が勝利

1822年11月9日 06:00|アメリカ| ||テイラー、ジェファソン 砦をルイジアナ西部に構築

1822年11月10日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「ボススタンチャシ・デリ・アフドゥッラー・ハシヤ」(~18230310)

1822年11月14日-09:00|日本|東京都中央区|文政5年秋|江戸の三大道場のひとつ、千葉周作が日本橋品川町に道場(玄武館)を開く

1822年11月19日 04:00|チリ| ||チリ、バルパライソ沖で地震(マグニチュード8.6)死者2000人

1822年11月25日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>ガリツ州知事代理「Franz Freiherr Krieg von Hochfelden」(~同年)

1822年11月28日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「シエラフ・セリム・シリ・ハシヤ」(~18260512)

1822年11月28日 00:00|モロッコ| ||<死去>アラウィー朝スルタン「ムレイ・スライマン」62歳

1822年11月28日 00:00|ガーナ/イギリス| ||<就任>イギリス領西アフリカ植民地ゴールド・コースト準州総督「チャールズ・マッカーシー卿」(2回目~18240121)

1822年11月28日 00:00|モロッコ| ||<即位>アラウィー朝スルタン「ムレイ・アフドゥッラー・マヌー・スライマン」の甥(~18590824死去81歳)

1822年11月30日 00:00|モロッコ| ||<即位>モロッコ・スルタン「アフ・アルファトル・アフドゥ・アル・ラマヌ」(~18590828)

1822年11月30日-09:00|日本|茨城県笠間市|文政5年10月17日|<死去>牧野貞喜(65歳)前常陸笠間藩主

1822年12月 05:00|ペルー| ||アルバートが指揮する独立軍、イキに進出するが、カンテック、アルペルーのペドロ・アントニオ・オラエタの軍に敗北し、リマに逃げ帰る

1822年12月1日 03:00|ブラジル| ||ブラジル皇帝ペドロ1世の戴冠式が行なわれる

1822年12月1日 07:00|メキシコ| ||ゲアタルベ・ビクトリア、脱獄しベラクルスで蜂起/ベラクルス港駐在の司令官アントニオ・ロペス・デ・サンタナは、メキシコ共和国の独立を宣言/ビクトリアと組んでトルヒテに対する反乱開始/ビセンテ・ケレロもブラボ将軍と組んで反乱

1822年12月7日-09:00|日本| ||文政5年10月24日|<大相撲>文政5年10月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東大関)柏戸,6勝2敗1無勝負1休

1822年12月10日 00:00|イギリス| ||<死去>4代タンカーヴィル伯「チャールズ・ベネット」

1822年12月10日 00:00|イギリス| ||<就任>5代タンカーヴィル伯「チャールズ・ベネット」(~18590625死去)

1822年12月12日 06:00|アメリカ/メキシコ/コロンビア| ||アメリカ、他国にさきがけメキシコとコロンビアを承認

1822年12月13日-09:00|日本|福井県|文政5年11月1日|勝山城内で出火、御殿・御新宅焼失

1822年12月14日 00:00|アイルランド/イギリス| ||オレンジ 党員がイギリス人総督を襲い、ダブリン市内で暴動が発生

1822年12月22日 05:00|ジャマイカ/イギリス| ||<就任>英領サントフィコ 総督「マンチエスター公ウィリアム・モンタギュー」(3回目~18270702)

1822年12月23日 00:00|ポルトガル/ブラジル| ||イタパリ島の戦い、独立軍の勝利

1822年12月25日-09:00|日本| ||文政5年11月13日|<死去>4代中島三甫右衛門(44歳)歌舞伎役者

1822年12月27日 00:00|イギリス| ||<死去>初代トロヘダ侯「チャールズ・ムーア」

1822年12月27日 00:00|イギリス| ||<就任>2代トロヘダ侯「チャールズ・ムーア」(~18370206死去)

1823年-13:30|キリバス/イギリス| ||イギリスの捕鯨船船長バレンタイン・スターバックによりスターバック島発見

1830迄 (2634件)

1823年-08:00|フィリピン| |||<死去>スール王国スルタン「Shakirullah bin Sultan ムハンマド・Sharafuddin」
 1823年-08:00|インドネシア| |||<即位>アチェ王国スルタン「ムハンマド・シャー」(~1838年)
 1823年-08:00|マレーシア/タイ| |||<即位>ケタ・スルタン国スルタン「トゥンク・ケティン」(タイに対し反乱~1825年)
 1823年-08:00|フィリピン| |||<即位>スール王国スルタン「ジヤマル・キラム1世」(~1842年死去)
 1823年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテ・スルタン「Muhammad Zain」(~1859年)
 1823年-07:00|タイ| |||<即位>チェンマイ国チェットン朝国王「セーティ・カムファン」(~1825年)
 1823年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン摂政「チョキ・ギヤルツェン」(1回目~1831年)
 1823年-05:30|インド| |||<就任>カンベイ国支配者(ナワブ)「アリ・カーン」(~18410315没)
 1823年-05:30|インド| |||<就任>カルヌル国支配者(ナワブ)「ケラム・ラシル・カーン」(~1839年12月)
 1823年-05:30|インド| |||<就任>セライクワ国ラジャ「アジヤンバー・シン」(~1837年没)
 1823年-05:30|インド| |||<就任>タラト国統治者(タークル)「カランジン・ガ・アナジ」(~1859年没)
 1823年-05:30|インド| |||<就任>タンタ国統治者(マハラ)「ナルシムジ・アハ・イシムジ」(~1847年)
 1823年-05:30|インド| |||<就任>トリ・ファテプル国統治者(デイワン)「ハル・プーラト・シン」(~1858年没)
 1823年-05:30|インド| |||<就任>トールワイ国統治者(デイワン)「ブッタ・シン」⇒「ナハル・シン」(~1851年)
 1823年-05:30|インド| |||<就任>ナガール国ラジャ「フーラジャ・バントウ・シン・マンダッタ」(~1851年8月没)
 1823年-05:30|インド| |||<就任>ハンカ・ハハリ国統治者(デイワン)「イシュワリ・シン」(~1847年没)
 1823年-05:30|インド| |||<就任>ハンタ国支配者(ナワブ)「スルフィール・アリ・ハバドウル」(~1849年没)
 1823年-05:30|インド| |||<就任>ヒジンナ国統治者(デイワン)「スジャン・シン」(~1839年没)
 1823年-05:30|インド| |||<就任>マニポール国ラジャ「ヒタンバ・ラ・シン」(ヒルマ統治下~1825年)
 1823年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>カーブル首相(ワズール・イ・アザム)「ハビホ・ウラーカーン」⇒「ヤール・モハマト・カーン・アリコザイ」(~1824年)
 1823年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>アフガニスタン大王(ハト・シャー)「ハビホ・ウラーシャー」⇒摂政(ハト・シャー)「スルタン・モハマト・カーン・モハマト・ザイ」(~1826年)
 1823年-04:30|アフガニスタン| |||<退位>アフガニスタン大王(ハト・シャー)「アイユーブ・シャー」
 1823年-03:30|イラン| |||<就任>カラエイ汗国カーン「サルタル・モハンマド・ハーン・カラエイ・トルバティ」ペルシャに対して反乱(~18330614独立はペルシャによって終焉)
 1823年-03:30|イラン| |||<就任>ペルシャ大宰相「アブドラー・ハーン・アミン・アル・ダウラ」(1回目~1825年)
 1823年-03:00|ペルシア/ロシア| |||<就任>ウイフ・スク、モグリオフ、スモレンスク、(1831年まで)カールガのロシア総督「クニャージ・ニコライ・ニコラエヴィッチ・ボグアンスキー」(~18360522)
 1823年-03:00|サウジアラビア/エジプト| |||<就任>ネジュト首長「トルキ・ブン・アブドゥラ」(2度目~18340509、死去)
 1823年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラのムテッサリフ「アブドゥルカニ・アガ」(~1824年)
 1823年-03:00|ケニア| |||<即位>ハテスルタン国スルタン「Bwana Waziri ibn Bwana Tamu, Mfalume」(1期目~不明)⇒「Bwana a Shaykh ibn Fumo Madi, Mfalume」(2期目~不明)⇒「Bwana Waziri ibn Bwana Tamu, Mfalume」(2期目~1830年)
 1823年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定総督「Manuel Fernandez」(~同年)⇒暫定総督「Antonio Quiroga」(~同年)⇒暫定総督「Francisco Antonio de Villar y Herrera」(5期目~同年)⇒総督「Juan Maria Munoz Manito」(1期目~1824年)
 1823年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソンガイ帝国皇帝「ハッサウ・ミシ・イェ」(~1842年)
 1823年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「准将Alexander Walker」(~1828年)
 1823年 00:00|セカール| |||<就任>サルム統治者(フール・サルム)「ンデ・ネム・ルン・ジ・エイ」(~同年)⇒「ペール・ストウング・スレジャント」(~1851年)
 1823年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>南グリーンランド検査官代理「Arent Christopher Heilmann」(~1824年)
 1823年 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トバゴ総司令官、総督代行「J.W.ニコル」(~同年)⇒総司令官、総督「フレデリック・フィリップ・スロビンソン卿」(4期目~18260705)
 1823年 05:00|ケマン諸島/イギリス| |||<死去>イギリス領ケマン諸島主任判事「ウィリアム・Bodden2世」
 1823年 05:00|ケマン諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領ケマン諸島主任判事「ジェームズ・Coe "the Elder"」(~1829年)
 1823年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ニコラス・ルドルフ・フォン・ワッテンウイル」Mod(2期目~12.31)
 1823年1月1日 06:00|コスタリカ| |||<就任>メシコ帝国コスタリカ州上級理事会議長「ホセ・サントス・ロンバルト・イ・アルバラード」(~3.15)
 1823年1月2日-09:00|日本| ||文政5年11月21日<死去>松浦検校(不明)地歌三味線・箏曲演奏家、作曲家
 1823年1月2日-09:00|日本|岡山県倉敷市|文政5年11月21日<交替>岡山新田藩15000石「池田政恭」隠居⇒長男「池田政範」が継ぐ(⇒天保10(1839)年正月23日、隠居)
 1823年1月9日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領ベンガル総督(イギリス東インド会社)代行「ジョン・アダム」(~8.1)
 1823年1月9日-09:00|日本| ||文政5年11月28日<死去>初代式守伊之助(80歳)大相撲立行司
 1823年1月11日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト司令官代行「リブレイト・ヤン・テンク」(~5.6)
 1823年1月12日-09:00|日本|山形県酒田市|文政5年12月<酒田文政5年の大火>出町から出火し、神社や寺院を多く焼失させたうえ、人家1240軒を失った
 1823年1月15日 06:00|ベリーズ/イギリス| |||<就任>ベリーズ居留地管理者(ジャマカの知事に従属)「エドワード・コット」(~1829年4月)
 1823年1月16日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「ジョアン・ダ・マッタ・チャブゼ」(~18261213)
 1823年1月24日-09:00|日本|京都府宮津市|文政5年12月13日<宮津百姓一揆>丹後国宮津藩に一揆が起こる
 1823年1月26日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの医学者ジェナー/73歳(誕生17490517)種痘を開発した

1830迄 (2634件)

1823年1月27日-09:00|日本| ||文政5年12月16日|<完成>佐藤信淵「経済要略」
1823年1月28日 04:00|チリ| ||自由派の連邦主義者フアン・フレイレ・セラーノ、南部で反乱/ルビナスは失脚。大統領を辞職しリマに亡命→<就任>チリ大統領アグスティン・エイスアギレ(~18230329)
1823年1月29日 04:00|チリ/スペイン| ||<就任>チリ最高監督「政府機関:アグスティン・マヌエル・デ・エイザギレ・イ・アレチャバラ/ホセ・ミケル・インファンテ・イ・ロバス/フェルナント・デ・エラスリス・イ・マルティネス・デ・アルト・ウナテ」(~30日)
1823年1月30日 04:00|チリ/スペイン| ||<就任>チリ最高監督「アグスティン・マヌエル・デ・エイザギレ・イ・アレチャバラ(暫定政府機関議長)」(~4. 4)
1823年2月 04:00|セントルシア/イギリス| ||<就任>イギリス領セントルシア総督「ジョン・キン卿」(2度目~4. 23)
1823年2月 04:00|サン・マルタン/フランス| ||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「Louis Aurange」(1期目~1824. 10)
1823年2月3日-01:00|イタリア| ||<初演>ジョアキノ・ロッシーニ《歌劇「セミラミデ」》
1823年2月10日 06:00|エルサルバドル| ||<就任>メキシコ帝国サンサルバドル監事・総督「ウイセント・フィリッパ」(~5. 7)
1823年2月11日-09:00|日本|千葉県野田市|文政6年|須賀神社猿田彦神石像建立
1823年2月11日-09:00|日本| ||文政6年1月|<出版>葛飾北斎「一筆画譜」「今様櫛煙管雛形」
1823年2月11日-09:00|日本| ||文政6年1月|<出版>速水春暁斎「絵本堪忍記」
1823年2月11日-09:00|日本| ||文政6年1月|<出版>柳々居辰斎「狂歌駅路鈴」
1823年2月11日-09:00|日本| ||文政6年1月|<出版>柳川重山「絵本ふぢはかま」
1823年2月15日-09:30|オーストラリア| ||ジェームズ・マクフライン、バースト近くのフィッシュ川で金の発見を報告。オーストラリア最初の金の発見だと考えられる
1823年2月18日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トリニダード知事「ラルフ・ジェームズ・ウッドフォード卿」(2期目~18280401)
1823年2月24日-01:00|ドイツ| ||<就任>ドイツ連邦議会大統領特使(フランクフルト・アム・マイン)「ヨアヒム・エドゥアルト・フライヘル・フォン・ミューヒ・ベリッゲ・ハウゼン」(~18480312)
1823年2月27日 05:00|ペルー| ||<就任>ペルー共和国陸軍大元帥「トルヒリョ侯爵ホセ・ベルナルド・デ・タグレ・イ・ホルタレロ」(~28日)
1823年2月28日 05:00|ペルー| ||<就任>ペルー共和国大統領「ホセ・マリア・ノデ・ラ・クルス・デ・ラ・リバ・ミル・アグエロ・イ・サンチェス・ボケ」(~6. 23)
1823年3月1日-02:00|トルコ| ||イスタンブールで大火が発生
1823年3月1日 00:00|カリヤ諸島| ||<就任>スペイン王国カリヤ諸島市民知事「Rodrigo Fernandez de Castanon」(~18231105)⇒「Santiago Vicente de Les y Aguirre」(~1824年)
1823年3月2日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>ガリツァ州知事「Ludwig Graf von Taaffe」(~1826. 8)
1823年3月2日-09:00|日本|岐阜県山県市|文政6年1月20日|<死去>本庄道昌(53歳)前美濃高富藩主
1823年3月3日 06:00|コスタリカ| ||<就任>メキシコ帝国コスタリカ州制憲議会議長「ホセ・マリア・デ・ペラルタ・イ・デ・ラ・ウエガ」(~19日)
1823年3月6日 04:00|BES諸島/オランダ| ||<就任>セント・ユスティウス島知事「Willem Albert van Spengler」(~1828. 3)
1823年3月10日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「ターナクザデ・シラタール・アリ・パシャ」(~12. 13)
1823年3月11日 00:00|セントヘレナ/イギリス| ||<就任>イギリス領セントヘレナ総督・最高司令官「アレクサンダー・ウォーカー」(~18280414)
1823年3月12日 03:00|仏領ギアナ/フランス| ||<就任>ギアナ司令官兼管理者「Pierre Bernard」(~18250326)
1823年3月14日 00:00|ポルトガル/ブラジル| ||パラ州のポルトガル軍部隊が降伏
1823年3月15日-09:00|日本|東京都墨田区|文政6年2月3日|<大相撲>文政6年2月場所[江戸本所回向院](7日間)幕内優勝:(東関脇)源氏山, 6勝1敗
1823年3月19日 07:00|メキシコ| ||3人の軍人からなる臨時政府樹立. メキシコ共和国成立
1823年3月19日 07:00|メキシコ| ||<退位>メキシコ帝国皇帝「アグスティン1世(アグスティン・デ・イトゥルビデ)」ペラルタ軍との戦闘に敗れ国外追放になる
1823年3月20日 06:00|コスタリカ| ||<就任>メキシコ帝国コスタリカ(常任委員会)代議員議長「ラファエル・フランシスコ・ホセ・ジョ」(~29日)
1823年3月20日-09:00|日本|愛知県田原市|文政6年2月8日|<死去>三河田原藩12000石「三宅康和」(26歳)⇒養子「三宅康明」が継ぐ(⇒文政10(1827)年7月10日、病死)
1823年3月20日-09:00|日本|東京都|文政6年2月8日|<死去>谷素外(90歳)俳人
1823年3月21日 00:00|セントヘレナ/イギリス| ||<就任>アセンション島司令官「エドワード・ニコル」(~18281103)
1823年3月21日-09:00|日本| ||文政6年2月9日|歌舞伎役者や浄瑠璃語り、人形遣いなどが、旅行の際に姿を変え、虚名を名乗って通行すること禁止
1823年3月29日 06:00|コスタリカ| ||<就任>メキシコ帝国コスタリカ総司令官(カルタゴ)「ホアキン・デ・オレアム・イ・ムニョス・デ・ラ・トリニダード」(~4. 5)
1823年3月29日 07:00|メキシコ| ||<就任>メキシコ制憲議会議長「ホセ・マリア・ノ・マリン」(~4. 2)
1823年3月30日 04:00|米領ガージン諸島/イギリス| ||<死去>セント・マス島・セントジョン島総督「Carl Vilhelm Jessen」
1823年4月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| ||<就任>ビサウ司令官「ジョアキン・アントニオ・デ・マタ」(1回目~1825年)
1823年4月 00:00|ポルトガル| ||ポルトガル摂政ドン・ミゲルのクーデター
1823年4月 05:00|ペルー| ||再び独立戦争始まる/リマの独立政府、サンタクルス将軍にアリカから高原地帯を攻撃するよう指示
1823年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・メルクリ」(マリノ・ロンフェルニニ)
1823年4月1日 04:00|米領ガージン諸島/イギリス| ||<就任>セント・マス島・セントジョン島総督「Peter Carl Frederik von Scholten」(3期目~18260303)
1823年4月2日 00:00|リベリア/アメリカ| ||<就任>アメリカ領ケープ・メスト植民地代理人代行「ライオン・ジョーンソン」(2回目~8. 14)

1830迄 (2634件)

)

1823年4月2日 06:00|コスタリカ| |||<就任>メキシコ帝国コスタリカ総司令官(アラフエラとサンホセ)「ケレコ・リオ・ホセ・ラミレス・イ・カストロ」(~16日)

1823年4月2日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ帝国最高行政権大統領「ペドロ・セラステイノ・ネグレ・サンテステバン」(~30日)

1823年4月4日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「南公轍」(~18330703)

1823年4月4日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ最高監督「ラモン・フレイル・イ・セラーノ」(8.21まで暫定~18260709)

1823年4月5日 04:00|チリ| |||<就任>チリ大統領「ラモン・フレイル」(~8.13)

1823年4月5日 06:00|コスタリカ| |||カルタゴ近郊の丘チリモコでカルタゴ軍とサンホセ軍の戦闘/ファン・モラ・フェルナンデス将軍の率いるサンホセ軍が、カルタゴ軍に圧勝

1823年4月7日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの物理学者アレクサンドル・シャルル(17461112~)「シャルルの法則」

1823年4月7日-01:00|スペイン/フランス| |||フランス軍が、ピレネー山脈を越えてスペインに侵入し、スペイン革命に干渉

1823年4月7日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|文政6年2月26日|<死去>下野宇都宮藩77000石「戸田忠延」(34歳)⇒4月、弟「戸田忠温」が継ぐ(⇒嘉永4(1851)年7月26日、死去)

1823年4月10日-02:00|ギリシャ| |||ギリシャで第2回国民会議を開催し、中央政府を設置

1823年4月11日-09:00|日本| ||文政6年3月|<出版>歌川国貞「江戸紫訥子頭巾」

1823年4月11日-09:00|日本|東京都中央区|文政6年3月|<初演>「浮世塚比翼稲妻」<鈴ヶ森、山三浪宅、鞘当>[作・四代目鶴屋南北], 市村座[原・山東京傳]

1823年4月14日 00:00|ガンビア/イギリス| |||カハバの王によってマッカーシー(レメイ)島がイギリスに割譲される

1823年4月16日 06:00|コスタリカ| |||<就任>メキシコ帝国コスタリカ制憲会議議長「ホセ・マリア・デ・ペラルタ・イ・デ・ラ・ベガ」(~5.10)

1823年4月17日 06:00|ニカラガア| |||<就任>レオン暫定統治政権大統領「暫定統治政権(ペドロ・ソリス・テラン/ホセ・デ・カルメン・サラザール・ラカヨ/フランシスコ・キヨネス/トミンゴ・ニコラス・ガラルサ・イ・フセ・ニコ・デ・コカ/バシリオ・カリジョ/ホセ・バレンティン・フェルナンデス・ガジェゴ・ス/ファン・モデスト・エルナンデス」(~18250104)

1823年4月20日 06:00|ニカラガア| |||<就任>グアラタ防衛解放軍最高司令官「ホセ・アナクト・オルト・ネス・ベルムデス」(~7.2)

1823年4月23日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「ジョン・モンタギュー・メインワリング」(2度目~18240121)

1823年4月25日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理「Jose Manuel Vadillo」(~5.7)

1823年4月29日-09:00|日本|京都府京都市|文政6年3月19日|<就任>関白「鷹司政通」(~安政3年8月8日)

1823年5月-01:00|スペイン/フランス| |||共和派政府はフェルナンドを連れセリアに撤退。マドリッド防衛軍司令官はひそかに降伏して、フランスへ逃亡。マドリッド軍はまもなく降伏

1823年5月 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルの王子ドン・ミゲルが反乱

1823年5月 05:00|ペルー| |||サンタクルス、チカカ湖畔での戦闘でセレ軍に惨敗、リマに敗走

1823年5月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ帝国最高行政権大統領「ホセ・マリア・ノブエバントウーラ・デ・ミケレナ・イ・ジール・デ・ミランダ」(1回目~31日)

1823年5月1日-09:00|日本| ||文政6年3月21日|<死去>田中訥言. 失明を苦にして舌を噛み切って自殺(57歳)絵師

1823年5月2日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「フランシスコ・デ・イオニオ・ビヘス・イ・リャネス」(~18320515)

1823年5月2日-09:00|日本| ||文政6年3月22日|<死去>中村大吉(51歳)歌舞役者

1823年5月4日-09:00|日本|埼玉県行田市|文政6年3月24日|<移封>伊勢桑名藩10万石「松平忠堯」⇒武蔵忍藩10万石(⇒天保9(1838)年11月、隠居)

1823年5月4日-09:00|日本|福島県白河市|文政6年3月24日|<移封>武蔵忍藩10万石「阿部正権」⇒陸奥白川藩10万石(⇒同年10月6日、死去)

1823年5月4日-09:00|日本|三重県桑名市|文政6年3月24日|<移封>陸奥白河藩11万石「松平定永」⇒伊勢桑名藩113000石(⇒天保9年10月13日(18381129)死去)

1823年5月6日 00:00|ガナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト司令官「ウィルム・プーelman」(~18240514)

1823年5月7日-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>東インド諸島(トランケバル)デンマーク領総督「ギョハーン」「ウルリッヒ・アントン・シェンハイター」(~18250307)

1823年5月7日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理「Santiago Usoz y Mozi」(~5.13)

1823年5月7日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>メキシコ帝国サンサルバドル監事・総督「フェリペ・コタロス・ヌニェス」(~25日)

1823年5月8日-05:30|インド/イギリス| |||イギリスがボンベイに最高法院を設置

1823年5月9日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ執行部委員長「ペトロン・イ・イリウ・マゴロミリス」(~12.31)

1823年5月10日 06:00|コスタリカ| |||<就任>メキシコ帝国コスタリカ統治会議議長「マヌエル・デ・ヘスス・アルバラド・エ・イタルゴ」(1回目~18240108)

1823年5月13日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「Jose Maria Pando de la Riva y Ramirez de Laredo」(~8.29)

1823年5月14日 05:00|ペルー/スペイン| |||カンテラックにひきいられた副王軍、リマをいったん占拠

1823年5月15日-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| |||<就任>マリアナ諸島知事「Jose Ganga Herrero」(~18260801)

1823年5月16日-09:00|日本|東京都|文政6年4月6日|<死去>大田南畝(蜀山人)(75歳、寛延2(1749)0303生)旗本、文人、狂歌師/江戸市民文化の中心的存在

1823年5月19日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ノボロシヤ=ベッサラビヤ総督「Graf Mikhail Semyonovich Vorontsov」(~18541105)

1823年5月20日-04:00|モリシャス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モリシャス総督・最高司令官代行「ラルフ・ダーリング」(2回目)

1830迄 (2634件)

~6. 12)

1823年5月23日-01:00|スペイン/フランス| |||フランス軍がマトリードに侵攻し革命を弾圧
1823年5月24日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「クリストヴァン・アウグーリノ・デ・イサ」(~1824年1月)
1823年5月25日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>メキシコ帝国サンサルバドル監事・総督「諮問委員会:マリアノ・フランド・バカ/ホセ・ミラ/ホセ・リバス」(~6. 17)
1823年5月27日-08:00|シガポール/イギリス| |||<就任>イギリス保護領シガポール居住司令官「ジョン・クワファート」(~18260815)
1823年5月28日 03:00|ブラジル| |||ポルトガル派の拠点となっていたアマゾンでも、ムラノが先頭となり、独立闘争が始まる
1823年5月29日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国首相「ホセ・アントニオ・ファリア・デ・カルヴァリョ」(~6. 1)
1823年6月1日-04:00|モリシャス/イギリス| |||<就任>イギリスのトングラ島司令官「フィリペ・マラゴン」(3回目~1825年10月)
1823年6月1日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国首相「ジョアキム・ペドロ・ゴメス・デ・オリヴェイラ」(~18240319)
1823年6月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ帝国最高行政権大統領「ニコラス・フランド・ホー・ルエタ」(1回目~30日)
1823年6月1日 10:00|日本|東京都千代田区|文政6年4月22日|夜、西丸御書院番・松平外記、同役五名を殺傷、自殺
1823年6月3日 10:00|日本|長崎県対馬市|文政6年4月24日|対馬藩再び府中大火、千余戸を焼失
1823年6月7日 10:00|日本|新潟県刈羽郡|文政6年4月28日|旗本安藤氏領の刈羽郡内で、諸経費節減、不正大庄屋の排除を求め、打ちこわしが起こる
1823年6月12日-04:00|モリシャス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モリシャス総督・最高司令官「カルフレイス・ローリー・コール卿」(~18280617)
1823年6月13日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ソールズベリー侯「ジェームズ・セシル」
1823年6月13日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ソールズベリー侯「ジェームズ・フランソワ・ウィリアム・カスコイン=セシル」先代の息子(~18680412死去)
1823年6月22日-09:00|日本|三重県鳥羽市|文政6年5月14日|<死去>稲垣長以(75歳)元志摩鳥羽藩主
1823年6月23日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領「アントニオ・ホセ・フランシスコ・デ・スケレ・イ・アルカラ(ペルー統一解放軍総司令官)」(~7. 20)
1823年6月29日 03:00|ブラジル| |||王権に厳しい制限を設けた新憲法が発効
1823年6月30日-01:00|ドイツ| |||<就任>プロシヤ王国首相「カール・フリードリヒ・ハインリヒ・フォン・ヴュルテ・ウント・ロットウム」(~18410214)
1823年7月 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ総督代行「ジョージ・ハーターソン」(3回目~18260105)
1823年7月1日 04:00|グアテマラ/フランス| |||<就任>グアテマラ知事兼管理者「Louis Leon Jacob」(~18260518)
1823年7月1日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア| |||<就任>中央アメリカ諸州連合最高統治組織代表(メキシコ帝国による指名)「ヒセンテ・フィリッ」(~10日)
1823年7月1日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ諸州連合サンサルバドル最高政治責任者「マリアノ・フランド・バカ」(~18240422)
1823年7月1日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア/メキシコ| |||<設立>中央アメリカ諸州連合(メキシコ帝国から独立)
1823年7月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ帝国最高行政権大統領「ホセ・マリアノ・フランド・エナントウラ・デ・ミケレナ・イ・ジラル・デ・ミランタ」(2回目~31日)
1823年7月2日-01:00|ドイツ| |||<死去>オルデンブルク大公「ヴィルヘルム(ヘンター・フリードリヒ・ヴィルヘルム)」
1823年7月2日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「アルフレッド大王」》
1823年7月2日-01:00|ドイツ| |||<即位>オルデンブルク大公「ヘンター1世(ヘンター・フリードリヒ・ルートヴィヒ)ヴィルヘルムの従弟」(~18290521死去74歳)
1823年7月2日 03:00|ブラジル| |||アルバス・デ・リマを指揮官とする独立軍、コラン提督の支援を受け、バイアに立てこもるポルトガル軍を攻撃し陥落
1823年7月2日 06:00|ニカラグア| |||<就任>中央アメリカ諸州連合グアタ防衛解放軍最高司令官「革命委員会(ホセ・アナクト・クレト・ホルト・ニェス・ベルムデス/ライムント・ティファア/フアン・イグナシオ・マレンコ・イ・ロハス・デ・ル・コラル/ソラーノ・カストリジョ/ニコラス・デ・ラ・ロジャ・サパタ/マヌエル・サントバル)」(~1825年1月)
1823年7月7日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|文政6年5月29日|紀州の和歌山藩の農民が蜂起し庄屋・豪商宅などを打ちこわす
1823年7月9日-09:00|日本|東京都墨田区|文政6年6月2日|<死去>狂歌師・烏亭焉馬(70余歳)
1823年7月10日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア| |||<就任>中央アメリカ諸州連合最高行政権「初代三頭政治:アントニオ・リベラ・カバサ/ペドロ・ホセ・アントニオ・モリーナ・マザリコス/フアン・ヒセンテ・ウイコルタ・デ・イサ」(~10. 5)
1823年7月14日-01:00|スイス| |||スイスで「新聞雑誌と外国人取締令」が制定
1823年7月16日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メウラ暫定総督「Juan Perez de Hacho y Olivan」(~1824年)
1823年7月17日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ホセ・ホアキン・カルネイロ・デ・カンボス」(1回目~11. 10)
1823年7月19日 00:00|イギリス| |||<死去>5代ロクスバラ公「ジェームズ・ヘンリー」
1823年7月19日 00:00|イギリス| |||<就任>6代ロクスバラ公「ジェームズ・ヘンリー」(~18790423死去)
1823年7月20日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領「ホセ・ベネディクト・デ・タグル・イ・ポルトカレロ」(18230816まで最高政治・軍事長官~18240218)
1823年7月24日 05:00|コロンビア| |||マカベの闘い。ボリーバル軍のパティージャ提督が勝利
1823年7月28日 03:00|ブラジル| |||マラニオン州で独立軍が勝利
1823年7月28日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|文政6年6月21日|<死去>山城淀藩10200石「稲葉正発」(23歳)⇒

1830迄 (2634件)

25日、叔父「稲葉正守」が継ぐ(⇒天保13(1842)年7月20日、隠居)
1823年7月28日-03:30|イラン/トルコ| ||オスマン朝とカージャール朝がエルズルムで和平条約を締結
1823年8月 00:00|セガール| ||<就任>フクトーロ統治者統治者(アルマニ)「ユフ・サー・リー」(7回目~1825年)
1823年8月 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>アゾレス諸島総司令官「暫定政府委員会:Joao Pereira Forjaz d e Lacerda/Roberto Luis de Mesquita Pimentel/Luis de Meireles do Canto e Castro」(~11.17)
1823年8月 05:00|キューバ| ||フエルト・プリンシペ(現カグエイ)で「カテナ(鎖)の反乱」発生
1823年8月 06:00|アメリカ/メキシコ| ||<就任>メキシコ領ニューメキシコ総督「Bartolome Baca」(~1825.9)
1823年8月1日-05:30|インド/イギリス| ||<就任>イギリス領ベンガル総督(イギリス東インド会社)「アマースト男爵ウィリアム・ピット・アマースト」(~18280313)
1823年8月1日 07:00|メキシコ| ||<就任>メキシコ最高行政権大統領「ミゲル・ラモン・セバスティアン・ド・ミンガス・デ・アルマン」(1回目~31日)
1823年8月7日 00:00|アイスランド/デンマーク| ||<就任>アイスランド 総督代行「ビャルニ・ソ・スタインソン」(1回目~18240802)
1823年8月9日 00:00|イギリス| ||<死去>2代コンウォリス侯「チャールズ・コンウォリス」
1823年8月9日 00:00|イギリス| ||<就任>4代コンウォリス伯「ジェームズ・コンウォリス」初代侯の弟(~18240120死去)
1823年8月13日 04:00|刊| ||<就任>刊大統領「ディエゴ・ホセ・ベナベンテ」(~9.2)
1823年8月13日-09:00|日本|静岡県牧之原市|文政6年7月8日|<移封>陸奥下村藩1万石「田沼意正」⇒遠江相良藩1万石(⇒天保7(1836)年4月21日、隠居)
1823年8月14日 00:00|リベリア/アメリカ| ||<就任>アメリカ領ケープ・メサド 植民地代理人「ジョセフ・デ・アッシュムン」(2回目⇒182408157リベリア領リベリア植民地代理人~18280326)
1823年8月14日-09:00|日本| ||文政6年7月9日|<死去>岩間乙二(68歳)俳人
1823年8月15日 03:00|ブラジル| ||パラ州、ブラジルへの併合を受け入れる
1823年8月15日-09:00|日本|京都府京都市|文政6年7月10日|<死去>京都の浮世絵師、速水春暁斎/60余歳
1823年8月20日-01:00|バチカン| ||<死去>第251代ローマ教皇「ピウス7世」/83歳(誕生17400814)
1823年8月27日 00:00|イギリス| ||<死去>4代ホープトン伯「ジョン・ホープ」
1823年8月27日 00:00|イギリス| ||<就任>5代ホープトン伯「ジョン・ホープ」先代の息子(~18430408死去)
1823年8月27日 00:00|カリブ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国カリブ諸島総司令官「Ramon Polo」(~同年)
1823年8月27日-09:00|日本|愛媛県西条市|文政6年7月22日|小松藩、周布郡長民群集し、大頭村で3軒・小松町で1軒を打ちこわす
1823年8月27日-09:00|日本|東京都|文政6年7月22日|<死去>江戸城奥坊主組頭・河内山宗春、獄死/御三家水戸家の富くじをめぐる恐喝で捕らえられていた
1823年8月28日 00:00|ポルトガル| ||<就任>マテウス総督「Manuel Francisco de Portugal e Castro」(~18270429)
1823年8月29日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理「Luis Maria de Salazar y Salazar」(~9.4)
1823年8月31日-01:00|フランス/スペイン| ||リエゴ・イ・ヌエス(38)のスペイン革命軍が、トロカデロの戦いでフランス軍に敗れ、革命政府が崩壊
1823年9月1日 07:00|メキシコ| ||<就任>メキシコ最高行政権大統領「ビセンテ・ラモン・ゲレロ・サルタ・ニャ」(1回目~30日)
1823年9月2日 04:00|刊| ||<就任>刊大統領「ラモン・フレイル」(~18260709)
1823年9月3日-01:00|イタリア| ||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「だまされた幸運な男」》
1823年9月4日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理「Juan Antonio Yandiola Garay」(~9.6)
1823年9月5日-08:00|インドネシア| ||<死去>マタラム王国スルタン「Pakubuwono5世」
1823年9月5日-08:00|インドネシア| ||<即位>マタラム王国スルタン「Pakubuwono6世」(~1830年退位~18490602死去)
1823年9月5日-09:00|日本| ||文政6年8月|<出版>儒学者・青山延于(拙斎)「皇朝史略」/「大日本史」を簡略化した神武天皇から後小松天皇までの歴史書
1823年9月5日-09:00|日本| ||文政6年8月|<出版>蹄斎北馬「狂歌隅田川名所図会」
1823年9月5日-09:00|日本| ||文政6年8月|<出版>八島一老「一老画譜」
1823年9月6日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官Jose Luyando(2期目~18231001)
1823年9月10日-09:00|日本|三重県四日市市|文政6年8月6日|伊勢国北伊勢で一揆
1823年9月11日-05:30|インド/イギリス| ||シト国はイギリス保護領(条約による)
1823年9月11日 00:00|イギリス| ||<死去>イギリスの経済学者リカード/51歳(誕生17720419)
1823年9月13日 06:00|エルサルバドル/グアテマラ| ||新政府の共和主義的傾向に反対するラファエル・アリサ・イトリス大尉による反乱/王政派のホルマリア・マルティネス・ワシヨの反乱があいつぐ
1823年9月20日-09:00|日本|和歌山県新宮市|文政6年8月16日|<交替>紀伊新宮藩35000石(紀州藩附家老)「水野忠啓」隠居⇒長男「水野忠央」が継ぐ(⇒安政7(1860)年6月15日、隠居)
1823年9月23日-01:00|スペイン| ||革命政府が崩壊したスペインで、フェルナンド7世が再び王位に就く
1823年9月24日-06:30|ミャンマー/イギリス| ||ビルマのアウン・パヤ朝軍がイギリス軍を攻撃し、ベンガル現地民軍を破る
1823年9月24日-09:00|日本|長野県長野市|文政6年8月20日|<交替>信濃松代藩13万2千石「真田幸専」隠居⇒養子「真田幸貫」が継ぐ(⇒嘉永5(1852)年5月6日、隠居)
1823年9月27日-09:00|日本|兵庫県姫路市|文政6年8月23日|<交替>播磨安志藩1万石「小笠原長禎」隠居⇒長男「小笠原長武」が継ぐ(⇒天保10(1839)年8月21日、死去)
1823年9月28日-01:00|バチカン| ||<就任>第252代ローマ教皇「レオ12世」(~18290210死去)
1823年9月28日-01:00|バチカン| ||<就任>バチカン枢機卿国務長官「ジュリオ・マリア・デッラ・ソマリア」(~18280117)
1823年9月29日-09:00|日本|岩手県|文政6年8月25日|陸中岩手山で地震(M5.8~6.0)山崩れあり、死者69人、不明4

1830迄 (2634件)

人

1823年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・マリア・ベッルツィ」「フィリッポ・フィリッポ」
1823年10月1日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「Victor Damian Saez y Sanchez-Mayor」(~12.2)
1823年10月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高行政権大統領「ホセ・マリア・ノブエラ・ベンチュラ・デ・ミケレナ・イ・シム・デ・ミランダ」(3回目~31日)
1823年10月4日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国第二次三頭政治「Jose Santiago Milla Pineda Arriaga」(~18240205)、「Tomas O' Horan」(~18250429)
1823年10月4日-09:00|日本| ||文政6年9月|<出版>八島岳亭「鹿島名所図会」
1823年10月5日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア| |||<就任>中央アメリカ諸州連合最高行政権「第2代三頭政治:トマス・アントニオ・ホラン・イ・アルゲッロ/ホセ・サンティアゴ・ミラ・ベネタ・アリアガ」(~8日)
1823年10月7日-05:30|インド| |||<死去>パラトブル国マハラジャ「ランデーイル・シン」
1823年10月7日-05:30|インド| |||<即位>パラトブル国マハラジャ「バルデーオン」(~18250226没)
1823年10月8日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア| |||<就任>中央アメリカ諸州連合最高行政権「第2代三頭政治:トマス・アントニオ・ホラン・イ・アルゲッロ/フアン・ベセンテ・ベジヤコルタ・デ・イアス(代行)」(~18240205)
1823年10月8日-09:00|日本|滋賀県東近江市|文政6年9月5日|<交替>近江山上藩13000石「稲垣定淳」隠居⇒長男「稲垣定成」が継ぐ(⇒天保5(1834)年10月10日、隠居)
1823年10月16日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Isidoro Uriarte」(~1827年)
1823年10月16日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督「ウィリアム・ラムリー-中將」(2期目~1825.6)
1823年10月21日 00:00|イギリス| |||<死去>7代ブリッジウォーター伯「ジョン・ウィリアム・エジヤトン」
1823年10月21日 00:00|イギリス| |||<就任>8代ブリッジウォーター伯「フランス・ヘンリー・エジヤトン」(~18290211死去廃絶)
1823年10月22日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||トントロの命を受けたグレンフェル、ベリンに上陸し自由主義者256人を逮捕射殺
1823年10月25日-01:00|ドイツ| |||<初演>カール・マリア・フリードリヒ・エルンスト・フォン・グーナー《歌劇「オリアンテ」》
1823年10月28日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>タウリアのロシア総督「Dmitriy Vasilyevich Naryshkin」(~18290429)
1823年10月30日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの発明家カートライト/80歳(誕生17430424)自動織機を発明した
1823年10月31日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|文政6年9月28日|<死去>戸田忠翰(63歳)下野宇都宮藩主
1823年11月1日 06:00|アメリカ| |||<売却>アメリカ海軍チャールズ級戦列艦「チャールズ」(2805t, Adam & Noah Brownで建造)
1823年11月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高行政権大統領「ミゲル・ラモン・セバスティアン・ド・ミンゲス・デ・アルマン」(2回目~30日)
1823年11月1日-09:00|日本|佐賀県唐津市|文政6年9月29日|<死去>肥前唐津藩6万石「小笠原長昌」(28歳)⇒12月29日、養子「小笠原長泰」が継ぐ(⇒天保4(1833)年9月20日、隠居)
1823年11月8日 04:30|ベネズエラ/スペイン| |||ホセ・アントニオ・パイス、フエルト・カベリョで抵抗を続ける最後のスペイン駐屯軍を撃破、ベネズエラの完全解放を成し遂げる
1823年11月8日-09:00|日本|福島県白河市|文政6年10月6日|<死去>陸奥白川藩10万石「阿部正権」(18歳)⇒従兄「阿部正篤」が継ぐ(⇒天保2(1831)年11月20日、隠居)
1823年11月10日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「フランシスコ・ビレラ・パルメイラ」(~14日)
1823年11月10日-09:00|日本|東京都新宿区|文政6年10月8日|天を光物が通過し、早稲田の御家人の住居玄関の所に石が落ちる。屋根を破壊、破片が飛散する。これより7、8年前にも八王子の農家の畑に大石が落下
1823年11月12日-01:00|イタリア| |||<即位>トントロ司教公「Franz Xaver Luschin」(~18340318)
1823年11月13日-09:00|日本|東京都千代田区|文政6年10月11日|<解任>老中「阿部正精」
1823年11月14日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ペドロ・デ・アラウジョ・オリマ」(1回目~17日)
1823年11月17日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アゾレス諸島総司令官「Francisco de Borja Garcao Stockler」(2期目~18240724)
1823年11月17日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ジョアン・セザリアーノ・マシエル・ダ・コスタ」(~18241014)
1823年11月17日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||グラン・パラウのカターで独立軍がポルトガル軍に勝利/グラン・パラウのブラジル帰属を実現
1823年11月18日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「マヌエル・マリア・ゴンサルベス・ザルコ・ダ・カマラ」(~18251117)
1823年11月21日 03:00|ブラジル| |||ブラジルで出版法が制定され、検閲が強められる
1823年11月21日-09:00|日本|和歌山県田辺市|文政6年10月19日|<死去>紀伊田辺藩38000石(紀州藩附家老)「安藤直則」(44歳)⇒翌年6月27日、養子「安藤直馨」が継ぐ(⇒文政9年3月29日(18260505)、死去)
1823年11月23日-09:00|日本|千葉県君津市|文政6年10月21日|<交替>上総国久留里藩3万石「黒田直侯」隠居⇒養子「黒田直静」が継ぐ(⇒嘉永7(1854)年4月26日、死去)
1823年11月26日-09:00|日本|東京都墨田区|文政6年10月24日|<大相撲>文政6年10月場所[江戸本所回向院境内](10日間)幕内優勝:(西小結)四賀峰, 7勝2敗1休
1823年11月27日-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督代行「M. P. R. ラケット(理事会議長)」(~18240124)
1823年12月-13:30|カリバス/イギリス| |||エンターペリー島は英国船トランジット号のジェームズ・J・コフィン船長によって発見された
1823年12月-05:30|インド| |||<就任>ジョージア国統治者(デシュムク)「ラム・ラオ1世ナヤン・ラオ・アハ・サーヒブ・ダフル」(~1835年8月没)
1823年12月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチー司令官「ジョアン・カブラル・ダ・ケニャ・グット・ルフィム」(2回目~1826年

1830迄 (2634件)

)

1823年12月1日-08:00|インドネシア| |||<即位>アチ王国国王「アラウッテ・イン・ムハンマド・ダウド・シャー」(~1838年)

1823年12月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高行政権大統領「ビセンテ・ラモン・ゲレロ・サルタネーヤ」(2回目~8日)

1823年12月2日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「Carlos Martinez de Irujo y Tacon」(~18240118)

1823年12月2日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Miguel Luciano de la Torre y Pando」(~18370114)

1823年12月2日-09:00|日本| ||文政6年11月|<死去>2代岸澤式佐(67歳) 浄瑠璃三味線方

1823年12月8日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高行政権大統領「ミゲル・ラモン・セバスティアン・ド・ミンゲス」(3回目~31日)

1823年12月13日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「メフメト・サイト・ガリッパ・パシャ」(~18240914)

1823年12月13日-09:00|日本|京都府京都市|文政6年11月12日|東本願寺火災

1823年12月13日-09:00|日本|東京都|文政6年11月12日|<死去>画家、高島千春/83歳

1823年12月14日-09:00|日本|東京都千代田区|文政6年11月13日|<就任>老中「松平輝延」(~文政8年2月17日)

1823年12月19日-08:00|インドネシア| |||<即位>ジョグジャカルタ・スルタン「Hamengkubuwono5世」(~18260817)

1823年12月22日-01:00|オーストリア| |||<初演>フランツ・ベター・シュベルト《「ロザムンデ」~ロマンス「満月は輝き」》→《劇音楽「キプロスの女王ロザムンデ」》

1823年12月23日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト総督「ヨハン・クリストファー・フォン・リシュリュ」(~18250507)

1823年12月31日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ執行部委員長「ゲオルギオス・アントニア・クントウリアティス」(18240118まで対抗~18260430)

1824年-08:00|マレーシア| |||<就任>ウルムアル統治者(ダトウク・ベンフル・ルアク・ウルムアル)「ダトウク・ホンコック・アブドゥル・マリク」(~1839年)

1824年-08:00|マレーシア| |||<就任>スガ・イ・ウジ・オン統治者(ウンダン・ルアク・スガ・イ・ウジ・オン)「ダトウク・カラル」(~1850年頃没)

1824年-08:00|マレーシア| |||<就任>スガ・リスビラン統治者(ヤン・デ・イ・ヘルトウアン・ベサル)「ラジャ・ラティン・イブ・ニラジャ・レンガン・ラン」(1回目~同年)⇒摂政「ラジャ・ケルジャン」(~1826年)

1824年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ベンクーレン居住者代表「ジョン・Prince」(~18250301)

1824年-08:00|インドネシア| |||<即位>アチ王国スルタン「ムハンマド・シャー」(~1838年)

1824年-05:30|インド| |||<就任>クタル国統治者(ラ)「フツフ・チャント」(~1858年没)

1824年-05:30|インド| |||<就任>ヒラフル国ラジャ「カラック・チャント」(~18390329没)

1824年-05:30|インド| |||<就任>ララム国ラジャ「パルワント・シン」(~18570829没)、摂政「ウィリアム・ホースウィック」(~1832年)

1824年-05:30|インド/イギリス| |||パリア国はイギリス保護領

1824年-05:00|インド 洋地域/イギリス| |||<就任>デュー・ガルシアのイギリス代理人「Le Camus」(~1829年)

1824年-05:00|ガブラスタン| |||<即位>フケイ・オルダ・ハン「ジャンギル」フケイの子(~1845年)

1824年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>カーブル首相(ワジール・イ・アザム)「ソルタン・モハマト・カーン・モハマト・ザイ」(~1826年)

1824年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バスラのムテッサリフ「アシス・アガ」(~1831年)

1824年-01:00|ドイツ| |||<死去>ロイス=ローベンスシュタイン侯「Heinrich54世」、ロイス=エーベルスドルフ侯国へ統合

1824年-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリ・リビア・ベイルベ・イレリ「メフメト・イブン・アリ(反乱)」(1回目)

1824年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督「Jose Miranda y Cabezon」(2期目~1826年)

1824年-01:00|ドイツ| |||<統合>ロイス=エーベルスドルフ侯「Heinrich72世」ロイス=ローベンスシュタイン侯領⇒ロイス=ローベンスシュタイン=エーベルスドルフ侯(~18481001解任、ロイス=シュライツ侯領へ)

1824年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「Joao Maria Xavier de Brito」(~1830年)

1824年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>南グリーンランド 検査官「Christian Alexander Platou」(2期目~1827年)

)

1824年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ボリビア聴問庁長官「ペドロ・アントニオ・デ・オラニエテ」(~1825年没)

1824年1月-05:30|インド/ミャンマー| |||ヒルマ軍がインド 領マニプールに侵攻

1824年1月-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「ニコラウ・デ・アブレウ・カステロ・ブランコ」(~1829年)

1824年1月 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア| |||<改称>中央アメリカ諸州連合⇒中央アメリカ連邦共和国

1824年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ニコラス・フリートリヒ・フォン・マリネン」(2期目~12.31)

1824年1月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高行政権大統領「セルマリャーノ・ブエナベンチュラ・デ・ミクレナ・イ・ジール・デ・ミランダ」(4回目~31日)

1824年1月7日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国枢密院議長「フレドリック・ユリウス・フォン・カース」(~18270111没)

1824年1月8日 06:00|コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国コスタリカ統治議会議長「エウセビオ・ロドリゲス・カストロ」(~2.12)

)

1824年1月12日-09:00|日本| ||文政6年12月12日|<死去>初代菅野序遊(63歳) 浄瑠璃三味線方

1824年1月17日-01:00|マルタ/イギリス| |||<死去>イギリス直轄植民地マルタ総督「トマス・メイトランド 卿」

1824年1月18日-05:30|スリランカ/イギリス| |||<就任>イギリス領セイロン第5代総督「エドワード・バーンズ」(2回目~18311013)

1824年1月18日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「Manley Power卿」(6期目~18240607)

1824年1月18日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「Narciso Fernandez de Heredia y Begines de los Rios」(~7.11)

1824年1月20日 00:00|イギリス| |||<死去>4代コンウォリス伯「ジェームズ・コンウォリス」

1824年1月20日 00:00|イギリス| |||<就任>5代コンウォリス伯「ジェームズ・マン」先代の息子(~18520521死去爵位廃絶)

1830迄 (2634件)

1824年1月21日 00:00|ガナ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ植民地ゴールド・コースト準州総督「ジェームズ・チザム」(2回目~18241017)

1824年1月21日 00:00|ガナ| |||<即位>アシャンティ王「Otumfuo Nana Osei Yaw Akoto」(~18340221)

1824年1月21日 00:00|ガナ/イギリス| |||ガナのボンササの戦いで、イギリス軍がアシャンティ軍に敗れる

1824年1月21日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「ジェームズ・カリ」(~2.27)

1824年1月23日-09:00|日本|長野県飯田市|文政6年12月23日|<飯田文政6年の大火>箕瀬町の床屋、岡田屋金之助の借家に住んでいる庄吉方より出火、城の堀端の枳殻垣(カヲ好の生け垣)まで延焼し、飯田の町の13町、1127軒が全焼

1824年1月24日-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督「ヘンリー・ファン・ファン・ゾー・ステン」(~18250601)

1824年1月31日-09:00|日本|福岡県筑後市|文政7年|船小屋温泉開湯

1824年1月31日-09:00|日本| |||文政7年1月|<出版>葛飾北斎「教訓仮名式目」

1824年1月31日-09:00|日本| |||文政7年1月|<出版>大阪の暁鐘成「澱川兩岸勝景図会」

1824年2月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高行政権大統領「ミゲル・ラモン・セバスティアン・ド・ミンガス」(4回目~29日)

1824年2月2日 04:00|フォークランド/イギリス| |||<就任>イギリス領フォークランド諸島司令官・総督「Pablo Areguati」(~8月)

1824年2月4日-01:00|イタリア| |||<初演>カエターノ・ド・ニッティ《歌劇「当惑した家庭教師、またはドン・グレコリア」》

1824年2月5日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国最高行政権「第2代三頭政治:トマス・アントニオ・ホラン・イ・アルケッロ/ホセ・セリオ・デ・イアス・デル・バジエ・イ・デ・イアス・デル・バジエ/ファン・ビセンテ・ビジャコル・デ・イアス(代行)」(3.15)

1824年2月5日-09:00|日本|東京都文京区|文政7年1月6日|<大相撲>文政7年1月場所[江戸湯島天神](10日間)幕内優勝:(東前2)小柳,8勝1敗1休

1824年2月5日-09:00|日本|広島県広島市|文政7年1月6日|<死去>広島新田藩3万石「浅野長容」(55歳)⇒6月17日、養子「浅野長訓」が継ぐ(⇒安政5(1858)年11月4日、広島藩を継ぐ)

1824年2月11日 06:00|ニカラグア| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラグア上級政治長官・次官「ホセ・フスト・ミラ・ピネタ・アリアガ」(~5.4)

1824年2月11日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>コマヤグア暫定上級政治責任者「セウ・エリノ・キニョネス」(~4.13)

1824年2月12日 06:00|コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国コスタリカ統治議会議長「マヌエル・デ・ヘスス・アルバ・ラート・イ・イダールコ」(2回目~9.8)

1824年2月17日 00:00|カナリヤ諸島| |||<就任>スペイン王国カナリヤ諸島市民知事「Fermin Martinez de Balmaseda」(~1827年)

1824年2月18日-02:00|ラトヴィア| |||<就任>ケルラント総督「ホルム・フォン・ハン男爵」(~18271207)

1824年2月18日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国独裁政権責任者「シモン・ホセ・アントニオ・デ・ラ・サンティスマ・トリニダード・ホーリハ・ル・イ・パラシオス(コロンビア共和国解放者大統領)」(~18250210)

1824年2月21日-01:00|ドイツ| |||<就任>ロイテンベルク公「アウグスト」(~118350328)

1824年2月27日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「サニエル・シェパード・フランクウェル」(~18260111)

1824年2月28日 03:00|ウルグアイ/ブラジル/ポルトガル| |||<就任>シスフアラチ州ブラジル総督「ラケナ男爵Carlos Federico Le cor」(~18280820)

1824年3月 05:00|ペルー| |||副王軍、ホリーバルの部隊を撃破し、ふたたびリマに迫る

1824年3月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高行政権大統領「ビセンテ・ラモン・ケレロ・サルタ・ニャ」(3回目~31日)

1824年3月5日-05:30|インド/ミャンマー/イギリス| |||第1次ビルマ戦争/ベンガル総督アマーストが、ビルマに宣戦布告

1824年3月6日-09:00|日本| |||文政7年2月6日|幕府が南鐐二朱銀を改鑄、3月から通用を始める

1824年3月7日 00:00|イギリス| |||<死去>2代クラレンドン伯「トマス・ウイリアーズ」

1824年3月7日 00:00|イギリス| |||<就任>3代クラレンドン伯「ジョン・チャールズ・ウイリアーズ」(~18381222死去)

1824年3月9日 06:00|ニカラグア| |||<即位>モスキート王「ロバート・チャールズ・フレデリック」(~18411008没)、摂政「スティーブン」(2回目~18250423)

1824年3月9日-09:00|日本|京都府京都市|文政7年2月9日|<死去>閑院宮孝仁親王(33歳)皇族

1824年3月14日-01:00|オーストリア| |||<初演>フランツ・ベーター・シュベルト《弦楽四重奏曲第13番イ短調Op. 29「ロザムンデ」》

1824年3月15日-09:30|オーストリア| |||ヴァンデイエーメンズラント銀行設立

1824年3月15日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国最高行政権「第2代三頭政治:トマス・アントニオ・ホラン・イ・アルケッロ/マヌエル・ホセ・メイブル・イ・ファゴアガ」(~9.4)

1824年3月17日-01:00|オランダ/イギリス/インドネシア/マレーシア| |||ロンドン条約でイギリスとオランダはベンクーールとマラッカを交換し、マラッカ海峡を境にマレー半島側はイギリス、スマトラ島側はオランダ、と勢力圏を確定

1824年3月19日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国首相「ホセ・アントニオ・デ・オリベ・イ・レイテ・デ・パロス・エト・ウ・アッレ」(~5.14)

1824年3月22日-02:00|フィンランド/ロシア| |||<就任>ロシア領フィンランド総督「アルネー・アント・レイヴ・イッチ・ザ・クレフスキー」(~18311201)

1824年3月22日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス領マルタ総督「初代ヘイスティングズ侯爵フランス・ヘイスティングズ」(~18261128)

1824年3月24日-01:00|ドイツ| |||<初演>ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン《ミサ・ソレムニス 二長調》

1824年3月25日 03:00|ブラジル| |||ブラジルで憲法が公布される

1824年3月27日-09:00|日本|山口県萩市|文政7年2月27日|<交替>長州藩369000石「毛利斉熙」隠居⇒従弟「毛利斉元」が継ぐ(⇒天保7(1836)年9月8日、死去)

1824年3月28日-01:00|チュニジア| |||<死去>フサイン朝ベイ「マフムト・イブン・ムハンマド」66歳

1830迄 (2634件)

1824年3月28日-01:00|チュニジア| |||<即位>サイン朝ベイ「アル＝サイン2世」マフムド・イブン・ムハンマドの息子(～18350520死去51歳)

1824年4月 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルで超保守派が反乱

1824年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ロド・ウ・イコ・ベ・ルツィ」(ウ・インチェンツォ・ブラスキ)

1824年4月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高行政権大統領「ニコラス・ブ・ラホー・ルエタ」(2回目～30日)

1824年4月2日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>ブエノスアイレス州知事「ファン・グレゴリオ・デ・ラス・ヘラス」(～18260307、大統領制度へ移行したため退任)

1824年4月4日 05:00|ペルー| |||カリャオのアルゼンチン防衛隊、給料不払いに抗議し本国帰還を要求して反乱/スペイン側に寝返る

1824年4月11日-01:00|ノルウェー| |||<就任>ノルウェー総督「副王オスカ皇太子」(1回目～11.1)

1824年4月13日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>コマヤグア暫定上級政治責任者「ジョーン・ジョセフ・デ・イラス」(～9.18)

1824年4月14日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国首相「ペドロ・デ・ヌザ・ホス・タイン」(～18250115)

1824年4月17日 00:00|ガンビア/ガーナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)代行「ダニエル・モロイ・ハミルトン」(～18250205)

1824年4月17日-04:00|ロシア/アメリカ| |||ロシア暦4月4日|アメリカとロシアが国境画定のための条約を締結

1824年4月19日-02:00|ギリシャ/イギリス| |||<死去>イギリスの詩人「バロンがギリシアで」36歳(誕生17880122)

1824年4月21日-09:00|日本| |||文政7年3月22日|<死去>北尾政美(鋤形蕙斎)(61歳)浮世絵師/「近世職人尽絵詞」などを描いた/北尾重政が門人

1824年4月22日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サンサルバドル国家元首「ファン・マヌエル・ロドリゲス」(～10.1)

1824年4月29日-09:00|日本| |||文政7年4月|<刊行>中沢道二の道話(心学)を編集した「道二翁道話」

1824年4月30日 06:00|アメリカ| |||モンロー、一般測量法案に署名、国内開発事業に対する方針を転換

1824年4月30日-09:00|日本|山形県鶴岡市|文政7年4月2日|<死去>酒井忠崇(74歳)前出羽松山藩主

1824年5月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高行政権大統領「ミゲル・ラモン・セバスティアン・トミンガス」(5回目～31日)

1824年5月1日 09:00|日本|東京都中央区|文政7年4月3日|暮六時、吉原京町二丁目より出火、廓中焼亡

1824年5月6日-09:00|日本| |||文政7年4月8日|<死去>牧墨僊(50歳)浮世絵師、銅版画家

1824年5月7日-01:00|ドイツ| |||<初演>ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン《交響曲第9番「短調」合唱》「ベートーベン自身が指揮

1824年5月9日 03:00|日本|大阪府大阪市|文政7年4月11日|大坂町奉行、新古金銀引換所として鴻池善右衛門らに十五軒組合(十五人組合)結成させる

1824年5月10日-09:30|オーストラリア| |||ジョン・ルイス・ペダーを裁判所長官として、ヴァンデイメンズランドの最高裁判所を開設

1824年5月10日 00:00|イギリス| |||英国ロンドントラファルガー広場に美術館「ナショナル・ギャラリー」設立

1824年5月11日-06:30|ミャンマー/イギリス| |||イギリス軍がビルマ王国南部のラングーンを艦船と1万1千人の兵で急襲し占領

1824年5月14日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト司令官代行「アントニッ・エイトリアン・スリーピー・ジュニア」(～12.25没)

1824年5月17日 03:00|日本|山形県米沢市|文政7年4月19日|<米沢文政7年の大火「亥ノ子屋火事」>正午ごろ、糶町の煙草屋亥ノ子屋久七宅のかまどより出火、西は座頭町、北は長町、東は東寺町から今町まで燃え広がった/さらに割出町から松川を超えて花沢に飛び火し農家5軒を焼いて17時ごろ鎮火/火元の糶町をはじめ銅屋町、立町、鉄砲屋町、鍛冶町、河井小路、桶屋町、地番匠町、割出町など城下の中心の町筋がすべて灰となった/そのほか免許町83軒、東寺町62軒が焼失/被害内訳は侍屋敷79軒、蟬打立所と同役所各2棟、蟬蔵4棟、藩の米蔵3棟、同役所1棟、藩の物置所5棟、同番所2棟、以上藩関係建物、町屋敷736軒、同名子(小作人)家52軒、百姓家5軒、行人(修行者)家1軒、非人(被差別民)小屋72軒、乞食小屋29か所、以上町人等の家屋、土蔵301棟、町家備え蔵4棟、村備え蔵1棟、物置小屋298か所、以上町人、百姓関係蔵、物置/寺27か寺、修験道道場11軒/6人死亡

1824年5月22日 06:00|アメリカ| |||モンロー、保護主義的な1824年関税法案に署名

1824年5月26日 10:00|ハワイ| |||<死去>カアウイ島国王「(George) Kaumuali'i」君主制消滅

1824年5月28日-09:00|日本| |||文政7年5月|<出版>岳亭定岡「狂歌奇人譚」

1824年5月30日-09:00|日本|兵庫県朝来市|文政7年5月3日|<死去>但馬出石藩58000石「仙石政美」(28歳)⇒弟「仙石久利」が継ぐ(⇒天保6(1835)年12月9日、家中混乱により3万石に減封)

1824年6月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高行政権大統領「ビセンテ・ラモン・ゲレロ・サルタネーヤ」(4回目～30日)

1824年6月6日-09:00|日本|茨城県石岡市|文政7年5月10日|<死去>松平頼前(82歳)前常陸府中藩主

1824年6月7日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督「フランス・Rawdon-Hastings」(～18261128死去)

1824年6月17日 00:00|イギリス| |||<就任>7代元伯「ジョン・フランシス・アースキン」(～18250820死去)

1824年6月17日 06:00|アメリカ| |||アメリカで、インディアン対策局が設置される

1824年6月18日-01:00|イタリア| |||<死去>トスカナ大公「フェルディナント3世」

1824年6月18日-01:00|イタリア| |||<即位>トスカナ大公「レオポルド2世」フェルディナント3世の息子(～18590721退位)

1824年6月18日-09:00|日本|岡山県浅口市|文政7年5月22日|<死去>岡山新田藩25000石「池田政共」(19歳)⇒弟「池田政広」が継ぐ(～文政8年5月1日(18250616)、隠居)

1824年6月21日 00:00|イギリス| |||イギリス、急進派下院議員のジョセフ・ヒューム(47)が結社法の廃止に成功し、労働者が労働組合を組織する権利を獲得

1824年6月22日 00:00|ポルトガル/ブラジル| |||エミリア・ムンドゥルウ、有色人種の戦闘部隊を組織し、レフィエで反乱を開始

1830迄 (2634件)

1824年6月24日 06:00|アメリカ| |||<除籍>アメリカ海軍デラウェア級戦列艦「ノース・カロライナ」(2633t⇒18671001、ニューヨークにて売却)

1824年6月24日-09:00|日本/イギリス|茨城県北茨城市|文政7年5月28日|イギリスの捕鯨船員、大津浜に上陸し水戸藩に逮捕される

1824年6月27日-09:00|日本|長崎県長崎市|文政7年6月|シボルト、長崎の鳴滝に鳴滝塾を開く/診療と学術研究を始める

1824年6月30日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領ドミニカ総督代行「ウィリアム・ブルムナー」(~7.31)

1824年7月-02:00|ギリシャ/エジプト| |||エジプト軍がギリシャ独立戦争の鎮圧に出動

1824年7月 06:00|ニカラグア| |||<就任>マナグア統治政権大統領「ホセ・リカルド・イリゴイエン/ファン・セルサ・サウアラ/フェリックス・アルファロ/セルサ・クリサント・ササ・パロティ(18241126まで)/ペドロ・セルサ・チャモ・アルグエロ」(~18250122)

1824年7月 06:00|コスタリカ/ニカラグア| |||グアタカ地方、ニカラグアを離れコスタリカに編入される

1824年7月 07:00|メキシコ/スペイン| |||イトゥルビデ、国内にもどり反乱を試みる。サンファン・デ・ウルアのスペイン軍も、これに応じ、戦闘を開始/反乱は失敗、イトゥルビデは捕えられ銃殺

1824年7月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高行政権大統領「ゲアラルド・ビクトリア」(1回目~31日)

1824年7月1日-09:00|日本|愛媛県今治市|文政7年6月5日|<交替>伊予今治藩35000石「松平定剛」隠居⇒長男「松平定芝」が継ぐ(⇒天保8(1837)年7月16日、死去)

1824年7月2日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||Pais de Andradeらペルナンブコを中心とする共和派、奴隷禁止に抵抗する農園主も参加し第2回目の反乱(赤道連盟)

1824年7月2日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|文政7年6月6日|<交替>紀伊和歌山藩55万5千石「徳川治宝」隠居⇒養子「徳川斉順」が継ぐ(⇒弘化3(1846)年5月8日、死去)

1824年7月4日-09:00|日本|兵庫県赤穂市|文政7年6月8日|<死去>播磨赤穂藩2万石「森忠敬」(31歳)⇒8月5日、長男「森忠貴」が継ぐ(⇒文政10(1827)年5月28日、死去)

1824年7月9日-09:00|日本|長野県飯山市|文政7年6月13日|<死去>本多助受(61歳)前信濃飯山藩主

1824年7月11日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理「Luis Maria de Salazar y Salazar」(~同日)⇒主席補佐官「Francisco Cea Bermudez」(1期目~18251024)

1824年7月14日 03:00|ブラジル| |||アントラーデら、ペルナンブコを制圧。東北部五州の支持を得て「赤道(エクアドル)連邦」を結成/レジオを首都として臨時政府を樹立

1824年7月14日 10:00|ハワイ| |||<死去>ハワイ諸島王国国王「カメハメハ2世」

1824年7月14日 10:00|ハワイ| |||<即位>ハワイ諸島王国国王「Elisabet Kaahumanu女王」摂政(~18250506)

1824年7月21日-07:00|タイ| |||<死去>チャクリ王朝国王「ラマ2世」フットラーナパーライ(ルトラナパーライ/鄭佛)」57才

1824年7月21日-07:00|タイ| |||<即位>チャクリ王朝国王「ラマ3世」タクワ(鄭福)」(~18510402死去)

1824年7月22日-09:30|オーストラリア| |||『シドニー・ガゼット』紙、パーストでの衝突により、8人のアボリジナルと5人のヨーロッパ人が死亡と報道

1824年7月24日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アゾレス諸島総司令官「Manuel Vieira Tovar de Albuquerque」(~18280622)

1824年7月27日-09:00|日本| |||文政7年7月2日|幕府が、一朱金(文政一朱金)通用開始/江戸時代の金貨のうち最悪質なもの

1824年7月28日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「リリア・デル・エミリア」》

1824年7月29日-09:00|日本| |||文政7年7月4日|<死去>加藤民吉(53歳)陶工

1824年7月31日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領ドミニカ総督「ウィリアム・ニコライ」(1回目~18270704)

1824年8月 03:00|ブラジル| |||赤道連邦、憲法を公布

1824年8月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高行政権大統領「ニコラス・ブラボー・ルエダ」(3回目~31日)

1824年8月2日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド総督代行「ピーター・フィエルステット・ホップ」(1回目~18250906)

1824年8月2日-09:00|日本|栃木県大田原市|文政7年7月8日|<交替>下野黒羽藩2万石「大関増業」隠居⇒養子の「大関増儀」(嘉永元(1848)年2月21日、隠居)

1824年8月3日-08:00|シンガポール/イギリス| |||ジョーホールのスルタンからイギリスに割譲(イギリス東インド会社支配下)

1824年8月3日-09:00|日本/イギリス|鹿児島県|文政7年7月9日|イギリス捕鯨船員、薩摩国宝島に上陸し野牛を略奪

1824年8月4日-09:00|日本|石川県|文政7年7月10日|<死去>前田齊広(43歳)前加賀藩主

1824年8月5日-13:30|キリバス/イギリス| |||ジョン・パーマー船長率いるフェックス号とA・ロック船長率いるマリー号の2隻の英国捕鯨船によってカトンが発見された/この環礁は当初、船主の妻にちなんでマリー・ボート島と名付けられた

1824年8月6日-01:00|フランス/ペルー| |||ペルーで、シモン・ボリバル(41)が、首都リマ北東のフンでフランス軍を破る

1824年8月7日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ポート・ナタール開拓者「フランシス・ジョージ・フェアウェル」(~18280430)

1824年8月7日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||ポート・ナタールがクワズール族の宗主権下でイギリス人開拓者に割譲された

1824年8月8日 10:00|ハワイ| |||<即位>カワイ島国王「George Humehume」反乱。カワイ王国を回復しようとする(~18日)

1824年8月9日 06:00|ニカラグア| |||<就任>エルビニ統治委員会議長「ファン・バウティスタ・サザール」(~12.27)

1824年8月9日-09:00|日本|福島県安達郡|文政7年7月15日|陸奥安達郡で、3日よりの大雨によって鉄山と呼ばれる山が中途から崩落。温泉小屋など13軒が押し潰され、21軒が大破。湯治客など男45人、女20人が死亡

1824年8月20日-09:00|日本|東京都|文政7年7月26日|<死去>画人、片桐処翁(61歳)

1824年9月-03:00|スーダン/エジプト| |||<就任>エジプト領スーダン司令官「Osman Bey Jarkas」(~1825.5)

1824年9月-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領マリタ総督「Luis Cappa y Rioseco」(1期目~1826年)

1824年9月1日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル司令官代行「ゴージェ・アマール・ユン」(~18251031)

1824年9月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高行政権大統領「ミゲル・ラモン・セバスティアン・トミンガス」(6回目~30日)

1830迄 (2634件)

1824年9月4日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラガ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国最高行政権「第2代三頭政治:トマス・アントニオ・ホラン・イ・アルケッロ」(~10.25)

1824年9月5日-09:00|日本| ||文政7年8月13日|<文政7年東日本暴風雨>美濃、信濃から、関東及び奥羽地方にかけての諸国が暴風雨、特に陸奥、出羽など東北地方各地が大洪水となり、なかでも、陸奥国安達郡湯田温泉(元岳温泉)では、連日の雨と台風の直撃により、夜五つ時(20時ごろ)、同温泉の北にある鉄山が中程から崩落、土石流が同温泉街を直撃し13軒が埋没、倒潰、湯治客及び地元の湯元人あわせて63人が死亡し、同温泉は潰滅/山形藩領も大暴風雨と洪水に見舞われ、特に宝沢、行沢では家屋の流失が多く、山形城下では旅籠町万日前辺りが浸水、六日町では家屋が倒潰、流失し、それより北西の方の町家もすべて浸水し、おびただしい数の家屋が倒潰したり流失し、人も死亡

1824年9月8日 06:00|コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国コスタリカ最高責任者「ファン・ホセ・モラ・フェルナンデス」(~18330309)

1824年9月14日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ハサン・アリ・パシャ」(~18281024)

1824年9月14日-09:00|日本| ||文政7年8月22日|<死去>初代浅尾工左衛門(67歳)歌舞伎役者

1824年9月15日 06:00|グアテマラ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国グアテマラ暫定最高国家元首「アレハンドロ・デ・イサ・カベサ・デ・バカ」(~10.12)

1824年9月15日-09:00|日本|福島県いわき市|文政7年8月23日|<交替>陸奥湯長谷藩15000石「内藤政環」隠居⇒養子「内藤政民」が継ぐ(⇒安政2(1855)年9月13日、死去)

1824年9月16日-01:00|フランス| |||<死去>フランス王「ルイ18世」68歳(誕生17551117)

1824年9月16日-01:00|フランス| |||<即位>フランス国王(復古ブルボン朝)「シャルル10世」ルイ16世・ルイ18世の弟(~18300802)

1824年9月16日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ホンジュラス最高国家元首「ホセ・デ・イシドール・トリニダード・デ・エレ・イ・デ・イサ・デル・バジェ」(~18270510)

1824年9月16日 06:00|ホンジュラス| |||「グアテマラ」がホンジュラスに併合

1824年9月17日 03:00|ブラジル| |||レシフェの戦闘はドントロ軍の勝利に終わる

1824年9月18日 06:00|ホンジュラス| |||「コマカグア」がホンジュラスに併合

1824年9月21日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「フランス王(ブルボン家)シャルル10世」(~18300802)

1824年9月27日-09:00|日本| ||文政7年閏8月5日|<死去>荒木如元(60歳)画家

1824年10月 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「Charles Louis Guillaume Bologne de Rougemont」(1期目~1827年)

1824年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ルイジ・ジャンニニ」「バルトロメオ・バルロッティ」

1824年10月1日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サンサルバドル最高国家元首代行「マリア・ノ・フ・ラト・バカ」(1回目~12.13)

1824年10月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ最高行政権大統領「グアダル・ペ・ビクトリア」(2回目~10日)

1824年10月8日-09:00|日本| ||文政7年閏8月16日|<死去>初代豊沢広助(48歳)浄瑠璃三味線方

1824年10月9日-09:00|日本| ||文政7年閏8月17日|<死去>清水浜臣(49歳)医師、国学者、歌人

1824年10月10日 06:00|ニカラガ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラガ7統治者・最高政府長官「マヌエル・アル・イ・ナハラ」(~18250422)

1824年10月10日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領「グアダル・ペ・ビクトリア」(~18290401)新憲法公布/19の州と四つの直轄領から成るメキシコ合衆国連邦になる

1824年10月12日 06:00|グアテマラ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国グアテマラ最高国家元首「ファン・ホセ・ムセノ・バルンデ・イ・セバダ」(1回目~18260909)

1824年10月14日-09:30|オーストラリア| |||ロバート・ワテル、ウィリアム・チャールズ・ウェントワースによる『オーストラリアン』紙の初版の発行

1824年10月14日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「エステバ・オリベ・イ・デ・レゼン」(~18251109)

1824年10月17日 00:00|ガーナ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ植民地ゴールド・コースト準州総督「エドワード・パードン」司令官」(~18250322)

1824年10月21日 00:00|イギリス| |||イギリスでセメントの特許が取得されるウェクフィールドに住むジョセフ・アスプディン

1824年10月22日-09:00|日本| ||文政7年9月|<刊行>国学者・平田篤胤「古道大意」

1824年10月25日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラガ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国最高行政権「第2代三頭政治:トマス・アントニオ・ホラン・イ・アルケッロ/ホセ・マヌエル・デ・ラ・セルタ・イ・アギラル」(~18250429)

1824年10月30日-05:30|インド| |||<死去>ベンガル太守「アフマド・アリー・ハーン」

1824年10月30日-05:30|インド| |||<就任>ベンガル太守「ムバーラク・アリー・ハーン2世」(~18381003死去)

1824年10月31日 03:00|ブラジル| |||赤道連邦軍、GE州サン・ホセで最後の戦い/部隊は壊滅し、指導者Tristao de Alencar Araripeが戦死

1824年11月-06:30|ミャンマー/イギリス| |||イギリスがペーグを占領(~18260224)

1824年11月 00:00|ポルトガル/ブラジル| |||ドントロ、英国軍人コラン提督をやとい反乱を鎮圧

1824年11月1日-01:00|ノルウェー| |||<就任>ノルウェー総督「サントル伯爵ヨハン・オグスト」(2回目~18271126)

1824年11月2日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|文政7年9月12日|<交替>伊予宇和島藩10万石「伊達村寿」隠居⇒長男「伊達宗紀」が継ぐ(⇒天保15(1844)年7月16日、隠居)

1824年11月9日-09:00|日本| ||文政7年9月19日|天文方・足立佐内「魯西亜学箋」を翻訳し、幕府に献上

1824年11月12日 06:00|ニカラガ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラガ7大統領府大統領「マヌエル・アル・イ・ナハラ」(~12.26)

1824年11月16日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|文政7年9月26日|<交替>因幡鹿奴藩3万石「池田仲雅」隠居⇒三男「池田仲律」が継ぐ(⇒嘉永3(1850)年3月11日、死去)

1824年11月21日-09:00|日本| ||文政7年10月|<出版>蹄斎北馬「狂歌武蔵野百首」

1830迄 (2634件)

1824年11月22日 06:00|エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラガ/コスタリカ| |||中央アメリカ連邦共和国憲法を公布/五つの州に改組/グアテマラを当面の首都と定める/エルサルバドルのホセ・アルカが初代大統領に選出
1824年11月24日-09:00|日本|愛知県岡崎市|文政7年10月4日|<死去>松平乗友(65歳)前三河奥殿藩主
1824年11月27日-09:00|日本|東京都墨田区|文政7年10月7日|<大相撲>文政7年10月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西前5)稲妻,7勝0敗1預2休,新入幕
1824年11月29日-09:00|日本| ||文政7年10月9日|<死去>未生斎一甫(64歳)華道家
1824年12月7日 05:00|ペルー/スペイン| |||ボリバル,リマを解放
1824年12月9日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王代行「ファン・ピオ・デ・トリスタン・イ・モスコソ・カラサ・イ・ムスキス」(~18260123)
1824年12月9日 05:00|ペルー/スペイン| |||ペルー、アントニオ・ホセ・デ・スクレ(29)が率いるボリバル軍が、アヤクチョの戦いでスペイン軍を破る/ラテンアメリカの独立が確定的になる
1824年12月10日-09:00|日本|大分県竹田市|文政7年10月20日|<死去>中川久貴(38歳)前豊後岡藩主
1824年12月13日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サンサルバドル最高国家元首「ファン・ピセンテ・ウイラコル・デ・イアス」(~18261101)
1824年12月20日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「ウルヘル司教ホセ・ファチ・ロペス・イ・フリオ」(~18270521)
1824年12月20日-09:00|日本| ||文政7年11月|<出版>葵岡北溪「扶桑名所狂歌集」
1824年12月25日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト司令官代行「ヨハン・デ・ウィット・カレル・ハーゲンシュテットハー」(~18250102)
1825年-12:00|ウリス・フツ| |||<即位>ウーエ王「Uhila “moafa”」(~同年)⇒「Toifale」(~同年)⇒「Mulitoto」(~1826年)
1825年-11:00|ミクロネシア| |||<死去>モル国王「ワセティッ」
1825年-11:00|ミクロネシア| |||<即位>モル国王「レジエマツ」(~1832年没)
1825年-07:00|タイ| |||<就任>ナン国主(チャオ)「マハヨット」(~1836年)
1825年-07:00|タイ| |||<就任>ランナー国主(チャオ)「マハ・ブッタウオン」(~184606)
1825年-07:00|タイ| |||<就任>ランパン国主(チャオ)「チャイウオン」(~1837年)
1825年-07:00|タイ| |||<即位>チェンマイ国チェットン朝国王「フッタウオン」(~1846年)
1825年-05:30|インド| |||<就任>アスガル国ラジャ「カラン・ラーマ・チャントラ・パワルタ」(~1837年)
1825年-05:30|インド| |||<就任>カッチ国摂政「ヘンリー・ボッティンジャー」(~18340708)
1825年-05:30|インド| |||<就任>ケンジヤル国ラジャ「ガダール・ナヤン・ハンジ・デオ」(~18610322没)
1825年-05:30|インド| |||<就任>コッタ・サンガニ国統治者(タコル)「パマニアジ」(~1838年)
1825年-05:30|インド| |||<就任>トウジャナ国支配者(ナワブ)「モハマト・ドンディ・クラ・カーン」(~1850年没)
1825年-05:30|インド| |||<就任>パル・ラハ国ラジャ「パデ・アハト・パル」(~1859年)
1825年-05:30|インド| |||<就任>ラージコット国統治者(タクル・サーヒブ)「スラジ・ランマル」(~1844年没)
1825年-05:30|インド| |||<就任>ライカル国ラジャ「ヒシヤン・チャントラ・シヤムニ」(~19000610没)
1825年-05:30|インド| |||<就任>ラジャウリ国ラジャ「ラヒム・カーン」(~18461021)
1825年-05:30|インド| |||<就任>ラダンプール国支配者(ナワブ)「ムハマト・ジョラウル・シル・カーン」(~18741009没)、摂政「サルダール・ヒビ・サヒブ」(~1838年)
1825年-05:30|インド| |||<就任>リムディ国統治者(タクル・サーヒブ)「ホー・ジ・ラジ・ハリシジ」(~1837年没)
1825年-05:30|インド| |||<即位>コウ・スルタン「La Oddanriu Karaeng Katangka」(~1826年)
1825年-05:30|インド| |||ケレハル国はパンジヤーフ州に併合
1825年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| |||<死去>ヒグア・ハン国イナク朝ハン「ムハンマド・ラヒム・パハト・ウル」
1825年-05:00|パキスタン| |||<死去>フンザ国ミル・タム「サリム・カーン2世」
1825年-05:00|パキスタン| |||<就任>ギルギット国統治者「ヤシンのスライマン・シャー」(2回目~1826年)
1825年-05:00|パキスタン| |||<就任>バハワルプル国ワジル「ムハンマド・ヤクブ」
1825年-05:00|パキスタン| |||<就任>フンザ国ミル・タム「ガザンファール・アリ・カーン」(~1864年没)
1825年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| |||<即位>ヒグア・ハン国イナク朝ハン「アッラーフ・クリ・パハト・ウル」(~18421122死去)
1825年-05:00|パキスタン| |||<即位>フンザ・ミル「Ghazanfur Khan」(~1863年)
1825年-03:30|イラン| |||<就任>ペルシャ大宰相「アッラーヤール・カーン・エ・カジヤール・デウエル・アサフ=アル=ダウレ」(~18280321)
1825年-03:00|スーダン/エジプト| |||<就任>エジプト領スーダン長官「ウスマーン・ベイ・アル=シャヤス」(~18260422)
1825年-03:00|バーレーン| |||<就任>バーレーン支配者(ハキム)「シェイク・ハリファ・ビン・サルマン・アル・ハリファ」(~18340531没)
1825年-03:00|ウガンダ| |||<就任>ブソンコラ統治者(オムバイト)「キョミヤ4世フワチャリ・フワ・マイランガ」(~1850年)
1825年-02:00|モザンビーク| |||<就任>アマカザ統治者(ソシ)「マヌコー・ジ・ツツァンガ・ネ・ヌシュマロ」建国(~18581011没)
1825年-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス・ムハッシャル「メフメト・ベイ・ムハッシャル」⇒「ハシ・メフメト・アガ」(~1827年)
1825年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Haci Veliyeddin Pasha」(~1826年)
1825年-01:00|ベナン| |||<就任>サベ統治者「バロケン・コソニ」(~1840年没)
1825年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>アリカリ国統治者(アリカリ)「クニア・ハンナ」(~1826年)
1825年 00:00|トーゴ| |||<就任>コトコリ統治者(オウロエツ)「タカハラ」(~1845年頃)
1825年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>テムネ王国統治者(ハイス)「クニア・ハンナ・アリカリ」(~1826年)
1825年 00:00|セネガル| |||<就任>バウール統治者(ティーン)「ヒラム・ファトマ・カフ・ファル」(~1832年)
1825年 00:00|セネガル| |||<就任>フウタ・ト・ロ統治者統治者(アルマーミ)「ハサン・ラミン・トウレ卿」(~1826年)
1825年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>モレア統治者(アルマーミ)「アマラ」
1825年 00:00|セネガル| |||<就任>ワロ統治者(フラク)「イェリム・ムハニク・テケレ・ムホジ」(~1827年12月)

1830迄 (2634件)

1825年 00:00|シエラレオネ| |||<即位>シエラレオネ王国国王(ハイ・シエラレオネ「ハイ・コン・カバ・ルイス」(?))⇒「ルイス」(~1879年)
1825年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ファイアル島・ビコ島トナトリア長官「Manuel de Arriaga Pereira」(~1832年)
1825年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>北グリーンランド検査官「Carl Peter Holboell」(~1828年)
1825年 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>サバ島副司令官代理「Edward Beaks, Jr.」(⇒1828年副司令官~18290120)
1825年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ボリビア聴問庁長官「ホセ・アントニオ・ビシル・マンリケ・デ・ウラ」(~同年)
1825年 10:00|ボリネシア| |||<即位>パロ王「Awariki」
1825年1月1日-05:30|インド| |||<就任>ファルタン国はサラの一部(~18270903)
1825年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ヨセフ・カール・ザバー・レオポルト・レオデガーター・アムリン」Lib(2期目~12.31)
1825年1月2日 00:00|カナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールト=コスト司令官「フレデリック・フランシス・リュデウィッチ・ウルリッヒ・ラスト」(2回目~18261112)
1825年1月3日 06:00|アメリカ| |||<就任>ロバート・オーエン、ニュー・ハーモニー共同社会をインディアナ州に設立
1825年1月4日-01:00|イタリヤ| |||<死去>両シチリア王「フェルディナンド1世」[17510112生~](享年73)
1825年1月4日-01:00|イタリヤ| |||<就任>カラブリア公(両シチリア王の推定相続人の称号)「フェルディナント」フランチェスコ1世の次男(~18301108、両シチリア王フェルディナンド2世)
1825年1月4日-01:00|イタリヤ| |||<即位>両シチリア王「フランチェスコ1世」(~18301108死去)
1825年1月4日-09:00|日本|和歌山県田辺市|文政7年11月16日|<死去>安藤道紀(66歳)前紀伊田辺藩主、紀州藩家老
1825年1月5日 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>アル・ペルの独立派、ラ・パスでスペインからの独立を宣言/独立革命の指導者ホセ・パールの名にちなんでボリビアと名付けられることになる
1825年1月8日 06:00|アメリカ| |||<死去>アメリカの発明家エリー・ホイットニー(17651208~)フライ盤、ピストル、コットン・ジーンなど発明
1825年1月15日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国首相「ホセ・ジョアキム・デ・アルメイダ・アラウージョ・エ・コレイア・デ・ラセルダ」(~18260801)
1825年1月18日-04:00|ロシア| |||<就任>ロシア暦1月5日|モスクワにボリショイ劇場が完成
1825年1月19日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・道光4年12月|黄海・黄州の李仁伯、南山で挙火
1825年1月20日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク総督・総司令官「セバスチャン・ザビエル・ホテリョ」(~18290821)
1825年1月23日-01:00|セルビア| |||セルビアで、農民の反乱のジャークの乱が発生
1825年1月27日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>国家行政権行使ブエノスアイレス総督「ファン・ガベルベルト・グレゴリオ・デ・ラス・ヘラス・デ・ラ・ガチャ」(~18260208)
1825年1月27日 03:00|アルゼンチン| |||アルゼンチン国会、国家基本法を制定、ブエノスアイレス州に暫定的に国全体の外交権を与える
1825年1月30日 05:00|日本|徳島県徳島市|文政7年12月12日|<徳島文政7年の大火>徳島城下史上最大の大火
1825年2月-05:30|インド| |||<就任>ポル国支配者(ナワブ)「アミヌッディーン・アフマド・カーン」(~18690227没)
1825年2月4日-09:00|日本|三重県津市|文政7年11月|<死去>伊勢津藩32万3千石「藤堂高允」(44歳)病死⇒翌年2月29日、長男「藤堂高猷」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月17日、版籍奉還)
1825年2月5日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ総督「Sir チャールズ・ターナー少将」(~18260307)
1825年2月5日 00:00|カンビア/カナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)「チャールズ・ターナー卿」(~18260307)
1825年2月9日 06:00|アメリカ| |||アメリカ第2代大統領ジョン・アダムズの長男ジョン・クインシー・アダムズ(58)が、第6代大統領に選出される
1825年2月10日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国解放者・最高司令部責任者「シモン・ホセ・アントニオ・デ・ラ・サンティスマ・トリニダード・ボリバル・イ・パランオス(コロンビア共和国解放者大統領)」(~18261130)
1825年2月11日-01:00|ドイツ| |||<再編>ドイツ連邦:ザクセン=コーブルク公国⇒ザクセン=コーブルク=ゴータ公国、ザクセン=マイニンゲン公国、ザクセン=ヒルトブルクハウゼン公国
1825年2月11日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン=ゴータ=アルテンブルク公「フリードリヒ4世」
1825年2月12日 05:00|日本|愛知県名古屋市中区|文政7年12月25日|<名古屋文政7年の大火>「前津焼け」>未の刻(14時ごろ)より前津経堂筋紺屋(染物屋)から出火、家数1400軒程焼失、申の下刻(17時ごろ)鎮火/7人が死亡
1825年2月15日-09:00|日本|千葉県佐倉市|文政7年11月|<死去>下総佐倉藩11万石「堀田正愛」(26歳)⇒翌年3月、養子「堀田正睦」が継ぐ(⇒安政6(1859)年9月6日、隠居)
1825年2月18日-09:00|日本| ||文政8年|<刊行>栗原柳庵「日本紀私読本」「田租考」
1825年2月18日-09:00|日本| ||文政8年1月|<刊行>滝沢馬琴、合巻「傾城水滸伝」初編
1825年2月18日-09:00|日本| ||文政8年1月|<出版>沼田月斎「絵本今川状」
1825年2月22日 06:00|コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国初代コスタリカ州統領「ファン・モラ・フェルナンデス」自由主義(~18330303)
1825年2月22日 06:00|エルサルバドル/グアテマラ/コスタリカ/ホンジュラス/ニカラグア| |||中央アメリカ連邦共和国:アルセが1票差で引き続き大統領をつとめることになる
1825年2月24日-02:00|ギリシャ/エジプト| |||エジプト軍がギリシャに上陸し独立運動を弾圧
1825年2月24日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国閣僚評議会議長「ホセ・ドミンゴ・デ・ラ・マル・イ・コルタサル」(1回目~4.3)
1825年2月24日-09:00|日本|東京都|文政8年1月7日|<死去>初代歌川豊国(57歳、明和6(1769)年生)浮世絵師

1830迄 (2634件)

1825年2月26日-05:30|インド | |||<死去>パトフル国マハラジャ「ハルデ・オン」
1825年2月26日-05:30|インド | |||<即位>パトフル国マハラジャ「ハルワント・シン」(1回目~3.28)
1825年2月28日 00:00|イギリス/ロシア/アメリカ | ||ロシア暦:1825/2/15|ロシア領アラスカとイギリス領北アメリカとの境界線が定められる
1825年3月1日-08:00|インド ネア/オランダ | |||ベンケレンはオランダ 領東インド の一部
1825年3月2日-01:00|アルジェリア | |||アルジェリア、フリジアで地震、死者7000人
1825年3月3日 06:00|アメリカ | |||モンロー、カンバーランド 道路法案に署名
1825年3月4日 06:00|アメリカ | |||<就任>アメリカ合衆国第6代大統領「ジョン・クィンシー・アダムズ」民主共和党(~18290303)
1825年3月6日-01:00|ドイツ | |||<初演>ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン《弦楽四重奏曲第12番》
1825年3月7日-05:30|インド /デンマーク | |||<就任>東インド 諸島(トランカバル)デンマーク領総督(ギユベーン)「ハンス・デ・イー・デ・リッヒ・ブリンク・ザ・イェリン」(~18290326)
1825年3月7日 06:00|アメリカ | |||ヴァージニア大学開校
1825年3月12日-09:00|日本|東京都台東区|文政8年1月23日|<大相撲>文政8年1月場所[江戸浅草八幡宮](10日間)幕内優勝:(東小結)小柳,8勝2敗
1825年3月20日-09:00|日本 | |||文政8年2月|<出版>蹄斎北馬「狂歌波の花」
1825年3月20日-09:00|日本|大阪府和泉市|文政8年2月1日|<死去>渡辺伊綱(69歳)前和泉伯太藩主
1825年3月22日 00:00|カナ/イギリス | |||<就任>イギリス領西アフリカ植民地ゴールド・コースト準州総督「チャールズ・ターナー」(~18260307没)
1825年3月26日 03:00|仏領ギニア/フランス | |||<就任>ギニア暫定司令官兼管理者「Charles Emmanuel Francois de Muysart」(~18260326)
1825年3月27日-05:30|インド | |||<即位>パトフル国マハラジャ「トウルジャン・カル(篡奪者)」(~18260119)
1825年3月27日 00:00|イギリス | |||<死去>23代クロフォード 伯・6代バルカリス伯「アレクサンダー・リンジー」
1825年3月27日 00:00|イギリス | |||<就任>24代クロフォード 伯「ジェームズ・リンジー」7代バルカリス伯(~18691225死去)
1825年3月30日-09:00|日本|東京都|文政8年2月11日|<死去>雷電為右衛門/59歳(誕生:明和4(1767)01)21年間に10敗だけの強豪力士
1825年4月1日-01:00|サンマリノ | |||<就任>サンマリノ共和国執政「ラッファエレ・ゴジ」
1825年4月1日 04:00|ボリビア/スペイン | |||進攻してきたスル軍とオリエンタ軍、ツムスで決戦。オリエンタ軍は敗れ壊走。スペイン軍は最終的に放逐される
1825年4月3日 05:00|ペルー | |||<就任>ペルー共和国閣僚評議会議長代行「ホセ・ペドロ・ウヌエ・イ・パボン」(1回目~18260105)
1825年4月5日-09:00|日本 | |||文政8年2月17日|<刊行>国学者・本居宣長、神道書「直毘霊」
1825年4月5日-09:00|日本|群馬県高崎市|文政8年2月17日|<死去>上野高崎藩82000石(老中)「松平輝延」(51歳)⇒4月4日、三男「松平輝承」が継ぐ(⇒天保10(1839)年6月26日、死去)
1825年4月6日-09:00|日本 | |||文政8年2月18日|幕府が、諸大名に異国船打ち払い令を出す(無二念打払令)
1825年4月6日-09:00|日本|福井県坂井市|文政8年2月18日|坂井郡泥原新保浦で火事、255軒など焼失
1825年4月9日-08:00|マレーシア/イギリス | |||マラッカはイギリス植民地(18260814まで、プリンス・オブ・ウェールズ 島の一部~19570831)
1825年4月9日-09:00|日本 | |||文政8年2月21日|<死去>雷電為右衛門(59歳)元大相撲力士(大関)
1825年4月15日 00:00|チャリ諸島/イギリス | |||オルタニエ島はガーンジー島に再所属
1825年4月15日-09:00|日本|愛媛県松山市|文政8年2月27日|松山藩領浮穴郡久万町村で大火があり、町家を残らず焼失
1825年4月17日-01:00|フランス/ハイチ | |||フランスが正式にハイチの独立を承認
1825年4月17日-09:00|日本|千葉県富津市|文政8年2月29日|<死去>上総佐貫藩16000石「阿部正簡」(54歳)⇒三男「阿部正暲」が継ぐ(⇒天保7(1836)年3月23日、隠居)
1825年4月18日-09:00|日本 | |||文政8年3月|子供のおもちゃとして鉄製の笛「ビヤン」が流行
1825年4月21日-01:00|フランス | |||フランスで10億フラン法が制定され、フランス革命で被害を受けた亡命貴族に対する補償が決定される
1825年4月22日 06:00|ニカラグア | |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラグア首長「マヌエル・アントニオ・デ・ラ・セルタ・イ・フェド・アギラール」(1回目~18260422)
1825年4月27日-01:00|マルタ/イギリス | |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「Manley Power卿」(~12.1)
1825年4月27日 06:00|アメリカ/イギリス | |||イギリスの社会主義者ハート・オーエン(54)が、インディアナ州ウオバッシュ近くに理想主義的なコミュニティ、ニュー・ハーモニー村を建設
1825年4月27日-09:00|日本|千葉県香取市|文政8年3月10日|<死去>内田正純(70歳)前下総小見川藩主
1825年4月29日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア | |||<就任>中央アメリカ連邦共和国大統領「マヌエル・ホセ・デ・アルセ・イ・ファゴアガ」(~18290413)
1825年5月-03:00|スーダン/エジプト | |||<就任>エジプト領スーダン司令官「Mahu Bey Urfali」(~1826.3)
1825年5月2日-05:30|インド | |||<就任>タンガローラ国摂政「マハラット・タルハット・シン」(~1846年)
1825年5月6日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア | |||<就任>ノーフォーク島司令官「Richard Turton」(~18260317)
1825年5月6日 10:00|ハワイ | |||<即位>ハワイ諸島王国国王「カメハメハ3世」(~18541215死去)
1825年5月7日-05:30|インド /イギリス/オランダ | |||オランダ 領フィリピンはイギリス領インド に併合
1825年5月7日 00:00|カナ/デンマーク | |||<就任>デンマーク領ゴールド・コースト総督代行「ニールス・ブロッホ」(1回目~18270930)
1825年5月16日 04:00|ボリビア | |||<就任>ボリビア軍総督「アントニオ・ホセ・フランシスコ・デ・スクレイ・アルカラ(解放軍最高司令官)」

1830迄 (2634件)

(~8. 18)

- 1825年5月17日-05:30|インド/イギリス/オランダ| |||オランダ領ベンガル、ハフリーはイギリス領インドに併合
- 1825年5月17日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督代行「ウィリアム・ビーゾー・マニングス」(3回目~1827年5月)
- 1825年5月19日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの空想社会主義者クロード・フーリ・ド・サンシモン(1760-、65歳)/主著「産業者の政治的教理問答」、「新刊宗教」など
- 1825年5月22日 02:00|日本|新潟県上越市|文政8年4月5日|<越後高田文政8年の大火>巳の下刻(午前11時ごろ)南の強風吹きすさぶ中、伊勢町番所ぎわの小路にある木挽き職(木材の用材加工職)の十吉方から出火、たちまち隣町へと延焼して一の橋ぎわまで燃えた。一方町家だけでなく、飛び火で御対面所から御用屋敷、稽古所など藩の主要な建物も類焼、村上主膳宅など藩士の屋敷に燃え広がった/その後、本町通りから下紺屋町、小町通りまで飛び火し延焼/その後も炎の勢いは一向に収まらず、夕方になると土橋町まで焼け抜け、夜に入ると戌亥(西北)の風に変わり二の辻本町まで焼失/夜の五つ(22時ごろ)過ぎにようやく職人町で鎮火/町家1205軒、侍屋敷62軒、切米取(下級武士)長屋10棟・73軒、足軽長屋41棟・383軒、百姓家9軒、町家の土蔵7棟、寺5か所、神社2か所、山伏宅1軒焼失
- 1825年5月23日 04:00|アンティグア・バブーダ/イギリス| |||<就任>アンティグア総督「ハトリック・ロウ卿」(~1832年)
- 1825年5月23日-09:00|日本|新潟県村上市|文政8年4月6日|<死去>越後村上藩5万石「内藤信敦」(49歳)⇒三男「内藤信親」が継ぐ(⇒元治元(1864)年4月26日、隠居)
- 1825年5月26日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「John Braithwaite Skeete」(2期目~18260825)
- 1825年5月27日-09:00|日本|青森県弘前市|文政8年4月10日|<交替>陸奥弘前藩10万石「津軽寧親」隠居⇒次男「津軽信順」が継ぐ(⇒天保10(1839)年5月16日、幕府により強制隠居)
- 1825年5月27日-09:00|日本|奈良県葛城市|文政8年4月10日|<交替>大和新庄藩1万石「永井直方」隠居⇒長男「永井直養」が継ぐ(⇒嘉永3(1850)年10月、隠居)
- 1825年6月-05:30|インド/イギリス| |||アッサム国をイギリスが占領(~1826年)
- 1825年6月1日-05:30|インド/オランダ/イギリス| |||<就任>オランダ領コマンデル(サトラス、パリアカッタ、パリコル、ジャガーナイクプーラム、ピムリパタム、ホルト・ノヴォ・キルカレー、トケイコリン、モリン岬)が英領インドに割譲
- 1825年6月4日-05:30|インド| |||<就任>ブドゥッコッタ国ラジャ「ラグナタ・トング・イアン」(~18390713没)
- 1825年6月4日-05:30|インド/オランダ/イギリス| |||オランダ領パラソーレはイギリス領インドに併合
- 1825年6月4日-09:00|日本|東京都千代田区|文政8年4月18日|<就任>老中格「植村家長」(~文政11年11月12日)
- 1825年6月4日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|文政8年4月18日|<加増>大和高取藩20500石「植村家長」+4500石⇒25000石(⇒文政11(1828)年10月12日、死去)
- 1825年6月6日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督代理「ウィリアム・スミス」(5期目~18260214)
- 1825年6月8日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事代理「サー・ジョージ・ドゥン」(2期目~18310408)
- 1825年6月9日-09:00|日本|石川県金沢市|文政8年4月23日|<死去>儒学者・太田錦城(61)
- 1825年6月9日-09:00|日本|千葉県木更津市|文政8年4月23日|<立藩>上総貝淵藩1万石「林忠英」(⇒天保5(1834)年12月、3000石加増)
- 1825年6月10日-07:00|タイ| |||<即位>ナーン王国第9代国主「マハ・ヨット」(~18330404)
- 1825年6月11日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島司令官兼管理者「Augustin Valentin Borius」(2期目~18280528)
- 1825年6月11日-09:00|日本|奈良県葛城市|文政8年4月25日|<死去>永井直方(48歳)前大和新庄藩主
- 1825年6月12日-05:30|インド| |||<就任>マニプール国ラジャ「ガンピール・(カサウイ)・シン(チレン・ノンド・レンコバ)」(~18340109没)
- 1825年6月14日-05:30|インド/オランダ/イギリス| |||オランダ領タッカはイギリス領インドに併合
- 1825年6月14日 03:00|ウルグアイ/ブラジル/ポルトガル| |||<就任>デルリオ・デ・ラ・プラタ東方州暫定政府総裁「Manuel Caires Texera」(~8. 20)
- 1825年6月15日-09:00|日本|埼玉県深谷市|文政8年4月29日|<死去>武蔵岡部藩20250石「安部信操」(36歳)⇒長男「安部信任」が継ぐ(⇒文政11(1828)年4月10日、死去)
- 1825年6月16日-03:00|エチオピア| |||<死去>ハル首長国エミール「アブドゥ・アル・ラーマン・イブン・ムハンマド」
- 1825年6月16日-03:00|エチオピア| |||<就任>ハル首長国エミール「アブドゥ・アル・カリム・イブン・アビ・ハクル」(~18340708没)
- 1825年6月16日 06:00|ニカラガ/エルサルバドル/コスタリカ/ホンジュラス/グアテマラ| |||中央アメリカ連邦共和国、ニカラガ運河を想定した運河建設法を公布
- 1825年6月16日-09:00|日本|岡山県浅口市|文政8年5月1日|<交替>岡山新田藩25000石「池田政広」隠居⇒弟「池田政善」が継ぐ(⇒弘化3(1846)年10月4日、死去)
- 1825年6月19日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「ランスへの旅」》
- 1825年6月21日-09:00|日本|大分県中津市|文政8年5月6日|<交替>豊前中津藩10万石「奥平昌高」隠居⇒次男「奥平昌暢」が継ぐ(⇒天保3(1832)年11月30日、死去)
- 1825年6月30日-09:00|日本|大阪府大阪市|文政8年5月15日|<就任>大坂城代「水野左近将監忠邦」(~文政9. 11. 23)
- 1825年6月30日-09:00|日本|京都府京都市|文政8年5月15日|<就任>京都所司代「松平康任」(⇒1826(文政9年11月23日))
- 1825年7月-08:00|インドネシア/オランダ| |||反動的なオランダ統治に対し「ジャワ戦争」ジャワではスルタンになり損ねたジョジャカルタ王国の王子(ハンガラ)デ・イ・ヌロが武装蜂起(-1830)
- 1825年7月6日-09:00|日本|兵庫県姫路市|文政8年5月21日|<死去>小笠原長禎(45歳)前播磨安志藩主

1830迄 (2634件)

1825年7月9日 05:00|エカトル| |||エカトル7月革命、自由党政権が崩壊し軍部3軍政権が発足
1825年7月11日-09:00|日本|東京都|文政8年5月26日|<死去>初代清元延寿太夫、何者かに殺される (49歳、安永6(1777)年生) 浄瑠璃清元節家元/清元姓の元祖
1825年7月15日 00:00|カリヤ諸島| |||<死去>ランサロテ島領主「Maria Luisa de Silva y Castejon」ランサロテ島はスペイン王領がランカリヤ島の一部に組み込まれる
1825年7月16日 00:00|イギリス| |||イギリス議会で、賃金と労働時間に関する労働者の団結を承認する工場法が可決される
1825年7月17日 00:00|イギリス| |||<死去>8代セント・オールバンス公「ウィリアム・ホークラー」
1825年7月17日 00:00|イギリス| |||<就任>9代セント・オールバンス公「ウィリアム・オブ・リー・ド・ウァー・ホークラー」(~18490527死去)
1825年7月18日-01:00|フランス| |||フランスのボーンが彗星C/1825N1(ボーン彗星)発見
1825年7月30日-13:30|ギリシア/イギリス| |||イギリス海軍軍人ジョージ・バロンによりマルデン島発見
1825年8月6日 04:00|ボリビア/スペイン| |||チャカスのアグエインシア領を受け継ぎ、ボリビアがアルペール共和国としてスペインから独立することを宣言
1825年8月9日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||クレタ島反乱(クレタ革命評議会~1830年2月)
1825年8月11日 04:00|ボリビア| |||<就任>アルペール共和国初代大統領「シモン・ボリバル」無所属(~12.29)
1825年8月14日-09:00|日本| |||文政8年7月|<出版>北尾紹真「今様職人尽歌合」二冊/絶筆にして第一等の傑作
1825年8月17日-09:00|日本| |||文政8年7月4日|<死去>2代佐羽吉右衛門(54歳) 絹仲買商、漢詩人
1825年8月18日-08:00|マレーシア| |||<死去>ペラ・スルタン「アブドゥル・マリク・マンスール・シャー・イブニ・アル=マルフム・スルタン・アフマド・イン・シャー」
1825年8月18日-08:00|マレーシア| |||<即位>ペラ・スルタン「アブドゥラ=ムアッザム・シャー・イブニ・アル=マルフム・スルタン・アフドゥル・マリク・マンスール・シャー」(~18301220没)
1825年8月18日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア最高行政権運用解放者「シモン・ボリバル・サンティシマ・トリニダード・ボリバル・イ・パ・ラオス」(~12.29)
1825年8月19日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>東方州知事「Juan Antonio Lavalleja」(~18260705)
1825年8月20日 00:00|イギリス| |||<死去>7代マー伯「ジョン・フランシス・アースキン」
1825年8月20日 00:00|イギリス| |||<就任>8代マー伯「ジョン・トマス・アースキン」(~18280920死去)
1825年8月20日 03:00|ウルグアイ/ボルトガル| |||<就任>デル・リオ・デ・ラ・プラタ東方州暫定政府総裁「代表:Manuel Duran/Mariano Loreto de Gomensoro y Ximenez」(~9.19)
1825年8月22日 00:00|イギリス| |||<死去>初代トナモア伯「リチャード・ヒーリー=ハッチンソン」
1825年8月22日 00:00|イギリス| |||<就任>2代トナモア伯「ジョン・ヒーリー=ハッチンソン」(~18320629死去)
1825年8月25日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>フィリッパリス酋長(カプティン)「アダム・コック2世」(~18350912)
1825年8月25日 03:00|ウルグアイ/ブラジル| |||アルゼンチンの援助でブラジルに反乱していたウルグアイが、独立を宣言
1825年8月25日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍ボトマック級フリゲイト「フランディヤイン」(1726t, ワシントン海軍工廠で建造)
1825年8月26日 04:00|ボリビア| |||<改名>アルペール共和国⇒ボリビア共和国
1825年8月29日 00:00|ボルトガル/イギリス/ブラジル| |||ド・ソドレとスチュートのあいだに独立合意が成立、英国、ブラジル独立を承認
1825年8月31日-09:00|日本|岩手県盛岡市|文政8年7月18日|<死去>陸奥盛岡藩20万石「南部利用」(23歳)⇒9月24日、養子「南部利済」が継ぐ(⇒嘉永元(1848)年6月13日、隠居)
1825年9月 06:00|アメリカ/メキシコ| |||<就任>メキシコ領ニューメキシコ総督「Antonio Narbona」(~1827.5)
1825年9月4日-02:00|モルトバ/ロシア| |||<就任>ロシア領ベッサラビア州総督「ウァシリイ・フェドロビッチ・ティムコフスキー」(~18280112)
1825年9月4日 00:00|イギリス| |||<死去>カール伯「フレデリック・ハワード」
1825年9月4日 00:00|イギリス| |||<就任>カール伯「ジョージ・ハワード」5代伯の長男(~18481007死去)
1825年9月6日 00:00|アイルランド/デンマーク| |||<就任>アイルランド 総督代行「ヒュム・ソスタインソン」(2回目~18260607)
1825年9月8日-09:00|日本|東京都中央区|文政8年7月26日|<初演>4代目鶴屋南北「東海道四谷怪談」中村座/その怪談にちなみ、藤八拳が流行
1825年9月9日-05:30|インド| |||<就任>ジャオ国支配者(ナワブ)「コーズ・モハメド・カーン」(~18650429没)、摂政「ムシャフ・ベクム」
1825年9月10日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|文政8年7月28日|但馬国豊岡で打ち壊し
1825年9月11日-09:00|日本|高知県高知市|文政8年7月29日|<死去>土佐新田藩13000石(浦戸城)「山内豊武」(40歳)⇒9月27日、長男「山内豊賢」が継ぐ(⇒安政3(1856)年6月6日、隠居)
1825年9月15日-09:00|日本|高知県高知市|文政8年8月3日|<死去>山内豊策(53歳) 前土佐藩主
1825年9月19日 03:00|ウルグアイ/ボルトガル| |||<就任>モンテビデオ総督兼総司令官「Juan Antonio Lavalleja y de la Torre」(1期目~18281202)
1825年9月19日-09:00|日本| |||文政8年8月7日|<死去>9代千宗左(51歳) 茶人、表千家家元
1825年9月20日-09:00|日本|新潟県佐渡市|文政8年8月8日|佐渡奉行所の学問所・武術所・医学所建設が落成、開講
1825年9月27日 00:00|イギリス| |||スティーブソンが世界最初の蒸気鉄道を開通/世界初の蒸気機関車「ロコモーション号」が走る/ストックトン→ダーリントン間(40km)の鉄道開通
1825年10月 03:00|ウルグアイ| |||ラパリエラ、アルゼンチンよりリスブラーナに侵入し独立闘争開始/ウルグアイ共和国を宣言
1825年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ガミロ・ボネリ」
1825年10月2日-09:00|日本|山梨県南巨摩郡身延町|文政8年8月20日|身延久遠寺再建
1825年10月12日 03:00|ブラジル/ボルトガル| |||マニエル軍、サンディで解放軍とラプラタ連合軍と遭遇/ブラジル軍は、戦死200人を含む830人の損害を受け、モンテビデオに逃走

1830迄 (2634件)

1825年10月13日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド 暫定総督「ジ ョセフ・マリー・エマニュエル・コルデーエ」(1回目~18260619)

1825年10月13日-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<死去>バ イエルン国王「マクシミリアン1世」

1825年10月13日-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<即位>バ イエルン国王「ルートヴィヒ1世」マクシミリアン1世の息子(~18480320革命で退位)

1825年10月14日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<死去>スペイン領フィリピン総督「フアン・アントニオ・マルティネス」

1825年10月14日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督「マリアノ・リカフォルト・パナシオ」(~18301223)

1825年10月24日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「Pedro Alcantara Alvarez de Toledo y Salm Salm」(~18260819)

1825年10月26日 06:00|アメリカ| |||五大湖の1つのエリー湖とハドソン川を結ぶエリー運河の工事が完了

1825年11月-01:00|スペイン/メキシコ| |||スペイン最後の砦サンファン・デ・ウル要塞が陥落。ヒコトラはスペインとの休戦に成功

1825年11月 03:00|アルゼンチン| |||ラプラタ連合、アルゼンチンと名称を変更

1825年11月1日 00:00|セカル/フランス| |||<就任>フランス領セカル司令官「ロジェ男爵ジャック＝フランソワ」(2回目~18270518)

1825年11月5日-09:00|日本|東京都中央区|文政8年9月25日|<初演>「盟三五大切」[作・四代目鶴屋南北]中村座

1825年11月6日-01:00|ドイツ| |||<初演>ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン《弦楽四重奏曲第15番イ短調Op. 132》

1825年11月7日-09:00|日本| ||文政8年9月27日|<死去>水心子正秀(76歳)刀工

1825年11月9日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「フェルナンド・カルデイラ・フランド・ポンテス・オリヴェイラ・エ・オルタ」(~18260120)

1825年11月10日-09:00|日本|沖縄県|文政8年10月|琉球に飢饉があり餓死者多数

1825年11月10日-09:00|日本|香川県丸亀市|文政8年10月|丸亀藩、四民就学のため城外に敬止堂を創設

1825年11月12日-05:30|インド| |||<就任>アール・カト国支配者(サワ)「グラム・モハマト・ゴース・カーン」(~18551007没、イギリスはナワブの称号と特権の失効を宣言)、摂政「アジム・ジヤ」(~18420825)

1825年11月17日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「統治委員会:フレイ・マヌエル・デ・サン・ガルドーイノ/カントーイ・ド・サ・モラン・ガルス・パルハ/アントニオ・リベロ・デ・カルヴァーリョ」(~18271009)

1825年11月27日-09:00|日本|東京都港区|文政8年10月18日|<大相撲>文政8年10月場所[江戸芝神明宮](10日間)幕内優勝:(西小結)稲妻、8勝1敗1休

1825年12月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ司令官「トミンゴス・アルベス・デ・アブレウ・ピカルガ」(~1826年5月)

1825年12月1日-04:00|ロシア/ポーランド/フィンランド| |||ロシア暦11月19日|<死去>ロシア皇帝・ポーランド 立憲王国国王・フィンランド大公「アレクサンドル1世」南ロシアの旅行先で急病死/47歳(誕生17780103)

1825年12月1日-04:00|ロシア/ポーランド/フィンランド| |||ロシア暦11月19日|<即位>ロシア皇帝・ポーランド 立憲王国国王・フィンランド大公「コンスタンティン1世」(~24日)

1825年12月1日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督「アレクサンダー・ジョージ・Woodford」(~18260331)

1825年12月2日-04:00|ロシア| |||ロシア暦11月20日|ロシアでデカブリストの乱、皇位継承をめぐる混戦

1825年12月10日-01:00|フランス| |||<初演>フランソワ・アドリアン・ボワエルティエ《歌劇「白衣の婦人」序曲》

1825年12月10日 00:00|南極/ルウェー/イギリス| |||ブーベ島はジョージ・ノリス大尉によってイギリス領土宣言、リパール島に改名

1825年12月10日 03:00|アルゼンチン/ブラジル| |||ブラジルがラプラタ連合州(アルゼンチン)に宣戦布告

1825年12月10日-09:00|日本|東京都中央区|文政8年11月|<初演>「道行浮城どり」<お染>[詞・四代目鶴屋南北、曲・清元斎兵衛、振・西川扇蔵]中村座

1825年12月10日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|文政8年11月1日|<死去>鍋島直温(60歳)前肥前蓮池藩主

1825年12月14日-09:00|日本|青森県黒石市|文政8年11月5日|<交替>黒石藩1万石「津軽親足」隠居⇒養子「津軽順承」が継ぐ(⇒天保10(1839)年5月16日、本家弘前藩を継ぐ)

1825年12月14日-04:00|ロシア| |||ロシア暦12月2日|ロシア、ニコライの即位決意により反乱が起るがニコライ側の軍によりあっけなく制圧される(デカブリストの乱)

1825年12月19日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>ニューサウスウェールズ 植民地総督「ラルフ・ダーリング」(~18311021)

1825年12月21日-09:00|日本|大分県杵築市|文政8年11月12日|<死去>豊後杵築藩32000石「松平親明」(41歳)⇒12月29日、長男「松平親良」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年4月9日、隠居)

1825年12月24日-04:00|ロシア/ポーランド/フィンランド| |||ロシア暦12月12日|<即位>ロシア皇帝・ポーランド 立憲王国国王・フィンランド大公「ニコライ1世」(1日に遡及して即位~18550302没)

1825年12月25日-09:30|オーストラリア| |||オーストラリアで、ヴァン・デ・イメンズ・ランド 植民地が成立

1825年12月25日-09:00|日本|京都府舞鶴市|文政8年11月16日|<交替>丹後田辺藩35000石「牧野以成」隠居⇒甥「牧野節成」が継ぐ(⇒嘉永5(1852)年6月5日、隠居)

1825年12月29日-01:00|フランス| |||<死去>フランス「新古典主義絵画」の画家ジャック・ルイ・ダヴィッド(ナポレオンの皇帝即位後は首席宮廷画家)(1748-、77歳)

1825年12月29日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア軍総督「アントニオ・ホセ・フアン・スコデ・ソサ・イ・アルカラ(解放軍最高司令官)」(~18260525)

1826年-12:00|ウォリス・フツナ| |||<即位>ウァエ王「Soane-Patita Vaimua Lavelua1世」(1期目~1829年)

1826年-08:00|マレーシア| |||<就任>トレンガヌ摂政「トゥアンク・アブドゥル・ラーマン・イブニ・アル＝マルフム・スルタン・ザイナル・アビディン」(~18300704)

1826年-08:00|マレーシア| |||<就任>ヌグリ＝スンビラン統治者(ヤン・デ・イ・ペルトアン・ベサル)「ヤムトゥアン・サティ」(~18311130)

1826年-08:00|インドネシア| |||<即位>コワ＝スルタン「I Kumala Karaeng Lembang Perang Sultan Abdul Kadir Moh Aid

1830迄 (2634件)

id) (~18930130)

1826年-08:00|インドネシア| |||<即位>ハカン・スルタン「Muhammad Hayatuddin Kornabe」(~1861年)

1826年-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ・スルタン「ムハンマド・アラム」(~1828年死去)

1826年-07:00|タイ| |||<就任>ラムプーン国主(チャオ)「ブルマ」⇒「ノイ・イン」(~1837年)

1826年-05:30|インド| |||<就任>シャイナ国ラジャ「ラタン・シン」(~1827年没)

1826年-05:30|インド| |||<就任>ジャシュフル国ラジャ「ラム・シン」(~1845年没)

1826年-05:30|インド| |||<就任>ジャファラバード国・ジャンジラ国支配者(ナワブ)「モハマト・カーン1世」(~18480831没)

1826年-05:30|インド| |||<就任>ナリシフル国ラジャ「ソマナス・ハリチャンド・モハト」(~1859年)

1826年-05:30|インド| |||<就任>パタル国統治者(ジュリマット・タール・サーヒブ・シュリ)「ジャラムシンジ・プラタプシンジ」(~1842年没)

1826年-05:30|インド| |||<就任>ホー国ラジャ「チャントラ・シクル・デオ」

1826年-05:30|インド| |||<就任>マイハル国統治者(タークル)「ビジャン・シン」(~1850年没)

1826年-05:30|インド| |||<就任>マンデイ国ラジャ「ザリム・セン」(~1839年6月没)

1826年-05:30|インド| |||<就任>ラムドゥルク国統治者(ジョ)「ラムジョ2世ナヤンラオ・ハベ」(~1872年没)

1826年-05:30|インド/イギリス| |||アスマリはナグプールから(パウトの一部として)イギリスに譲渡された

1826年-05:30|インド| |||イタル国ハットはイタルとアフマドナガルに吸収される

1826年-05:30|インド/イギリス| |||ジャンプコダ国はイギリスの保護領(グジャラート州の一部~1948年)

1826年-05:00|パキスタン| |||<就任>ギルギット国統治者「マリカ・サヒブヌマ」(~1838年没)、摂政「フニアルのアザド・カーン」(~1827年没)

1826年-05:00|ガザフスタン| |||<即位>ハ薩克汗・ハン「アルトゥンサル」トグムの子(~1859年)

1826年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン摂政(パトシャー)「トースト・モハマト・カーン・モハマト・ザイ」(~1836年)

1826年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン対立摂政(カンダハール)「ハデイル・カーン・モハマト・ザイ」(~1839年)

1826年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>カーブル首相(ワズール・イ・アザム)「ミルザ・サミ・カーン」(~1839年)

1826年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>ハラウザイ朝アミール「トースト・ムハンマト・ハーン」ドゥッラーニ朝から独立建国(~18390802イギリス軍に捕らえられる)

1826年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>カラバーク汗国ハン「マフディー・クリ・ハーン」ペルシャ人が短期間占領(2度目)

1826年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>カバ汗国ハン「アフマド・ハーン2世」

1826年-04:00|ジョージア| |||<就任>グルジア公「ダビッド」(~18290902)、摂政「レオ・ツルキゼ」(~1829年没)

1826年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>シャキ汗国ハン「フセイン・ハーン」反乱宣言(短期間)

1826年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>シャマ汗国ハン「ムスタファ・ハーン」ペルシャに短期間占領され、ハン国回復(2度目)

1826年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>バクー汗国ハン「フサイン・クリ・ハーン」(3度目)

1826年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Yusuf Muhlis Pasha」(~1827. 8)

1826年-01:00|ポーランド| |||<解任>オレシツァ公「カール2世」

1826年-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリニア・ベイルベ・イレリ「メフメト(反乱)」(2回目~同年)

1826年-01:00|ポーランド| |||<就任>オレシツァ公「ヴィルヘルム」(~18841018死去、オレシツァ及びビェルトゥフはプロシヤ王国に併合)

1826年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定総督「Joaquin Bureau」(~同年)⇒暫定総督「Julio O'Neil」(~同年)⇒総督「Juan Maria Munoz Manito」(2期目~1831年)

1826年-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公国管理評議会会長「アヴラム・ペトロニエヴィッチ」(2度目~同年)⇒「ミロイェ・トドヴィッチ」(~同年)⇒「デミトリエ・デミトリ・タウイトヴィッチ」(~1829年)

1826年-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝アルテンブルク公「フリードリヒ」ザクセン＝ヒルブルクハウゼン公(~18340902死去)

1826年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>アク王国指導者「トマス・ウィル」建国(~1840年没)

1826年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>アリカリ国統治者(アリカリ)兼テムネ王国統治者(バイス)「ファティマ・ブリマ・カマ」(~1840年)

1826年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「アントニオ・トレス・ダ・ベイガ・サントス」

1826年 00:00|セネガル| |||<就任>ワタ・トロ統治者統治者(アル＝ミ)「ユスフ・サイア・リー」(8回目)⇒「アル・ファキ・イブラー・ジャタラ・アーン」(~1827年)

1826年 04:00|アルバ/オランダ| |||<就任>アルバ島司令官「Simon Plats」(~18270814死去)

1826年 04:00|サン・バルテルミー/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領セント・バーソロミュー島知事「James Haarlef Haasum」(~1860年)

1826年 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ総督代行「マヌエル・ムニョス」(1回目~同年)⇒総督「セルゲ・デ・ファブレガ」(1回目~1827年)

1826年1月 04:00|ポルトガル/スペイン| |||ロペイル、ホリーバルに降服。スペイン軍は最終的に一掃

1826年1月 05:00|キューバ| |||アントレス・マヌエル・サンチェスとフランシスコ・アグエロら8人、「黒鷲大隊」を率いかマゲイ州南岸に上陸/ビバース総督に対して独立闘争を開始/まもなく敗れ2人は処刑

1826年1月1日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「Leonard du Bus de Gisignies, Hendrik Merkus de Kock」(~18301016)

1826年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ゲオルク・ヴァンツェンツ・ヨスト・ルートヴィヒ・リュッティマン」Con(3期目~12. 31)

1826年1月3日-04:00|ロシア| |||ロシア暦3月22日|ロシアで「南方結社」の反乱が鎮圧

1826年1月5日 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ総督「ジェームズ・キャンベル卿」(1回目~1829年5月)

1826年1月5日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国閣僚評議会議長「セルミンゴ・デラ・マル・イ・コルサ」(2回目~2. 25)

1826年1月5日-09:00|日本| |||文政8年11月27日|<死去>柏原瓦全(82歳)俳人

1826年1月7日-01:00|イタリア| |||<初演>カエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「グレタのアホー」》

1826年1月8日-01:00|ドイツ| |||ドイツの物理学者オームは、電流と電圧についての実験をした/温度が一定なら針金

1830迄 (2634件)

に流れる電流の強さが針金の両端の電位差に比例することを発見[オームの法則]
1826年1月8日-09:00|日本|福井県福井市|文政8年12月1日|<死去>松平治好 (58歳) 越前福井藩主⇒嫡子の斉承が
継いだ
1826年1月11日 04:00|セントルシア/イギリス| ||<就任>イギリス領セントルシア総督「ジョン・モンタギュー・メインリング」(2度目~1827年11
月)
1826年1月19日-05:30|インド| ||<即位>パタゴニア国マハラジャ「バルワント・シン」(2回目~18530321)、摂政「マハニ・スリ・マジ・サハ
・ガンガウエ・ミラジ・カルジ・サハ」(~1826年)
1826年1月19日 04:00|チリ/スペイン| ||スペイン王党派軍降伏/チリはタタコ条約によってチリに併合
1826年1月20日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ラジエス男爵・伯爵・侯爵ジョアン・ウイエイラ・デ・カルヴァーリ
ョ」(~23日)
1826年1月21日-09:00|日本|長野県松本市|文政8年12月14日|(~17日朝)<赤藁騒動>信濃国松本藩で発生した世直
し一揆/信濃国安曇郡大町組に属する四ヶ庄地方(白馬村神城)から発生/糸魚川街道沿道の村々の大半を巻き
込んで、大町宿、池田宿、保高宿・成相新田宿の宿場の特権的問屋や、各組の大庄屋や在郷商人など約87軒を約3
万人の農民が打ちこわした/成相新田宿で松本藩兵に鎮圧され、城下への侵入は阻止された
1826年1月22日 03:00|ブラジル| ||50人からなる元老院が設置される。すべてが指名制で保守派が独占。これに
対し下院は自由党が多数を占め、保守党に対して優位に立つ
1826年1月22日 05:00|ペルー/スペイン| ||レアルフェリペ要塞のスペイン軍が降伏
1826年1月23日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ホセ・フェリシアノ・フェルナンデス・ビニョロ」(~11.13)
1826年1月24日 06:00|アメリカ| ||アメリカ、クリク族とワシントン条約を締結
1826年1月26日-09:00|日本|岡山県|文政8年12月19日|美作国勝北・勝南両郡に打ち壊し
1826年1月26日 12:00|日本|東京都中央区|文政8年12月19日|夜五半時(21時)、葺屋町操芝居より出火、両座芝居
焼く/元大坂町、甚左衛門町、住吉町、人形町の辺類焼
1826年2月1日-01:00|オーストリア| ||<初演>フランツ・ペーター・シュベルト《弦楽四重奏曲第14番ニ短調D. 810「死と乙女」》
1826年2月3日-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>オランダ領東インド総督「Leonard P. J. burggraaf Du Bis de Gisi
gnies」(~18300116)
1826年2月3日 03:00|ウルグアイ| ||<就任>シラス州知事「Francisco de Paula Magessi Tavares de Carvalho」(
~18280827)
1826年2月4日-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>オランダ領東インド総督代理「Hendrik Merkus de Kock」(~18300116
)
1826年2月4日 06:00|アメリカ| ||アメリカの作家ジェームズ・フェニモア・クーパー(37)が、「モヒカン族の最後の者」を発表
1826年2月5日-09:00|日本| ||文政8年12月29日|幕府が酒株を所有しない者、所有していても1807年以後休株・
無営業である者の酒造を禁止(文政10年解除)
1826年2月7日-09:00|日本|東京都千代田区|文政9年|斉藤弥九郎が九段下神田まないた橋畔に神道無念流・道場(
練兵館)を開く/江戸の三大道場のひとつ
1826年2月7日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|文政9年|紀州藩第10代藩主徳川治寶によって養翠園築造
1826年2月7日-09:00|日本| ||文政9年1月|<出版>葵岡北溪「顔面狂歌集」
1826年2月7日-09:00|日本| ||文政9年1月|<出版>歌川国直「狂歌百将図伝」
1826年2月7日-09:00|日本| ||文政9年1月|<出版>歌川国貞「三芝居役者細見」
1826年2月7日-09:00|日本| ||文政9年1月|<出版>岳亭定岡「略画職人尽」
1826年2月8日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ大統領「ベルナルディノ・デ・ラ・トリニダート・ゴンザレス・リバダビア・
イ・リバダビア」(~18270707、シラスラチ戦争で不利な講和条約を結んだため、辞任)
1826年2月8日 03:00|アルゼンチン| ||諸州代表が集まり「リオ・デ・ラ・プラタ連合諸州」を結成/ブエノスアイレスを首都と宣言
1826年2月13日 06:00|アメリカ| ||アメリカ禁酒促進協会設立
1826年2月14日 04:00|バミューダ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督「ヒルグ・ローブ・ターナー卿」(1期目~1829
0707)
1826年2月24日-06:30|ミャンマー/イギリス/インド| ||ヤンダボ条約が締結され、第1次ビルマ戦争が終結/ビルマはイギリスに100
万ポンドを支払い、アラカン、テナセリムを割譲、アッサムとマニプルに対する宗主権喪失
1826年2月25日 05:00|ペルー| ||<就任>ペルー共和国閣僚評議会議長代行「ホセ・ペリト・ウヌエ・イ・パボン」(2回目~6.29)
1826年2月27日-01:00|オーストリア| ||ヴィルヘルム・フォン・ビエラによってビエラ彗星発見
1826年3月-03:00|スーダン/エジプト| ||<就任>エジプト領スーダン知事「Ali Khurshid Agha」(~1835年)
1826年3月3日-09:00|日本|東京都墨田区|文政9年1月25日|<大相撲>文政9年1月場所[江戸本所回向院](10日間)
幕内優勝:(西前6)黒柳, 7勝1敗2休
1826年3月5日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領ケープ植民地知事代行「リチャード・バーク」(~18280909)
1826年3月7日 00:00|シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス王領シエラレオネ総督代理「ケネス・マコーレー」(~7.11)
1826年3月7日 00:00|ガンビア/ガナ/シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)代行「ケネス・マコーレー」
(~7.11)
1826年3月7日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| ||<就任>セント・マス島・セントジョン島総督代理「Johannes Sobotker」(
1期目~18290707)
1826年3月7日-09:00|日本| ||文政9年1月29日|<死去>奈河晴助(45歳) 歌舞伎作者
1826年3月8日 00:00|ガナ/イギリス| ||<就任>イギリス領西アフリカ植民地ゴールド・コースト準州総督代行「ケネス・マコーレー」(~5.1
8)
1826年3月10日 00:00|ポルトガル| ||<死去>ポルトガルアルガルヴェ王「ジョアン6世」58歳(誕生17670513)

1830迄 (2634件)

1826年3月10日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ブラウンサ女公・グアオ＝パウ女公・ブラジル帝国女公・ペイラ女公・アイシュテット女公・ザクセン＝コブルク＝ゴータ女公・ポルト女公・ロヒテンブルク女公・サンタ・クルス女公・ハルシュタット女公・ウイラ・グイサ女侯・ハルシュタット女伯・オウム女伯・アラウカ女伯・ネイヴァ女伯「マリア・ダ・グロリア」皇帝「ペドロ1世」の末子(～5.2ポルトガル＝アルガルヴェ女王～18531115死去)

1826年3月10日 00:00|ポルトガル| |||<即位>ポルトガル＝アルガルヴェ王「ペドロ4世」(～5.2退位～18340924死去)ジョアン6世の子

1826年3月17日-11:30|ノースフォーク島/オーストラリア| |||<就任>ノースフォーク島司令官「Vance Young Donaldson」(～18270819)

1826年3月20日-09:00|日本|熊本県熊本市|文政9年2月12日|<死去>肥後熊本藩54万石「細川齊樹」(30歳)⇒3月29日、甥「細川齊護(立政から改名)」が継ぐ(⇒万延元(1860)年4月17日、57歳で死去)

1826年3月21日-01:00|ドイツ| |||<初演>ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン《弦楽四重奏曲第13番》

1826年3月26日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ暫定総督「Joseph Burgues de Missiessy」(～18270215死去)

1826年4月-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国皇帝「ヘクタ・マリアム4世」(～同月)⇒「ギバル・イサ」(2回目～18300618)

1826年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャンバティスト・オノリ」「マリノ・ベルティ」

1826年4月4日 00:00|イギリス/ロシア| ||ロシア暦3月22日|ロシアとイギリスが、ギリシア独立戦争の調停のサンクト・ペテルブルク議定書に調印

1826年4月7日-09:30|オーストラリア| |||シドニーの最初の街灯(オイル・ランプ)、マクウォリー・プレイスに点灯

1826年4月7日-09:00|日本|千葉県長生郡一宮町|文政9年3月|<藩庁移転>伊勢東阿倉川13000石「加納久儔」⇒上総一宮藩13000石(⇒天保13(1842)年10月21日、隠居)

1826年4月12日-01:00|ドイツ| |||<初演>カール・マリア・フリードリヒ・エルスト・フォン・ヴェーバー《歌劇「オペロン、または妖精の王の誓い」》

1826年4月15日-09:00|日本|東京都|文政9年3月9日|<死去>亀田鵬斎(75歳)能書家、儒学者、文人

1826年4月17日-05:00|パキスタン| |||<死去>ハールワル^パル国ナワブ・アミール「サデク・モハマト・カーン2世」

1826年4月17日-05:00|パキスタン| |||<就任>ハールワル^パル国ナワブ・アミール「モハマト・ハールワル・カーン3世」(～18521019没)

1826年4月22日-03:00|スーダン/エジプト| |||<就任>エジプト領スーダン長官「マフ・ウルファリ・ベイ」(～同年)⇒代行「アリ・クルシット・アガ」(～1836年)

1826年4月22日 06:00|ニカラグア| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラグア首長「ファン・アルケ・エロ・デル・カスティージョ・イ・グスマン」(1回目、18260813まで代行～18270914)

1826年4月23日-02:00|ギリシャ/エジプト| |||エジプト軍が、ギリシア反乱軍の要塞ミロンギオンを攻略し全滅させる

1826年4月30日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ運営委員会委員長「アントニオ・アシマコ・ザイミス」(～18270414)

1826年5月 00:00|シエラレオネ| |||<死去>カ・ブ・ム国王「ジョージ1世」

1826年5月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ司令官「ジョアキン・アントニオ・デ・マタス」(2回目～1827年)

1826年5月 00:00|シエラレオネ| |||<即位>カ・ブ・ム国王「ジョージ2世」(1867年没)

1826年5月1日 05:00|バチ| |||賠償金の捻出に苦しむボワエ、農村法を改定し全土に適用。農民の土地離散と自由な移動を禁止、年貢制の再開と、農民のプランターへの無条件服従を強制する。事実上の奴隷制の復活

1826年5月2日 00:00|ポルトガル| |||<即位>ポルトガル＝アルガルヴェ女王「マリア2世」(1回目～18280623)

1826年5月2日 00:00|ポルトガル| |||<退位>ポルトガル＝アルガルヴェ王「ペドロ4世」(～18340924死去)

1826年5月3日-01:00|スウェーデン| |||<就任>スウェーデン公「カール」(～18590708、スウェーデン王「カール15世」として即位)

1826年5月3日-09:00|日本|奈良県桜井市|文政9年3月27日|<交替>大和芝村藩1万石「織田長宇」隠居⇒三男「織田長恭」が継ぐ(⇒嘉永5(1852)年3月13日、隠居)

1826年5月5日-09:00|日本|熊本県宇土市|文政9年3月29日|<交替>肥後宇土藩3万石「細川立政」熊本藩の家督を継ぐ⇒4月4日、弟「細川行芬」が継ぐ(⇒嘉永4(1851)年5月24日、隠居)

1826年5月5日-09:00|日本|和歌山県田辺市|文政9年3月29日|<死去>紀伊田辺藩38000石(紀州藩附家老)「安藤直馨」(41歳)⇒5月25日、養子「安藤直裕」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年1月24日、維新立藩で独立の大名となった)

1826年5月7日-09:00|日本| ||文政9年4月|<出版>葵岡北溪「狂歌鼎足集」

1826年5月11日-09:00|日本|愛媛県松山市|文政9年4月5日|松山藩領重信川出水のため、出合渡船が転覆して売魚婦25人溺死

1826年5月12日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ヘンリ・ハドチ・ムスタファ・パシャ」(～12.22)

1826年5月14日-09:00|日本|新潟県新発田市|文政9年4月8日|<交替>越後三日市藩1万石「柳沢里世」隠居⇒養子「柳沢里顕」が継ぐ(⇒天保13(1842)年12月24日、死去)

1826年5月15日-09:00|日本|東京都江東区|文政9年4月9日|江戸深川三十三間堂通矢「五十間堂百射」で、臼井幸蔵(13歳)が87本(総矢数100中)を記録

1826年5月18日 00:00|ガーナ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ植民地ゴールド・コースト準州総督「ニール・キャンベル卿」(～11.15)

1826年5月18日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ 知事兼管理者代理「Louis Francois」(1期目～6.1)

1826年5月19日-09:30|オーストラリア| |||シドニーの第3の新聞『モーター』の発行始まる

1826年5月24日-09:00|日本|東京都目黒区|文政9年4月18日|江戸目黒の近藤重蔵の長男富蔵、地所境界争いから隣家の百姓一家七名を殺傷

1826年5月25日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メロ総督「Manuel Garcia」(～1829年)

1826年5月25日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア制憲議会議長「ホセ・ホセ・カシミロ・オリベタ・イ・グエメス」(～28日)

1826年5月28日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア大統領「アントニオ・ホセ・フランシスコ・デ・ソサ・イ・アルカ」(解放軍最高司令官;18260619までボリビア最高司令部担当)(～18280812)

1830迄 (2634件)

1826年5月29日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ノボロシヤ＝ベッサラビア総督代理「Graf Fyodor Petrovich Palen」(1期目~18280101)

1826年6月 04:00|マルティニク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニク知事「Francois Marie Michel de Bouille」(~1828年)

1826年6月1日 04:00|グアテマラ/フランス| |||<就任>グアテマラ知事「Jean Julien」(~18300501)

1826年6月3日-09:30|オーストラリア| |||シドニーの商業会議所設立

1826年6月5日-01:00|ドイツ/イギリス| |||<死去>ドイツの作曲家ウェーバーがロンドンで/39歳(誕生17861118)「魔弾の射手」などを作曲した

1826年6月7日-01:00|ドイツ| |||<死去>ドイツの物理学者フランクフルト/39歳(誕生17870306)/光のスペクトルのフランクフルト線を発見した

1826年6月7日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド総督「ピーター・フィエルステッド・ホッペ」(2回目~1829年6月)

1826年6月7日-09:00|日本| ||文政9年5月2日<死去>一尊如来き(71歳)如来宗の開祖

1826年6月9日 00:00|カンビア/イギリス| |||パラ王からイギリスに割譲されたマイル(マッカーサー島)の下南岸)併合

1826年6月17日-02:00|トルコ| |||オスマン朝がイエニチリ軍団を廃止し、西欧型常備軍を創設

1826年6月19日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド総督「バサン伯爵ウージェーヌ・パノン・ド・リシュモン」(18270827まで暫定~18280802)

1826年6月22日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「バグダットの太守」》

1826年6月25日-09:00|日本|愛媛県今治市|文政9年5月20日|今治藩、大風雨により総社川土手所々で大破、溺死者23人、破船50艘

1826年6月26日-09:00|日本|愛媛県大洲市|文政9年5月21日|大洲藩領洪水、肱川の水位3丈3尺1寸となる(溺死30人・流家46軒)

1826年6月26日-09:00|日本|愛媛県松山市|文政9年5月21日|松山藩領石手川洪水、流死人80人余を出す

1826年6月29日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国閣僚評議会議長「ル・アントレス・デ・サンタクルス・ビシジャビセンシオカラマナ」(~18290607)

1826年6月29日-09:00|日本|新潟県長岡市|文政9年5月24日<死去>越後与板藩2万石「井伊直暉」(36歳)⇒翌年7月13日、養子「井伊直経」が継ぐ(⇒安政3(1856)年6月30日、58歳で死去)

1826年7月3日-09:30|オーストラリア| |||シドニー第2の銀行、オーストラリア銀行営業開始

1826年7月3日-04:00|ロシア| |||ロシア皇帝ニコライ1世が皇帝直属の秘密警察組織「皇帝直属官房第3部」を創る

1826年7月4日 00:00|イギリス| |||<死去>2代チェスター伯「トマス・ヘラム」

1826年7月4日 00:00|イギリス| |||<就任>3代チェスター伯「ヘンリー・トマス・ヘラム」(~18860315死去)

1826年7月4日 06:00|アメリカ| |||<死去>アメリカの第2代大統領「ジェームズ・モンロー」(誕生17510908)

1826年7月4日 06:00|アメリカ| |||<死去>アメリカの第3代大統領「ジェームズ・モンロー」(誕生17510908)

1826年7月5日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの化学者ジョゼフ・プルースト(17540926~)[定比例の法則]を発見

1826年7月5日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>東方州知事「Joaquin Suarez」(~18271012)

1826年7月5日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トバゴ総司令官・総督代行「ウィリアム・フランセル」(~1827年)

1826年7月5日-09:00|日本| ||文政9年6月<出版>葵岡北溪・歌川国貞・蹄齋北馬・歌川国直・柳々居辰齋・葛飾北斎等「狂歌の集」

1826年7月5日-09:00|日本| ||文政9年6月<出版>暁鐘成「世話千字文絵抄」

1826年7月5日-09:00|日本| ||文政9年6月<出版>源與清(鐵形紹意の挿画)「松屋叢考」

1826年7月6日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ドニゼッティ《歌劇「エルヴィータ」》

1826年7月9日 04:00|チリ| |||<就任>チリ共和国大統領「マヌエル・デ・ブランコ・エスカラダ」(~9.9)

1826年7月11日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ総督代理「サミュエル・J. スマート」(~8.23)

1826年7月11日 00:00|カンビア/カーナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)代行「サミュエル・J. スマート」(~8.23)

1826年7月12日-09:30|オーストラリア| |||スターリング・ポンド、公的な通貨となる

1826年7月17日-08:00|インドネシア| |||<即位>ジョグジャカルタ・スルタン「Hamengkubuwono2世」(3期目~18280103)

1826年7月20日-09:00|日本| ||文政9年6月16日|幕府が、武士が武家屋敷を町人に貸して利を得ることを禁止

1826年7月22日-01:00|イタリア| |||イタリアの天文学者ジュゼッペ・ピッツェット(17440716~)小惑星「セレス」を発見(1801)

1826年7月23日-04:00|ロシア/イラン| |||第2次イラン・ロシア戦争が勃発

1826年7月24日-09:00|日本|広島県福山市|文政9年6月20日<死去>備後福山藩10万石「阿部正精」(53歳)⇒8月24日、三男「阿部正寧」が継ぐ(⇒天保7(1836)年12月25日、隠居)

1826年7月25日-09:00|日本|愛知県田原市|文政9年6月21日<交替>大垣新田藩1万石「戸田氏宥」隠居⇒養子「戸田氏綏」が継ぐ(⇒安政2(1855)年3月27日、51歳で死去)

1826年7月25日-09:00|日本|石川県金沢市|文政9年6月21日|加賀藩で、御用銀反対の一揆

1826年7月26日-09:00|日本| ||文政9年6月22日<死去>蠣崎波響(63歳)画家、松前藩家老

1826年7月30日-09:00|日本|岐阜県恵那市|文政9年6月26日<死去>美濃国岩村藩2万石「松平乗保」(79歳)元若年寄・大坂城代・老中⇒次男「松平乗美」が継ぐ(⇒天保13(1842)年11月16日、隠居)

1826年8月-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ガリシア州知事「August Longin Furst von Lobkowitz」(~1832.9)

1826年8月 04:00|ボリビア| |||アルト・ペルー、ボリビア共和国として独立/ボリバルが名目的に初代大統領をつとめたあと、スレを終身大統領に選出/チュキカを首都と定めスレ市と改名

1826年8月1日-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| |||<就任>マリアナ諸島知事「Jose de Medinilla y Pineda」(2期目~18310926)

1826年8月1日 00:00|カンビア/イギリス| |||<就任>イギリス領バサースト司令官「アレクサンダー・ファントレー・ジュニア」(~18290308)

1830迄 (2634件)

1826年8月1日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国首相「フランシスコ・マヌエル・トリコ・ソ・デ・アラカ・オ・エ・モト」(~12. 6)
1826年8月2日 00:00|イギリス| |||<死去>9代ウィンチルシー伯・4代ノッティンガム伯「ジョージ・フィンチ」
1826年8月2日 00:00|イギリス| |||<就任>10代ウィンチルシー伯・5代ノッティンガム伯「ジョージ・ウィリアム・フィンチ=ハットン」(~18580108死去)
1826年8月4日-09:00|日本| ||文政9年7月<完成>青地林宗, 世界各国地誌の概要を翻訳した「輿地志略」
1826年8月7日 00:00|ガーナ/イギリス| |||第2次アシャンティ戦争/イギリス軍が、ガーナのアクラ近郊のドトワの戦いでアシャンティ軍を破る
1826年8月8日 00:00|イギリス| |||<就任>8代ウィームズ伯「フランシス・ウィームズ=チャールズ=ダグラス」4代マーチ伯(~18530628死去)
1826年8月9日-09:00|日本| ||文政9年7月6日<死去>山梨稲川. 痼病のため(56歳)漢詩人、説文学者
1826年8月12日-09:00|日本| 富山県氷見市|文政9年7月9日|越中加賀藩領氷見町などで御用銀反対の騒動が起こる
1826年8月14日-08:00|マレーシア/シンガポール/イギリス| |||<設立>イギリス領海峡植民地(マラッカ、ペナン、シンガポール)(イギリス東インド会社統治~18581101)
1826年8月15日-08:00|シンガポール/イギリス| |||<就任>イギリス領海峡植民地シンガポール駐在評議員「ジョン・フリンス」(~18271118)
1826年8月19日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理「Manuel Gonzalez Salmon y Gomez de Torres」(~18301015国家主席補佐官~18320120)
1826年8月23日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ総督「Sir ニール・キャンベル」(~18270814)
1826年8月23日 00:00|ガンビア/ガーナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)「ニール・キャンベル卿」(~18270814)
1826年8月25日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督「ヘンリー・Warde卿」(2期目~18270621)
1826年8月25日-09:00|日本| ||文政9年7月22日<死去>初代鶴沢清七(79歳)浄瑠璃三味線方
1826年8月28日-05:30|インド| |||<就任>ポール国支配者(サワフ)「モイス・モハマト・カーン」(~18371130)
1826年8月30日-04:00|セイシェル/イギリス| |||<就任>イギリス領セイシェル長官代行「ジョージ・ハリソン」(⇒1827年、長官~1837年)
1826年9月-07:00|ラオス/タイ| |||ビエンチャン国王のチャオがタイへ侵攻
1826年9月 00:00|イギリス/ミャンマー| |||ビルマがイギリスと通商条約を締結
1826年9月2日-08:00|中国| ||清・道光6年8月|ジヤルハンギールがカシュガルおよびヤルカントの諸城を攻略
1826年9月3日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国政府評議会議長「ホセ・アントニオ・デ・サンタ・クルス・ベニグニョ・セリョ・イ・カラマナ」(18270607から行政権担当長官代理~18270609)
1826年9月9日 04:00|チリ| |||<就任>チリ共和国大統領代行「アグスティン・マヌエル・デ・エイザギレ・イ・アレチャバラ」(~18270125)
1826年9月9日 06:00|グアテマラ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国グアテマラ最高国家元首「ジョセフ・シリル・フロレス・エストラーダ」(~10. 13、連邦政府による直接統治)
1826年9月17日 06:00|ニカラガア| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラガア首長代行「ペドロ・ベニート・ビネタ・デ・レオン」(~18270226)
1826年9月25日-09:30|オーストラリア| |||ノーフォーク島、囚人暴動鎮圧
1826年9月25日-09:00|日本| ||文政9年8月24日<死去>10代千宗室(57歳)茶人、裏千家家元
1826年9月26日-04:00|アゼルバイジャン/ロシア/イラン| |||アゼルバイジャンのカフカの領有をめぐるターコ・ペルシャ朝イラン軍とロシア軍がガングエで戦い、ロシア軍が勝利
1826年10月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<死去>ブハラ・アミール国マンギト朝アミール「サイト・ハイドール・トウラ」
1826年10月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>ブハラ・アミール国マンギト朝アミール「フサイン・ハーン」ハイドールの長男(~1826. 12死去)
1826年10月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Hakki Ismail Pasha」(~1827年)
1826年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・マルペリ」「マリノ・ロンフェルニニ」
1826年10月7日-04:00|ロシア/トルコ| ||ロシア暦9月24日|ブジャク(ウクライナ・オデッサ州・ヒールホロド=ドニストロウシイ市)にあるアックマン城においてロシア帝国とオスマン帝国の間でアックマン条約(アッカーマン条約とも)が結ばれた/1812年に結ばれたブカルスト条約の内容が明確化され、ワラキア公国およびモルダヴィア公国はロシア帝国・オスマン帝国両国の共同宗主権下に置かれ、領主の選出には両宗主国の影響力の下で7年の任期で選出することが義務付けられた/長期にわたってオスマン軍はワラキア、モルダヴィア両公国に駐留していたが退却が定められた/さらに、オスマン帝国はドナウ川の川港都市であるジュルジュ、フラウおよびトルヌ・マゲルの支配権をワラキア公国に譲る事に同意/条約の第5項でセルビア公国の自治権が与えられ1813年に失った失地も返還された
1826年10月7日 06:00|アメリカ| |||クインシーとマチュエッツの間にアメリカ最初の鉄道馬車が開通
1826年10月9日-01:00|イタリア| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「コロンの包囲」》
1826年10月9日-09:00|日本| ||文政9年9月8日<刊行>大槻玄沢増補訳「重訂解体新書」
1826年10月15日-09:00|日本| 新潟県糸魚川市|文政9年9月14日<交替>越後糸魚川藩1万石「松平直益」隠居⇒次男「松平直春」が継ぐ(⇒安政4(1857)年5月24日、隠居)
1826年10月18日-08:00|マレーシア/イギリス| |||パナコル島とスベラン諸島がイギリスに割譲される
1826年10月20日-04:00|レユニオン/フランス| |||<就任>ブルボン島知事「Achille Guy Marie de Penfentenio」(~18300704)
1826年10月21日-09:00|日本| 愛媛県大洲市|文政9年9月20日<死去>伊予大洲藩5万石「加藤泰済」(42歳)⇒長男「加藤泰幹」が継ぐ(⇒嘉永6(1853)年正月15日、死去)
1826年10月21日-09:00|日本| 岡山県新見市|文政9年9月20日<死去>関長輝(50歳)前備中新見藩主

1830迄 (2634件)

1826年10月23日-09:00|日本|群馬県沼田市|文政9年9月22日|<死去>上野沼田藩35000石「土岐頼潤」(39歳)⇒養子「土岐頼功」が継ぐ(11月16日襲封⇒天保11(1840)年6月7日、隠居)

1826年10月25日-01:00|フランス| ||<死去>フランスの内科・精神科医フィリップ・ビネル(17450420~) 空気と自由がもっとも効果的な治療と信じ、患者に自分の立場を認識させた

1826年10月27日-08:00|マレーシア| ||<死去>セランゴール・スルタン「トゥアンク・イブラヒム・シャー・イブニ・アル＝マルフム・スルタン・サラファティン・シャー」

1826年10月27日-08:00|マレーシア| ||<即位>セランゴール・スルタン「トゥアンク・ムハンマド・シャー・イブニ・アル＝マルフム・スルタン・イブラヒム・シャー」(~18570106没)

1826年10月27日-01:00|オーストリア/スウェーデン| ||<死去>オーストリア・スウェーデンの物理学者リーゼ・マイナー(18781107~)放射能の研究でノーベル賞候補だったが、子の迫害からのがれ亡命したため逸した

1826年10月28日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|文政9年9月27日|<交替>上総大多喜藩2万石「松平正敬」隠居⇒弟「松平正義」が継ぐ(⇒天保8(1837)年7月11日、死去)

1826年10月29日-09:00|日本| ||文政9年9月28日|幕府が、関東の無宿人・農民・町人が長脇差を携帯することを禁止

1826年11月 03:00|ブラジル| ||ブラジル、英国の圧力の下、奴隷制廃止条約に署名。1830年以降の奴隷貿易が禁止される

1826年11月 04:30|ベネチア| ||パエス・ベネチア最高統領に就任

1826年11月1日 06:00|エルサルバドル| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国サンサルバドル最高国家元首代行「マリアン・プラト・パカ」(2回目~18290130)

1826年11月1日-09:00|日本|東京都|文政9年10月2日|<死去>狩野派の絵師、狩野(素川)章信

1826年11月5日-05:30|インド| ||<就任>ファリドコト国統治者(サルタール)「アタル・シン」(~1827年8月没)

1826年11月7日-09:00|日本|徳島県阿南市|文政9年10月8日|<死去>平島公方「足利義根」⇒甥「足利義俊」が継ぐ(⇒18760314死去)

1826年11月8日-09:00|日本|大阪府松原市|文政9年10月9日|<交替>河内丹南藩1万石「高木正剛」隠居⇒長男「高木正明」が継ぐ(⇒嘉永元(1848)年8月23日、隠居)

1826年11月9日-09:00|日本|栃木県佐野市|文政9年10月10日|<陣屋移転>近江堅田藩13000石「堀田正敦」廃藩⇒下野佐野藩13000石(⇒文政12(1829)年、3000石加増され16000石)

1826年11月12日-01:00|トイ| ||<改称>ザクセン＝コーブルク＝ザールフェルト公「エルスト3世」⇒ザクセン＝コーブルク＝ゴータ公「エルスト1世」(~18440129死去)

1826年11月12日 00:00|ガーナ/オランダ| ||<就任>オランダ領ゴールド＝コースト司令官代行「ヤコブ・ス・コルネリス・ファン・デル・フレッゲン・ハア」(~18281004)

1826年11月13日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国主席大臣「カペラス子爵(1826年から侯爵)セル・ホアキン・カルネイロ・テ・カンボス」(2回目~18271120)

1826年11月14日-05:30|インド| ||<就任>トリパラ国ラジャ「カシヤントラ・マニーヤ」(~18300319没)

1826年11月15日 00:00|ガーナ/イギリス| ||<就任>イギリス領西アフリカ植民地ゴールド＝コースト準州総督「ヘンリー・ジョン・リケッツ司令官」(1回目~18271011)

1826年11月19日 04:00|ポルトガル| ||ポルトガ憲法制定。スレ初代大統領に指名

1826年11月25日-09:00|日本|東京都墨田区|文政9年10月26日|<大相撲>文政9年10月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東大関)小柳、8勝0敗1分2休

1826年11月27日-08:00|マレーシア/シンガポール/イギリス| ||<就任>イギリス領海峡植民地総督「ロバート・フラットン」(~18301112)

1826年11月28日-01:00|マルタ/イギリス| ||<死去>イギリス直轄植民地マルタ総督「フランス・Rawdon-Hastings」

1826年11月28日-01:00|マルタ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「アレクサンダー・ジョージ・Woodford」(~18270215)

1826年11月28日 00:00|イギリス| ||<死去>ヘイステイキングズ侯・初代ロートン伯・2代モイ伯「フランス・ロートン＝ヘイステイキングズ」

1826年11月28日 00:00|イギリス| ||<就任>2代ヘイステイキングズ侯・3代モイ伯・2代ロートン伯「ジョージ・オーガスタス・フランス・ロートン＝ヘイステイキングズ」先代の息子(~18440113死去)

1826年12月-09:30|オーストラリア| ||ノースフォーク島へ向かったウェリントン号の囚人の反乱。船はニュージーランドに向かうが、そこで反乱囚人は取り押さえられる

1826年12月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| ||<死去>ブハラ・アミール国マンギト朝アミール「フサイン・ハーン」

1826年12月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| ||<即位>ブハラ・アミール国マンギト朝アミール「ウマル・ハーン」(~1827. 4)

1826年12月 03:00|アルゼンチン| ||憲法制定/ブエノスアイレスが外交権と州知事の任命権をもつ

1826年12月 06:00|エルサルバドル/グアテマラ| ||アルセ大統領、奴隷制廃止を宣言/エルサルバドルはこれを大統領の越権行為として反乱

1826年12月6日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガル王国暫定首相「ルイス・マヌエル・デ・モウラ・カブラ」(~16日)

1826年12月7日-13:00|トンガ| ||<即位>トンガ主長(トゥイ・カノクボル)「アレ・モウア・トゥホ・イファレトウイ・パ・イ」(⇒18450118「ジョサイア・トゥホウ」~18451114死去)

1826年12月7日-09:00|日本|広島県広島市|文政9年11月9日|安芸郡仁保島・向灘出火、100軒(120竈)焼失

1826年12月9日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|文政9年11月11日|<死去>下野壬生藩3万石「鳥居忠威」⇒12月27日、養子「鳥居忠挙」が継ぐ(⇒安政4(1857)年8月10日、死去)

1826年12月12日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「アブドゥラヒム・パシャ」(~18280818)

1826年12月13日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| ||<就任>カーボベルデ総督「カエタノ・プロコピオ・ゴデイニョ・デ・ウ・アスコンセロス」(~18300825)

1826年12月16日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガル王国首相「ウイセウ司教フランスコ・アレクサンドル・ロウ」(~18270608)

1830迄 (2634件)

1826年12月17日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|文政9年11月19日|<死去>鍋島直彥(34歳)前肥前鹿島藩主
1826年12月21日 07:00|メキシコ| ||メキシコの独立戦争はナポレオンを占拠し、フレデリック独立共和国を宣言
1826年12月21日-09:00|日本|大阪府大阪市|文政9年11月23日|<就任>大坂城代「松平伯耆守宗亮」(~文政11. 11. 22)
1826年12月21日-09:00|日本|京都府京都市|文政9年11月23日|<就任>京都所司代「水野忠邦」(⇒1828(文政11年11月22日))
1826年12月21日-09:00|日本|東京都千代田区|文政9年11月23日|<解任>老中格「植村家長」
1826年12月21日-09:00|日本|東京都千代田区|文政9年11月23日|<就任>老中「松平康任」(~天保6年9月29日)
1826年12月25日-09:00|日本|香川県高松市|文政9年11月27日|将軍徳川家斉の息女文姫、高松藩世子松平頼胤に嫁ぐ
1826年12月25日 11:00|日本|熊本県宇城市|文政9年11月27日|宇土郡松合村大火(229戸焼失)
1826年12月26日 03:00|ブラジル| ||バイ州ウルグァでフェリナに率いられた逃亡奴隷の反乱/カン農園を襲撃
1826年12月29日-09:00|日本| ||文政9年12月|<刊行>儒学者・岩垣松苗が編纂「国史略」/神代から1588年までの漢文編年体史書
1826年12月29日-09:00|日本|福井県福井市|文政9年12月1日|<死去>越前福井藩32万石「松平治好」⇒翌年1月22日、嫡男「松平齊承」が継ぐ(⇒天保6(1835)年閏7月2日、死去)
1827年-13:00|トンガ| ||<即位>トンガ大酋長「ファタフィ・ラウフィリトナ」(⇒18511107、「サミリオ・ファタフィ・ラウフィリトナ」~18651209死去)
1827年-07:00|ラオス| ||<即位>チャンパ・サク王「ワイ」(~1840年没)
1827年-05:30|インド| ||<就任>グランド・ワト国統治者(オ)「ラガナラオ2世ケジャラ・タ・タ・サヒブ・パトワラダン」(~1876年没)
1827年-05:30|インド| ||<就任>サムタル国ラジャ「ヒンドウパット・シン」(~1864年)
1827年-05:30|インド| ||<就任>サンガル国ラジャ「ヒカン・サイ」(~18280105没)
1827年-05:30|インド| ||<就任>サンバルプル国ラジャ「モハン・クマリ・ラニ」(~1833年)
1827年-05:30|インド| ||<就任>シャイナ国ラジャ「ナハル・シン」(~18410823没)
1827年-05:30|インド| ||<就任>ジャオラ国摂政「ホースウィック」(~1840年)
1827年-05:30|インド| ||<就任>ナルシナル国支配者(ラウト)「ハンワット・シン」(~1872年5月)
1827年-05:30|インド| ||<就任>ハラウタ・ハタル・ガガル国統治者(ターケル)「サフジット・シン」(~1867年12月没)
1827年-05:30|インド| ||<就任>ホル国統治者(ハント・サフ)「ラガナート・ラオ1世チムジ・ラオ・サヒブ」(~1837年没)、摂政「シュリマント・パグ・アニハ・イハブ」(~1835年)
1827年-05:30|インド| ||<就任>ワトワン国統治者(タル・サヒブ)「ライシム・シヤムシム」(~1875年没)
1827年-05:30|インド/イギリス| ||ラムドゥルグ国をイギリス領インドが統治(~1829年)
1827年-05:00|ガブスタン| ||<再任>小ジュー・ハン「シルガス」(~1830年)
1827年-05:00|パキスタン| ||<死去>ギルギット国摂政「フニアルのアザト・カン」
1827年-04:00|アゼルバイジャン| ||<就任>ナフチヴァン汗国ハン「エサン・ハン」(~1828年4月)
1827年-03:30|イラン/ロシア| ||ホイをロシアが占領(~同年)
1827年-02:00|キプロス/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領キプロス・ムハッセル「アリ・ルビ」(~1830年)
1827年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Izmirli Hacı Salih Pasha」(~1828年)
1827年-02:00|ザンビア| ||<就任>ベンガ国統治者(ティムクル)「チレシ・セハラ・ティムクル25世」(~1860年没)
1827年 00:00|カリヤ諸島| ||<就任>スペイン王国カリヤ諸島市民知事「Diego de Aguirre y Rosales」(~1829年)
1827年 00:00|セカール| ||<就任>ワタ・ト・ロ統治者統治者(アル・ミ)「ユフ・サ・リ」(9回目)⇒「ママト・ウ・アアン」(~1829年)
1827年 00:00|セカール| ||<就任>ブントウ統治者(アル・ミ)「トウ・ネ・ムケ・イ・シ」(~1835年)
1827年 02:00|グリーンランド/デンマーク| ||<就任>南グリーンランド検査官「Ove Valentin Kielsen」(~1828年)
1827年 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トバゴ総司令官、総督代行「エルフィンストーン・ヒュー・コット」(~18280801)
1827年 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||<就任>ビエクス島軍司令官代理「Teofilo Jose Jaime Maria Le Guillou」(~1828年)
1827年 04:00|サン・マルタン/フランス| ||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「Jean Sebastien de Durat」
1827年 05:00|パナマ| ||<就任>パナマ総督「ホセ・トミンゴ・エスピナル」(1回目)⇒代行「マヌエル・ムニョス」(2回目~1828年6月)
1827年1月 07:00|メキシコ| ||メキシコ政府軍、「フレデリック共和国」を制圧
1827年1月1日-05:30|インド| ||ホンバイン知事エルフィンストンが一連の法律を制定
1827年1月1日-01:00|スイス| ||<就任>スイス連合国会議長「デビッド・フォン・ウイス2世」Con(3期目~12. 31)
1827年1月2日 06:00|グアテマラ| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国グアテマラ最高国家元首代行「ホセ・トミンゴ・エストラダ」(~3. 1)
1827年1月5日 00:00|イギリス| ||<死去>初代ヨーク・オールバニ公・初代アルスター伯「フレデリック王子」
1827年1月7日-01:00|イタリア| ||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「オリヴァとパスクワレ」》
1827年1月8日 10:00|ポリネシア| ||<死去>ツィエ諸島統治者「Teri'i tari'a Pomare3世」
1827年1月9日-09:00|日本| ||文政9年12月12日|<死去>西村定雅(83歳)俳人、狂歌師、洒落本作者
1827年1月11日-01:00|デンマーク| ||<就任>デンマーク王国枢密院議長「ヨハン・ジギスムント・フォン・モースティン」(~18420226)
1827年1月11日 10:00|ポリネシア| ||<就任>ツィエ諸島統治者「Aimata Pomare4世 Vahine」(~18770917死去)
1827年1月18日 00:00|ギニア・サハール/ポルトガル| ||<就任>ビサウ司令官「フランシスコ・ホセ・ムアチ」(~1829年)
1827年1月25日 04:00|チリ| ||<就任>チリ共和国暫定大統領「ラモン・フレイレ・イ・セラーノ」(1回目⇒2. 13大統領~5. 6)
1827年1月27日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|文政10年|<交替>下野烏山藩3万石「大久保忠成」隠居⇒長男「大久保忠保」が継ぐ(⇒嘉永元(1848)年9月5日、死去)

1830迄 (2634件)

1827年1月27日-09:00|日本|新潟県上越市|文政10年|<交替>越後高田藩15万石「榊原政令」隠居⇒長男「榊原政養」が継ぐ(⇒天保10(1839)年、隠居)

1827年1月27日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Francisco Tomas Morales y A fonso」(~1834年)

1827年1月27日-09:00|日本| ||文政10年1月|<刊行>岡山鳥(長谷川雪旦画)「江戸名所花暦」

1827年1月27日-09:00|日本| ||文政10年1月|<出版>英斎泉寿(英泉の門人)「武者絵早学」

1827年1月27日-09:00|日本| ||文政10年1月|<出版>歌川広重「洒落口の種本」(表紙の画のみ広重画)及び合巻「宝船桂帆柱」

1827年1月27日-09:00|日本| ||文政10年1月|<出版>岳亭定岡「紫草」

1827年1月27日-09:00|日本| ||文政10年1月|<出版>速水春暁斎「絵本堪忍記」

1827年1月27日-09:00|日本| ||文政10年1月|<出版>長谷川雪旦「江戸名所花暦」

1827年1月27日-09:00|日本| ||文政10年1月|<出版>柳川重信「狂歌人物誌」

1827年1月27日-09:00|日本|東京都|文政10年1月1日|幕府が、市中の消防に備え、竜吐水・水鉄砲を備え付けさせる

1827年1月28日 05:00|ペルー| ||<就任>ペルー政府審議会大統領「アントニオ・デ・サンタ・クルス」(~6.9)

1827年1月30日-09:00|日本|東京都中央区|文政10年1月4日|丑の刻に日本橋葦屋町より出火、市村座・中村座が焼失/堺町、芳町、人形町通り片側、大坂町、甚左衛門町にて鎮まる

1827年2月1日-01:00|リベチュタイン| ||<就任>リベチュタイン王室廷吏「ピーター・ホ・コニー」(~18330907)

1827年2月9日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>キエフ軍総督兼キエフ行政区域民事主席管理者「Pyotr Fyodorovich Zhel tukhin」(~1829年死去)

1827年2月15日-01:00|マルタ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督「フレデリック・キャウエンデ・イッシュ・ホ・ソソビエー卿」(~18361118)

1827年2月15日 03:00|仏領ギアナ/フランス| ||<死去>ギアナ暫定総督「Joseph Burgues de Missiessy」

1827年2月15日 03:00|仏領ギアナ/フランス| ||<就任>ギアナ総督「Louis Henri de Saulses」(~18290601)

1827年2月20日 03:00|アルゼンチン/ブラジル/ウルグアイ| ||イッサ・インゴの戦い/アルゼンチン-ウルグアイ連合軍がブラジル軍を決定的に打ち破る

1827年2月22日 00:00|イギリス| ||<死去>2代オズロー伯「トマス・オズロー」

1827年2月22日 00:00|イギリス| ||<就任>3代オズロー伯「アーサー・ジョージ・オズロー」先代の息子(~18701024死去)

1827年2月24日-09:00|日本|東京都|文政10年1月29日|<死去>江戸の三美人(明和三美人)の一人笠森お仙(77)

1827年2月27日-05:30|インド/イギリス| ||<就任>ガンゴール国、村イ国(ザミナリ)が国として承認される

1827年2月27日 06:00|ニカラガア| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラガア首長「マヌエル・アントニオ・デ・ラ・セルタ・イ・フェド・アギラール」(レオンとグアラタを除く反体制派)(2回目~18281107)

1827年3月-01:00|ルウェー| ||ルウェーの数学者アベルが「楕円関数に関する研究」を発表

1827年3月 05:00|ペルー| ||リマ駐留のコロンビア第三補充師団がサンタペルを支持して反乱、ゲアキルに入り反ボリバル評議会を設立

1827年3月1日 06:00|グアテマラ| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国グアテマラ最高国家元首「マリアーノ・アイシネ・イ・ビノール」(~18290413)

1827年3月2日-09:00|日本|大阪府大阪市|文政10年2月5日|<大坂文政10年の大火「道頓堀焼」>芝居小屋が建ち並び大坂随一の繁華街、道頓堀の角の芝居小屋中村以上座の楽屋二階から出火、近隣の大西座も中座も焼き、大西座では逃げまどう群衆による混乱の中18人が死亡/焼けた区域は、東は角丸芝居より若太夫の西隣まで、南は坂町同裏の自安寺の北堀まで、北は東に中橋筋西角浜側より西は九郎右衛門町の浜大与の東隣の土蔵まで、西は戎橋筋東角の両替屋より南に入り中程より西側の九郎右衛門町の裏通りを西へ一丁半ばかりのところまで焼けた/被害は家屋は家数で160軒、世帯数で1394軒、借家239軒が焼失

1827年3月5日-01:00|イタリア| ||<死去>イタリアの物理学者ボルダ/82歳(誕生17450218)/電池を発明した

1827年3月5日-01:00|フランス| ||<死去>フランスの天文学・数学者ピエール＝シモン・ラプラス/77歳(誕生17490328)カントの「星雲説」を発展させ、「宇宙進化論」を唱えた

1827年3月13日 00:00|イギリス/ブラジル| ||ブラジルとイギリスが奴隷貿易停止条約を批准

1827年3月16日 06:00|アメリカ| ||ニューヨークでアメリカ初の黒人新聞フリーダムス・ジャーナルが創刊

1827年3月16日-09:00|日本| ||文政10年2月19日|<死去>浜松歌国(52歳)歌舞伎作者、随筆家

1827年3月17日-09:00|日本|東京都千代田区|文政10年2月20日|<死去>徳川治済(77歳)前一橋徳川家当主

1827年3月20日-05:30|インド| ||<死去>ケワル国統治者(マラジャ・スベタル)「ダウラ・シンデイ」

1827年3月21日-05:30|インド| ||<就任>ケワル国摂政「マハラ・ババ・ジャハ・ババ」(~6.17)

1827年3月22日 03:00|ブラジル| ||バハイ州カショエーラのヒトリ農場で奴隷の反乱/民兵隊の出動により鎮圧

1827年3月23日 04:00|BES諸島/オランダ| ||<就任>ボネール司令官「Claas Schotborgh」(~18400321死去)

1827年3月26日-01:00|ドイツ| ||<死去>ドイツの作曲家ベートーヴェンがウィーンで/56歳(誕生17701216)

1827年3月26日-01:00|チエコ| ||<就任>モラヴィア総督「カール・ホロムス・グラーフ・フォン・インザ・ギー」(~18341119)

1827年3月26日-01:00|イタリア| ||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「モゼ」とファラオ、または紅海への道》

1827年3月27日 06:00|アメリカ| ||J. Q. アダムス、英植民地との交易に対してアメリカの全港を閉ざす

1827年3月27日-09:00|日本| ||文政10年3月|<完成>佐藤信淵、経世論「経済要録」産業振興・官営商業・貿易展開を説いた

1827年3月27日-08:00|中国| ||清・道光7年3月|清軍がジャバーンギール軍を破り、カシュガルを占領

1827年4月-05:00|パキスタン| ||<就任>キルギット国摂政「カールのタヒル・カン」(~1837年没)

1830迄 (2634件)

1827年4月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>フハラ・ハン国アミール「ナスルッラー・ハン」ハイダル³の三男 (~1860. 10 死去)

1827年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリアーノ・ベグニ」¹「ジョヴァンニ・マルベリ」

1827年4月4日 00:00|シエラレオネ| |||シエラレオネでのちフラー・ベイ・コレッジ² (FBC)になるクリスチャン学校がフラー・ベイに再建される

1827年4月4日-09:00|日本|東京都港区|文政10年3月9日|<死去>西窪光明寺主・雲室 (75歳、山水を画くに巧みなり)

1827年4月6日 00:00|イギリス| |||<死去>シュルーズベリー伯・ウォーターウオード³ 伯「チャールズ・タルボット」

1827年4月6日 00:00|イギリス| |||<就任>シュルーズベリー伯・ウォーターウオード³ 伯「ジョン・タルボット」先代の甥 (~1852. 11. 09 死去)

1827年4月7日 00:00|イギリス| |||イギリス人薬剤師ジョン・ウォーカーが「マッチ」販売開始

1827年4月8日-09:00|日本|東京都港区|文政10年3月13日|<大相撲>文政10年3月場所[江戸芝明神] (7日間) 幕内優勝: (西関脇) 稲妻, 5勝0敗2休

1827年4月10日 00:00|イギリス| |||<死去>初代チャムリー侯「ジョージ・チャムリー」

1827年4月10日 00:00|イギリス| |||<就任>2代チャムリー侯「ジョージ・チャムリー」 (~1870. 05. 08 死去)

1827年4月10日 00:00|イギリス| |||<就任>イギリス連合王国第23代首相「ジョージ・カニング」トリー党 (~8. 8 死去)

1827年4月11日-01:00|フランス| |||フランス、シャルル10世が相次ぐ反政府デモに対応して強気の議会解散を行う

1827年4月15日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ総督代行「副知事委員会: ゲオルギオス・ペトルー・マヴロミチャリス/イオアニス・ニコラウ・ナウス「イヌーリス」/イオアニス・マルキ・ミラティス」 (~1828. 01. 24)

1827年4月25日-09:00|日本|東京都|文政10年3月30日|<死去>蘭学者、大槻玄沢 (71)

1827年4月29日-01:00|ドイツ| |||<初演>フェリックス・メンデルスゾーン《歌劇「カチョの結婚」》

1827年4月29日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス総督「Jose Lucio Travassos Valdes」 (~1828. 08. 23)

1827年4月30日-09:00|日本|兵庫県淡路市|文政10年4月5日|<死去>高田屋嘉兵衛 (59歳) 廻船業者・海商

1827年5月 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督「ルイス・グラント」 (2回目 ~1828. 12. 17)

1827年5月 06:00|アメリカ/メキシコ| |||<就任>メキシコ領ニューメキシコ総督「Manuel Armijo」 (1期目 ~1829年)

1827年5月2日 00:00|イギリス| |||<死去>7代フェアーズ⁴ 伯「ロバート・シャーリー」

1827年5月2日 00:00|イギリス| |||<就任>8代フェアーズ⁴ 伯「ワシントン・シャーリー」 (~1842. 10. 02 死去)

1827年5月5日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン王「フリードリヒ・アウグスト1世」

1827年5月5日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン王「アントン」 (~1836. 06. 06 死去)

1827年5月6日 04:00|チリ| |||<辞任>チリ共和国大統領「ラモン・フレイレ・イ・セラーノ」

1827年5月7日 04:00|チリ| |||<就任>チリ共和国大統領代行「フランシスコ・アントニオ・ヒント・イ・デ・イアス・デ・ラ・プエンテ」 (1回目 ~1829. 09. 16)

1827年5月10日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ホンジュラス最高国家元首代行「ホセ・フスト・ミラ・レ・ネダ・アリアガ」⇒「アナクレト・ベンダーニャ・モントーヤ」 (~9. 30)

1827年5月11日-04:00|ロシア| |||<就任>全ロシア國務院議長・閣僚委員会委員長「ゲラフ・ウイクトル・パヴロヴィッチ・コチュベイ」 (~1834. 06. 15)

1827年5月13日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ドニゼッティ《歌劇「2時間で8カ月」》

1827年5月19日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル司令官代行「ビヤンテ・ベンジャミン・ケルベト」 (~1828. 01. 06)

1827年5月20日-09:00|日本|東京都江東区|文政10年4月25日|江戸深川三十三間堂通矢「半堂千射」で、小倉儀七 (11歳) が995本 (総矢数1000本) を記録

1827年5月21日-09:00|日本|兵庫県淡路市|文政10年4月26日|<死去>初代鶴賀鶴吉 (67歳) 浄瑠璃太夫

1827年5月24日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||オスマン帝国がアホラ⁵リスを奪還

1827年5月25日-09:00|日本|新潟県新発田市|文政10年4月30日|<死去>柳沢里世 (39歳) 前越後三日市藩主

1827年5月26日-09:00|日本| |||文政10年5月|俗に「津軽風」といわれる風邪がはやり、死者多数

1827年5月28日 04:00|ボリビア/ペルー| |||アグスティン・ガマ⁶將軍率いるペルー軍5千人、チキカ⁷の武装反乱を口実にボリビアに侵入、ラパスを占領

1827年6月1日-09:00|日本|東京都|文政10年5月7日|開帳が行われる際、大造りの見せ物を奉納することが江戸で禁止される

1827年6月1日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|文政10年5月7日|<加増>丹波篠山藩5万石「青山忠裕」+1万石⇒6万石 (⇒天保6 (1835) 年7月16日、隠居)

1827年6月3日-09:00|日本| |||文政10年5月9日|<死去>雲室 (75歳) 浄土真宗の僧、画家

1827年6月3日-09:00|日本|和歌山県田辺市|文政10年5月9日|<死去>安藤次猷 (79歳) 前紀伊田辺藩主、紀州藩家老

1827年6月6日-09:00|日本|東京都|文政10年5月12日|丸亀藩、江戸詰の家臣修学のため、江戸藩邸の西御窓を改修して集義館とする

1827年6月8日-09:30|オーストラリア| |||イプスウィッチ近くで、パトリック・ローガン、石炭を発見

1827年6月8日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国首相「マヌエル・フランシスコ・デ・パロス・ダ・マスカ・デ・メセド・レイタオ・エ・ザ・ビエル・フ・ロシル」 (~9. 7)

1827年6月9日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領代行「マヌエル・ホセ・デ・サラザール・イ・バキナ」 (~8. 22)

1827年6月13日-09:00|日本|福井県大野市|文政10年5月19日|大野城下で大火、城内に延焼、町家645軒焼失

1827年6月15日-09:00|日本| |||文政10年5月21日|<完成>頼山陽「日本外史」 (江戸で)、松平定信に贈呈 (2年後刊行)

1827年6月17日-05:30|インド| |||<即位>ケワリル国統治者 (マハラジャ・シンデ・イア)「ジャンゴラオ2世シンデ・イア」 (~1843. 02. 07 没)、摂政「マハラニ・バグジャ・バグイ」 (2回目 ~1832年12月)

1830迄 (2634件)

1827年6月17日 00:00|イギリス| |||<死去>4代ゴートン公・7代ハントリー侯・ノーリッチ伯「アレクサンダー・ゴートン」
1827年6月17日 00:00|イギリス| |||<就任>5代ゴートン公・8代ハントリー侯・ノーリッチ伯・ハントリー=インジャー伯「ジョージ・ダウカン・ゴートン」(~18360528死去)
1827年6月21日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「John Braithwaite Skeete」(3期目~18290210)
1827年6月22日-09:00|日本|兵庫県赤穂市|文政10年5月28日|<死去>播磨赤穂藩2万石「森忠貫」(12歳)⇒弟「森忠徳」が継ぐ(⇒文久2(1862)年1月21日、隠居)
1827年6月25日-01:00|アントゥーラ| |||<就任>アントゥーラ公国共同大公「ウルヘル司法セ・ト・ガルト・イオリ・イ・ホルネーダ」(1835年10月~1847年10月フランス、モンペリエに亡命~18510822)
1827年6月26日-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||ナフチヴァン汗国がロシアに降伏
1827年7月2日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファース 総督代行「ステットマン・ローリンズ」(2度目~18281205)
1827年7月3日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サントアゴ 総督代行「ジョン・キン卿」(~18290219)
1827年7月3日-09:00|日本|東京都千代田区|文政10年6月10日|<死去>清水徳川家「徳川斉明」(19歳)⇒10月15日、弟「徳川恒之丞」が継ぐ(⇒11月15日、賄料10万石)
1827年7月4日 04:00|トミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領トミニカ 総督代行「ジョン・レイトロー」(~18280324)
1827年7月6日-01:00|フランス/イギリス/ロシア| |||ギリシア問題で英仏露がロンドン協定を締結
1827年7月7日-05:30|インド| |||<就任>シャープラ国統治者(ラジャ・ヤティ・ラージ)「マド・シン」(~18450605没)
1827年7月7日 03:00|アルゼンチン| |||<辞任>リオ・デ・ラ・プラタ大統領「ベルナルディーノ・デ・ラ・トリニダード・ゴンザレス・リバダベア・イ・リバダベア」
1827年7月7日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ暫定大統領「アレハンドロ・ベセンテ・ロペス・イ・ブレンス」(~8. 18、国内の不満を收拾できず辞任、中央政府崩壊)
1827年7月14日 04:00|米領ガザン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロ 総督代理「Peter Carl Frederik von Scholten」(1期目~18310424)
1827年7月15日 04:00|チリ| |||<就任>チリ共和国大統領代行「フランシスコ・ラモン・デ・ビキューナ・ラライン」(~10. 19)
1827年7月17日 00:00|イギリス| |||<死去>16代モントゴメリー伯「ジョージ・ダグラス」
1827年7月17日 00:00|イギリス| |||<就任>17代モントゴメリー伯「ジョージ・ショルト・ダグラス」(~18580331死去)
1827年7月26日 06:00|アメリカ| |||チェロキー族、成文憲法を制定、チェロキー共和国建国
1827年8月-05:30|インド| |||<就任>ファリットコト国統治者(サルダール)「ハ・ハール・シン」(~18460415)
1827年8月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「アブドゥル・ムタリブ・ブン・ガリフ」(1度目~9月)
1827年8月-03:00|サウジアラビア| |||<退任>メッカ・シャリフ「ヤヒヤ2世・イブン・スルール」
1827年8月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクボ・ワリス(総督)「Mehemet Emin Rauf Pasha」(~1828年)
1827年8月 00:00|イギリス/ブラジル| |||英・ブラジル通商条約が成立。英国からの輸入関税を最高15%とする条項が継続される。さらに在ブラジルの英国人商人に対する裁判権も引き続き英国人裁判官が保有することとなる
1827年8月8日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリス連合王国第23代首相「ジョージ・カンギン」57歳(誕生17700411)
1827年8月14日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ 総督代理「ヒュー・ラムリー」(1期目~18280505)
1827年8月14日 00:00|カンビア/ガナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ 総督(シエラレオネ 総督) 代行「ヒュー・ラムリー」(1回目~18280505)
1827年8月14日 04:00|アルバ/オランダ| |||<死去>アルバ 島司令官「Simon Plats」
1827年8月14日 04:00|アルバ/オランダ| |||<就任>アルバ 島司令官代理「Johan Frederik Waters Gravenhorst」(⇒1829年司令官~1833年)
1827年8月18日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア| |||<就任>ノーフォーク島司令官「Thomas Wright」(~18281126)
1827年8月18日 03:00|アルゼンチン| |||<辞任>リオ・デ・ラ・プラタ暫定大統領「アレハンドロ・ベセンテ・ロペス・イ・ブレンス」国内の不満を收拾できず、中央政府崩壊
1827年8月18日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>外交関係委任ブエノスアイレス 総督「マヌエル・クリスプ・ロペル・ナベ・ト・レゴ・サラス」(2回目~18281201)
1827年8月19日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「サルタムラの市長」》
1827年8月22日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領「ルイス・ミグuel・デ・ラ・マール・イ・コルサール」(18280420まで行政権を担当する共和国大統領~18290606)
1827年8月22日-09:00|日本| ||文政10年7月|<刊行>蘭学者・青地林宗、日本最初の物理学書「気海観瀾」
1827年8月27日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>サントマリア島ナタリ長官「Afonso de Vasconcelos e Sousa da Camara Caminha Faro e Veiga」
1827年8月27日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>サントマリア島ナタリ長官「Antonio de Vasconcelos e Sousa da Camara Caminha Faro e Veiga」(~18320604)
1827年8月31日 00:00|イギリス| |||<就任>イギリス連合王国第24代首相「初代ゴートリッチ子爵フレデリック・ジョン・ロビンソン」トリー党(~18280121)
1827年8月31日-09:00|日本|愛知県田原市|文政10年7月10日|<死去>三河田原藩12000石「三宅康明」病死(28歳)⇒養子「三宅康直」が継ぐ(⇒嘉永3(1850)年11月11日、隠居)
1827年9月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「ハムマド3世・イブン・アブドゥル・ムイン」(1度目~1836年)
1827年9月3日-05:30|インド| |||<就任>ファルタン国統治者(ナイク)「バジヤジ・ラオ・ナイク・ニハルカル2世」(~18280517没)
1827年9月7日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国首相「カルロス・デ・ホノリオ・ゴウバ・イ・デ・ウラ」(~18280226)
1827年9月9日-09:00|日本| ||文政10年7月19日|<死去>初代富士田音蔵(不明)長唄唄方

1830迄 (2634件)

1827年9月10日 05:00|コロンビア| |||ホーリーバル、ボゴタにおいて共和国大統領の宣誓
1827年9月14日 06:00|ニカラガ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラガ暫定首長「ペドロ・ホセ・デ・サンタナ」(ホセ・アナクト・ホルヘ・ニエス(司令官)の権限下~12月)
1827年9月15日-09:00|日本|長野県小諸市|文政10年7月25日|<死去>信濃小諸藩15000石「牧野康明」(28歳)⇒養子「牧野康命」が継ぐ(⇒天保3(1832)年7月18日、死去)
1827年9月19日-09:00|日本| |||文政10年7月29日|幕府が、婦女と医師以外の日傘の使用を禁止
1827年9月20日-09:00|日本|岡山県倉敷市|文政10年7月30日|<死去>池田政恭(53歳)前備中生坂藩主
1827年9月22日 05:00|コロンビア| |||マヌエル・レオンの率いるホーリーバル軍、グアヤキルを奪還し、秩序を回復
1827年9月24日-05:30|インド/パキスタン| |||印度、パキスタンで地震、死者千人
1827年9月28日-05:30|インド| |||<就任>ペルー国ラジャ「ルマンガト・トウガシ・ラオ・フアル・カーシ・サヒブ」(~18600726没)、摂政「ハワニ・イ・ラジ・サヒブ」(~1835年没)
1827年9月30日 00:00|カナダ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールト=コースト総督「イェンス・ピーター・フリント」(~18280801)
1827年9月30日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ホンジュラス最高国家元首代行「シゲル・ウゼ・オ・フスタマン・テ・ラデ・イザバル」(~10.30)
1827年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ロド・グ・イコ・ベルツィ」(「ウ・インチェンツォ・フラスキ」)
1827年10月3日-09:00|日本|広島県福山市|文政10年8月13日|<死去>菅茶山、病没(80歳)儒学者、漢詩人
1827年10月5日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|文政10年8月15日|<交替>尾張藩61万9500石「徳川齊朝」隠居⇒養子「徳川齊温」が継ぐ(⇒天保10(1839)年3月20日、死去)
1827年10月9日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「マヌエル・フランシスコ・デ・ポルトガル・エ・カストロ」(~18350114)
1827年10月9日-09:00|日本|千葉県市原市|文政10年8月19日|<陣屋移転>安房国北条藩15000石「水野忠韶」⇒上総鶴牧藩15000石(⇒文政11(1828)年5月26日、死去)
1827年10月11日 00:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ植民地ゴールト=コースト準州総督代行「ヒュー・ラムリー(副総督)」(~18280310没)
1827年10月12日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>東方州知事「Luis Eduardo Perez」(~18280827)
1827年10月12日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ領ギアナ(オランダ・西インド会社)総督「ヨハネス・ゲラ・ファン・デ・ン」(~18280520)
1827年10月13日-09:00|日本|愛知県岡崎市|文政10年8月23日|<死去>三河奥殿藩16000石「松平乗義」(38歳)⇒10月16日、長男「松平乗利」が継ぐ(⇒嘉永5(1852)年3月5日、隠居)
1827年10月14日 00:00|イギリス| |||<死去>5代ギルフォード伯「フレデリック・ノース」
1827年10月14日 00:00|イギリス| |||<就任>6代ギルフォード伯「フランシス・ノース」(~18610129死去)
1827年10月19日-05:30|インド| |||<就任>アフガン国ラジャ「パト・シャー・エ・アワド、シャー・エ・ザマン」(「ナセル・アト=デ・イン・ヘイダル・ソレイマン・ジャハ・シャー」(~18370707没))
1827年10月20日-02:00|ギリシャ/エジプト/フランス/イギリス/ロシア/トルコ| |||ギリシア独立を支援するイギリス・フランス・ロシアの3国の連合艦隊が、ペルシア半島南端のペルシア湾で、トルコ(オスマン帝国)・エジプト連合艦隊を撃破
1827年10月21日-09:00|日本| |||文政10年9月|<出版>葛飾戴斗「万職図考」
1827年10月21日-09:00|日本|東京都港区|文政10年9月|前薩摩藩主島津重豪が、高輪の藩邸蓬山園内に聚珍宝庫(博物館)を設置
1827年10月22日-09:00|日本|兵庫県加東市|文政10年9月2日|<死去>播磨三草藩1万石「丹羽氏昭」(45歳)⇒長男「丹羽氏賢」が継ぐ(⇒嘉永6(1853)年12月8日、隠居)
1827年10月23日-03:30|イラン| |||ペルシアのタブリーズが陥落
1827年10月26日-04:00|アルメニア/ロシア| |||エリヴァンがロシアに占領された
1827年10月26日 00:00|イギリス| |||<死去>ペンブルック伯・モンゴメリー伯「ジョージ・オーガスト・ハーバート」
1827年10月26日 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルック伯・モンゴメリー伯「ロバート・ヘンリー・ハーバート」(~18620425死去)
1827年10月27日-01:00|赤道ギニア/イギリス| |||<就任>イギリス領フェルナント・ポ=監督「ウィリアム・フィッツ・ウィリアム・オーウェン」(~18290404)
1827年10月27日 11:00|日本|熊本県宇土市|文政10年9月7日|宇土郡宇土町大火(71軒焼失)
1827年10月30日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ホンジュラス最高国家元首「ホセ・シエロ・モ・デ・セラヤ・フィロス」(~11.27)
1827年11月 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「ロレンツォ・ムーア」(~18290117)
1827年11月1日-05:30|インド| |||<就任>ボンベイ知事「ジョン・マルカム」
1827年11月2日-05:30|インド| |||<就任>サハヤル国支配者(ナワブ)「ファイズ・カーン」(~18280112没)
1827年11月4日-06:30|コクス諸島| |||<就任>コクス(キリング)諸島統治者「John Clunies-Ross」(~18540526死去)
1827年11月6日-01:00|フランス| |||フランス、反対派の勃興に対し、ジョゼフ・ド・ガイエール首相は「議会」を解散
1827年11月8日-08:00|中国| |||清・道光7年9月20日|極東初の英字新聞の「カントン・レジスター」が発行される
1827年11月16日 05:00|コロンビア| |||コロンビア・ボゴタで地震M7.0、死者250
1827年11月19日-09:00|日本|群馬県沼田市|文政10年10月|伊勢町(西倉内町)勝善寺の茲豪、独力で愛宕尊宮を再建
1827年11月20日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ペドロ・デ・アラウジョ・リマ」(2回目~18280615)
1827年11月20日-09:00|日本|埼玉県川越市|文政10年10月2日|川越藩、講学所博喩堂を儲け開講
1827年11月21日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「劇場の都合不都合」(「ウ・イ・ヴァ・ラ・マンマ」)》
1827年11月21日-09:00|日本|大阪府大阪市|文政10年10月3日|<死去>国学者「尾崎雅嘉」

1830迄 (2634件)

1827年11月26日-01:00|ノルウェー| |||<就任>ノルウェー総督「フーテン伯爵ハルツァー・ホキスラウス」(~18291206没)
1827年11月27日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ホンジュラス最高国家元首代行「セ・フランシスコ・モラサン・ケサ」(1回目~18290307)
1827年11月28日-09:00|日本|兵庫県丹波市|文政10年10月10日|<交替>丹波柏原藩2万石「織田信憑」隠居⇒長男「織田信守」が継ぐ(⇒文政12(1829)年11月16日、隠居)
1827年11月29日-08:00|シガポール/イギリス| |||<就任>イギリス領海峡植民地シガポール駐在評議員「ケネス・マーチソン」(~18331206)
1827年12月 00:00|セネガル| |||<就任>ワロ统治者「アラ・ペンダ・アダム・サル・ムンシ」(1回目~1830年)
1827年12月1日-09:30|オーストラリア| |||オーストラリアの初の会員制図書館、シドニーのピット・ストリートにオープン
1827年12月7日-02:00|ラトヴィア| |||<就任>クールラント総督「クリストフ・エンゲル・レヒト・フォン・ブレバーン」(~18530522)
1827年12月18日-09:00|日本| ||文政10年11月|<出版>葛飾戴斗「校本庭訓往来」
1827年12月18日-09:00|日本|新潟県新発田市|文政10年11月|新発田藩、国元の講堂を移転改築し、学寮を併置
1827年12月23日-09:00|日本|静岡県富士宮市|文政10年11月6日|重須本門寺諸堂焼失
1827年12月24日-09:00|日本|東京都墨田区|文政10年11月7日|<大相撲>文政10年11月場所[江戸本所回向院](5日間)幕内優勝:(東大関)阿武松,6戦全勝
1827年12月25日-09:00|日本|岩手県一関市|文政10年11月8日|<死去>陸奥一関藩3万石「田村宗顕」(44歳)⇒翌年2月19日、次男「田村邦顕」が継ぐ(⇒天保11(1840)年8月23日、死去)
1827年12月26日-01:00|オーストリア| |||<初演>フランツ・ペーター・シュベルト《ピアノ三重奏曲第2番変ホ長調》
1828年-08:00|ブルネイ| |||<死去>ブルネイ・スルタン「ムハンマド・アラム」
1828年-08:00|インドネシア| |||<即位>サンバース国スルタン「Usman Kamal ud-din」(~1832年)
1828年-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ・スルタン「オマル・アリ・サイフデイン2世」(~18521120死去)
1828年-07:00|ベトナム| |||<死去>パントウランガ王「Po Klan Thu」
1828年-07:00|ベトナム| |||<即位>パントウランガ王「Po Phaok The」(~1832年)
1828年-05:30|インド| |||<就任>アガルコット国摂政「サタ・フ・ラタ・シンハ・ホ・ウ・ア・サ・ヒブ」(~1830年)
1828年-05:30|インド| |||<就任>サリカル国ラジャ「ガジ・ラジ・シン」(~1829年5月没)
1828年-05:30|インド| |||<就任>パンスタ国統治者「ラジャ・サ・ヒブ」「ハミルムシ」(~18610616没)
1828年-05:30|インド| |||<就任>ヒハト国統治者「ティワン」「カモト・シン」(~1846年)
1828年-05:30|インド| |||<就任>モルグイ国統治者「タル・サ・ヒブ」「フリタイラジ・ジヤジ」(~1846年没)
1828年-05:30|インド| |||<就任>ラサン国統治者「ターケル」「ライシンジ・マカシンジ」(~不明)⇒「ラルシンジ・ナルシンジ」(~1842年)
1828年-05:30|インド| |||<即位>アガルコット国ラジャ「シャハジ・ラオ2世マロジ・ラオ・ホーンシル・アッパ・サヘブ・ラジエ」(~1857年没)
1828年-05:00|パキスタン| |||<就任>ブル统治者「ナワ」「マタット・カン」アブの支配者がその地域を弟に与え創設(~1857年)
1828年-05:00|パキスタン| |||ブル国はカミールの宗主権下にあった(~1889年)
1828年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>バクタフジャン汗国ハ「ミルザ・アブド・アル・ガフル」(~1829年)
1828年-04:00|ロシア| |||アハバはロシアに再占領された(~1829年)
1828年-03:00|タンザニア/オマーン| |||<就任>ザンザバル主席大臣「セム・ビン・ハミド・ビン・ビン・ス・イド・ビン・ハマト・ビン・カラフ・アル・ハサート」(~1832年)
1828年-03:00|カンタタ| |||<就任>ブンヤ统治者「オムカマ」「ルワイ 2世」(~1850年頃)
1828年-03:00|マダガスカル| |||<就任>マダガスカル首相「ララ」⇒「アントリアンハ」(~1829年)
1828年-02:00|ミャンマー| |||<就任>カランガ统治者「マンボ」「チミニャンボ」(~1830年)
1828年-02:00|ジンバブエ| |||<就任>チャンガミール帝国統治者「マンボ」「チリサムフル2世チャンガミレ・ドレンベブ」(~1836年)
1828年-01:00|ベナン| |||<死去>アジヤチ・イェのフォン王国国王「フウェ」
1828年-01:00|ニジェール| |||<就任>アイル国統治者「アメナル」「ムハンマド・グマ・タフ・タリ」(2回目~1835年)
1828年-01:00|ベナン| |||<即位>アジヤチ・イェのフォン王国国王「トロン」(~1836年没)
1828年-01:00|カメルーン| |||<即位>マンダラ・スルタン国スルタン「イリヤ」(~1842年)
1828年 00:00|モリタニア| |||<就任>アトラル連合エミール「シェイ・アフマト・ウル・ウスマーン・ウル・アイタ」(~1861年)
1828年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「Charles Dallas」(~1834年)
1828年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アゾレス諸島総司令官「Henrique da Fonseca de Sousa Prego」(~1831年)
1828年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>南グリーンランド検査官「Carl Peter Holboell」(~1856年死去)
1828年 02:00|グリーンランド/デンマーク| |||<就任>北グリーンランド検査官「Ludvig Fasting」(~1843年)
1828年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<死去>ピエクス島軍司令官「Juan Rosello」
1828年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>ピエクス島軍司令官「Francisco Rosello」(~1832年死去)
1828年 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「Charles Louis Guillaume Bologne de Rougemont」(2期目~1831年)
1828年 04:00|サン・マルタン| |||<就任>フランス領サン・マルタン島自治体主席「Marigot」(~1832年)
1828年 06:00|カタラ/イギリス| |||<就任>イギリス領両カタラ総督「ジェームズ・ケンプト卿」(~1830年)
1828年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ハンス・フォン・ラインハルト」Con(4期目~12.31)
1828年1月1日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ドニゼッティ《歌劇「追放されたローマ人」》
1828年1月1日-09:00|日本|東京都千代田区|文政10年11月15日|<加増>清水徳川家「徳川恒之丞」賄料10万石(⇒天保5(1834)年、「徳川齊彊」に改名)
1828年1月3日-01:00|フランス| |||<辞任>フランス反動内閣首相「ジョセフ・ド・ウイレル」総選挙で敗れ

1830迄 (2634件)

1828年1月4日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国第7代首相「ジャン・バプティスト・シルヴェール・ガイエ・ウイコント・ド・マルティニャック」(~18290806)極右反動家

1828年1月5日-05:30|インド| |||<就任>サランガル国ラジャ「ティカン・サイ」(~同年)

1828年1月5日-09:00|日本| ||文政10年11月19日|<死去>小林一茶(65歳、宝暦13(1763)0505生)俳諧師

1828年1月7日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督「ルイ・ジャン・ギヨーム・ジュフラン」(~18290510)

1828年1月9日-09:00|日本|香川県高松市|文政10年11月23日|高松城下大工町の山川元助宅に、町人の教育機関として明善郷校授業開始

1828年1月10日-01:00|オーストリア| |||シュベールの「冬の旅」の第1部が初演

1828年1月12日 07:00|メキシコ/アメリカ| |||米墨、サハゴネ川を境界とする条約締結

1828年1月13日-09:00|日本|東京大学|文政10年11月27日|本郷の加賀藩上屋敷に赤門完成(東京大学/東京都)

1828年1月13日-09:00|日本|宮城県仙台市|文政10年11月27日|<死去>陸奥仙台藩62万石「伊達斉義」(30歳)⇒12月、養子「伊達斉邦」が継ぐ(⇒天保12年7月24日(18410909)、25歳で死去)

1828年1月17日-08:00|インドネシア| |||<即位>ジョグジャカルタ・スルタン「Hamengkubuwono5世」(2期目~18550605死去)

1828年1月17日-02:00|モルドバ/ロシア| |||<就任>ロシア領ベッサラビア州総督「アレクサンダー・ミハイロヴィチ・ツルゲーネフ」(~18280730)

1828年1月17日-08:00|中国| ||清・道光7年12月|清がジャバーハンギールを逮捕

1828年1月22日 00:00|イギリス| |||<就任>イギリス連合王国第25代首相「初代ウェリントン公爵アーサー・ウェルズリー」トリー党(1期目~18301116)

1828年1月24日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ総督「イオニス・アントニウ・カホデ・イストリアス」(~18311009暗殺される)

1828年1月28日-01:00|ドイツ| |||(独)南ドイツ関税同盟結成

1828年1月28日-01:00|オーストリア| |||<初演>フランツ・ペーター・シュベール《ピアノ三重奏曲第1番変ロ長調》

1828年2月 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍デラウェア級戦列艦「デラウェア」(2602t,ゴスポート造船所で建造)

1828年2月6日 00:00|イギリス| |||<死去>9代ケー伯「トマス・アースキン」

1828年2月6日 00:00|イギリス| |||<就任>10代ケー伯「メスヴェン・アースキン」(~18291203死去)

1828年2月7日-01:00|オーストリア| |||<初演>フランツ・ペーター・シュベール《ヴァイオリンとピアノのための幻想曲ハ長調D. 934, Op. 159》

1828年2月7日-01:00|ドイツ| |||<初演>ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン《「レオノレ」序曲第1番Op. 138》

1828年2月11日 00:00|イギリス| |||<死去>8代ブリッジウォーター伯「フランシス・ヘンリー・エジャートン」廃絶

1828年2月14日-01:00|ドイツ| |||(独)北ドイツ関税同盟結成

1828年2月15日-09:00|日本|愛知県岡崎市|文政11年|<交替>三河西大平藩1万石「大岡忠移」隠居⇒長男「大岡忠愛」が継ぐ(⇒安政4(1857)年10月5日、死去)

1828年2月15日-09:00|日本|沖縄県|文政11年|<隠居>琉球国王「尚こう」(⇒18340705死去)

1828年2月15日-09:00|日本|沖縄県|文政11年|<就任>琉球国摂政「尚育」(⇒18340705、国王即位⇒18471025、死去)

1828年2月15日-09:00|日本|群馬県沼田市|文政11年1月|沼田藩主土岐頼功、勝軍地蔵尊を祀るため雨宝殿を建立

1828年2月15日-09:00|日本| ||文政11年1月|<出版>歌川国安「四十八手最手鏡」

1828年2月15日-09:00|日本| ||文政11年1月|<出版>溪斎英泉「画本錦之囊」「絵本勇見袋」

1828年2月15日-09:00|日本| ||文政11年1月|<出版>五渡亭国貞・五湖亭貞景・葵岡北溪等「狂歌四季訓蒙図彙」

1828年2月21日 06:00|アメリカ| |||インディアナ語新聞の「フェロキー・フェニックス」が創刊

1828年2月22日-04:00|アルメニア/ロシア/イラン| |||<トルクマンチャイ条約>ペルシャが東アルメニア(エリヴァン)をロシアに割譲

1828年2月22日-04:00|アゼルバイジャン/ロシア/イラン| |||<カージョール朝イラン>、ロシアとトルクマンチャイ条約を締結し、第2次イラン・ロシア戦争が終結/コーカサスのアラス川以北がペルシャ領からロシア領へ変わる

1828年2月26日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国首相「カヴァル公ヌノ・カエターノ・アルヴァレス・ペレイラ・デ・モロ・エ・デ・モンテランシニョール」(~18310701)

1828年3月-09:30|オーストラリア| |||ニューサウスウェールズ政府、内陸都市と週2便の馬による郵便を設立/料金は、パラムツまで4ペンス、バサートまで1シリング/シドニー、ニューカッスル、ポート・マクマリー、ホバート間の船便は3ペンス/新聞は1ペニー

1828年3月 00:00|ポルトガル| |||ポルトガル王国国王ミゲル1世、上下両院を解散

1828年3月 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユースタティウス島暫定知事「Thomas Pieter Richardson」(~4月)

1828年3月1日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「アングルー侯爵ヘンリー ウィリアム・パジェット」(1回目~18290306)

1828年3月1日 04:00|キューバ/オランダ| |||<就任>オランダ植民地キューバ首領「Isaac Johannes Rammelman Elsevier」(~18330415)

1828年3月10日 00:00|ガーナ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ植民地ゴールド・コースト準州総督「ジェームズ(ジョージ)・ヒンゲストン司令官」(~6.5)

1828年3月11日 03:00|ブラジル| |||カブリトとサルバドルの奴隷達が、ピラハで蜂起

1828年3月12日 03:00|ブラジル| |||イタアンでジョアキン・ナゴの率いる奴隷150人の反乱。家屋を焼き警官隊と対決。20人が殺される

1828年3月12日-09:00|日本|福井県小浜市|文政11年1月27日|<死去>若狭小浜藩10万3500石「酒井忠進」(59歳)元寺社奉行・京都所司代・老中⇒3月13日、養子「酒井忠順」が継ぐ(⇒天保5(1834)年2月5日、隠居)

1828年3月13日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領ベంగాル総督代行(イギリス東インド会社)「ウィリアム・バタワース・ペイリー」(~7.4)

1828年3月16日-09:00|日本| ||文政11年2月|<刊行>農政学者・小西篤好「農業余話」

1828年3月16日-09:00|日本|東京都|文政11年2月|<襲名>6代横綱「阿武松緑之助」(~天保6年10月)

1828年3月18日-09:00|日本|愛媛県松山市|文政11年2月3日|松山藩第11代藩主・松平定通が文教興隆の基として

1830迄 (2634件)

藩校の講堂、明教館開校

1828年3月21日-03:30|イラン| |||<就任>ペルシャ大宰相「アブドラー・カーン・アミン・アルダウ」(2回目~18341023)
1828年3月23日-01:00|ドイツ| |||<初演>ルートヴィヒ・グアン・ベートヴェン《弦楽四重奏曲第16番ハ長調Op. 135》
1828年3月24日 04:00|トミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領トミニカ総督「ウィリアム・ニコライ」(2回目~18301004)
1828年3月25日-05:30|インド| |||<死去>ヒンカール国マハラジャ「スーラト・シン」
1828年3月25日-05:30|インド| |||<即位>ヒンカール国マハラジャ「ラタン・シン」(~18510807没)
1828年3月26日-01:00|オーストリア| |||<初演>フランツ・ペーター・シュベルト《弦楽四重奏曲第15番ト長調Op. 161》18260620~0630作曲
1828年3月26日 00:00|リベリア/アメリカ| |||<就任>アメリカ領リベリア植民地代理人代行「ロット・キャリー」(~11. 8)
1828年3月31日-05:30|インド| |||<就任>ウダイトール国統治者(マハラ)「ジャワン・シン」(~18380830没)
1828年4月-02:00|ルーマニア/ロシア| |||<就任>モルダヴィアとワラキアのデイクアン人のロシア議長「ゲラフ・フォートル・ペトロヴィッチ・パレン」(~18290202)
1828年4月-02:00|ルーマニア/ロシア| |||トブルジャをロシアが占領(~1836年)
1828年4月 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユースティウス島司令官「Willem Johan Leendert van Raders」(~18331120)
1828年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・マリア・ベッルツィ」「フランチェスコ・グイ・イ・ジヤンゾ」
1828年4月1日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事代行「ヘンリー・カプトース」(~17日)
1828年4月2日-09:00|日本|東京都|文政11年2月18日|<死去>3代坂東彦三郎(75歳)歌舞伎役者
1828年4月14日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督・最高司令官代理「トマス・ヘンリー・ブルック」(2期目~29日)
1828年4月14日 06:00|アメリカ| |||ノア・ウェブスターが『アメリカ英語辞典』を出版
1828年4月14日-09:00|日本| ||文政11年3月|<出版>歌川国安「相撲金剛伝」
1828年4月14日-09:00|日本| ||文政11年3月|<出版>歌川国丸・歌川国直等「活金剛伝」
1828年4月14日-09:00|日本|東京都中央区|文政11年3月|<初演>「拙筆力七似呂波」うちひとつ<供奴>[詞・三代目瀬川如皐、曲・四代目杵屋三郎助、振・西川扇蔵、藤間大助、中村座]
1828年4月16日-01:00|フランス/スペイン| |||<死去>スペインの画家ゴヤがフランスのボルドーで/82歳(誕生17460330)
1828年4月16日-09:00|日本|東京都墨田区|文政11年3月3日|<大相撲>文政11年3月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西前2)緋緋、7勝1敗2休
1828年4月17日 03:00|ブラジル| |||カショエーラで黒人奴隷の反乱, 6日間にわたり続く
1828年4月17日-09:00|日本|茨城県下妻市|文政11年3月4日|<死去>常陸下妻藩1万石「井上正民」(22歳)⇒養子「井上正健」が継ぐ(⇒弘化2(1845)年7月29日、29歳で死去)
1828年4月18日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事「チャールズ・フェリックス・スミス卿」(1期目~7. 26)
1828年4月18日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア共和国大統領代行「ホセ・マリア・ペレス・デ・ウルデ・イニェア・イ・グエルチャガ」(~8. 12)
1828年4月19日 00:00|イギリス| |||<死去>11代バカン伯「デイク・イット・スチュアート・アースキン」
1828年4月19日 00:00|イギリス| |||<就任>12代バカン伯「ヘンリー・デイク・イット・アースキン」(~18570913死去)
1828年4月23日-09:30|オーストラリア| |||オーストラリア競馬・ジョッキークラブ 設立
1828年4月24日-04:00|ロシア| |||(露)世界初のブラチ貨登場
1828年4月24日-09:00|日本|東京都品川区|文政11年3月11日|三味線芸師の名目で、品川宿に江戸町方の女を置くことが禁じられる
1828年4月25日-02:00|ルーマニア/ロシア| |||モルダヴィアはロシアに占領される(~18340715)
1828年4月26日-02:00|ギリシャ/ロシア/トルコ| |||ギリシャ独立戦争にからみ、オスマン帝国とロシアが戦争状態に入る(~19290914)
1828年4月27日 00:00|イギリス| |||リージェントパークにロンドン動物園開かれる
1828年4月27日-09:00|日本| ||文政11年3月14日|<死去>野呂介石(82歳)絵師
1828年4月28日 00:00|ポルトガル/イギリス| |||ポルトガルに侵攻していたイギリス軍が撤退
1828年4月28日 03:00|アルゼンチン/ブラジル/ウルグアイ| |||ブラジルとアルゼンチンの間でリオデ・ジャネイロ条約が締結/ウルグアイの独立が承認される
1828年4月29日-02:00|ルーマニア/ロシア| |||<就任>ワラキアのデイクアンのロシア副大統領(モルダヴィアの大統領に従事)「セモン・オンホ・ウイッチ・コトフスキー」(~1829年)
1828年4月29日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督・最高司令官「チャールズ・タラス」(~18360305)
1828年4月30日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||ポート・ナタール入植地が解散
1828年5月3日-09:00|日本|山口県周南市|文政11年3月20日|<死去>毛利就馴(79歳)前周防徳山藩主
1828年5月4日-09:00|日本|東京都中央区|文政11年3月21日|江戸三座焼失
1828年5月5日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ総督「デイクソン・デナム」(~6. 9)
1828年5月5日 00:00|ガンビア/カーナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)「デイクソン・デナム」(~6. 9)
1828年5月8日-05:30|インド| |||<就任>サハヤル国支配者(ナワブ)「ムナール・カーン」(~18340817没)
1828年5月12日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ドニゼッティ《歌劇「コロンダ」の女王アリナ」》
1828年5月14日-09:00|日本| ||文政11年4月|<出版>葵岡北溪「絵本庭訓往来」初編
1828年5月16日 03:00|日本|福島県会津若松市|文政11年4月3日|<会津若松文政11年の大火>昼九つ時(午前12寺ごろ)過ぎ、老町から出火, 当麻町、当麻中町、善久町と次々となめ、原之町から針屋町、紺屋町、大和町、桂林寺町

1830迄 (2634件)

へと延び、西名古屋町、北小路町、七日町と次々と灰にして、夕七時半時(17時半ごろ)鎮火/家屋950軒、寺院13か所が焼失

1828年5月17日-05:30|インド| |||ファルカン国はサラの一部(~18411203)

1828年5月18日 00:00|ポルトガル| |||ポルトの部隊、グロリア皇女とペドロ憲章への忠誠を宣言。内戦はミゲル側の勝利に終わる

1828年5月19日 06:00|アメリカ| |||J. Q. アダムズ、輸入品の関税を引き上げる1828年関税法に署名

1828年5月20日 04:00|BES諸島/シント・マルテン/アルバ/キュラソー/オランダ/スリナム| |||<就任>オランダ領西インド諸島総督「ハウルス・ロルフ・カンツァーラール」(~18311219)

1828年5月20日 04:00|BES諸島/シント・マルテン/アルバ/キュラソー/オランダ/スリナム| |||キュラソー、アルバ、ボネール、サバ、シントユスティウス、シントマルテン、オランダガイアナがオランダ西インド諸島として統合。総督としてオランダ領ギアナの知事(~18451029)

1828年5月20日-09:00|日本|兵庫県明石市|文政11年4月7日|<死去>松平直周(56歳)前播磨明石藩主

1828年5月23日-09:00|日本|埼玉県深谷市|文政11年4月10日|<死去>武蔵岡部藩20250石「安部信任」(20歳)⇒6月10日、弟「安部信古」が継ぐ(⇒天保13(1842)年10月7日、死去)

1828年5月24日 00:00|イギリス| |||<死去>ノサンプトン侯「チャールズ・コンプトン」

1828年5月24日 00:00|イギリス| |||<就任>ノサンプトン侯「スペンサー・ジョシュア・アルウィン・コンプトン」(~18510117死去)

1828年5月28日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島司令官兼管理者「Joseph Louis Michel Brue」(~18390910)

1828年5月28日-09:00|日本|東京都|文政11年4月15日|<死去>回船船頭、大黒屋光太夫(78)

1828年6月-05:30|インド| |||<就任>コリア国ラジャ「アモレ・シン・デオ」(~1864年没)

1828年6月 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ総督「ホセ・サルダ」(~1829年)

1828年6月3日 04:00|ボリビア/ペルー| |||ボリバル、グランコロンビアからの分離を唱えるペルー、ボリビアに対して開戦宣言/ガマラはボリバルについたホセ・デ・ラ・マル大統領を辞任させ、自ら大統領に就任、ガマラの選出した議会がこれを承認

1828年6月5日 00:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ植民地ゴールド・コースト準州総督「ヘンリー・ジョン・リケツツ司令官」(2回目~25日)

1828年6月6日-05:30|インド| |||印度、スリガール地震、死者1千

1828年6月6日-01:00|オーストリア| |||<初演>フアン・ペーター・シュベルト《歌劇「サラマカの2人の友」》

1828年6月9日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ副総督「ヒュー・ラムリー」(2期目~8.2)

1828年6月9日 00:00|カンビア/カナダ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ副総督)「ヒュー・ラムリー」(2回目~8.2)

1828年6月14日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン＝ヴァイマル＝アイゼナハ大公「カール・アウグスト」

1828年6月14日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝ヴァイマル＝アイゼナハ大公「カール・フリードリヒ」(~18530708死去)

1828年6月15日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ホセ・クレメント・ペレイラ」(~18291104)

1828年6月15日-09:00|日本|群馬県富岡市|文政11年5月4日|<死去>前田利以(61歳)前上野七日市藩主

1828年6月17日-04:00|モリシャス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モリシャス総督・最高司令官「チャールズ・コルヴ・イル卿」(~18330131)

1828年6月17日-01:00|パチカン| |||<就任>パチカン枢機卿国務長官「トマーゾ・ベネッティ」(1回目~18290210)

1828年6月22日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アゾレス諸島総司令官「暫定政府:Joao Jose da Cunha Ferraz(主席)/Jose Jacinto Valente Faria/Jose Rodrigues de Almeida/Manuel Joaquim Nogueira」(~10月)

1828年6月22日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク暫定知事「Jean Etienne Barre」(~1829.6)

1828年6月23日 00:00|ポルトガル| |||<廃位>ポルトガル王「マリア2世」(9)ドン・ミゲル(26)により王位から追われイギリスに逃げる

1828年6月25日-08:00|中国| |||清・道光8年5月14日|清が新疆で反乱を起こして捕らえられていたカシュガル・ホジャ家の一族ジャーンギールを北京で処刑

1828年6月30日-02:00|ルーマニア/ロシア| |||ワラキアはロシアに占領される(~1834年7月)

1828年7月-02:00|トルコ/ロシア| |||カス地区をロシアが占領(~1829.9)

1828年7月1日 00:00|フェロー諸島/デンマーク| |||<就任>フェロー諸島知事(トスハウン)「Christian Ludvig Tillisch」(~1830年)

1828年7月4日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領ベンガル総督(イギリス東インド会社)「ベントインク卿ウィリアム・ヘンリー・キャハン・デ・イッシュ＝ベントインク」(1833年インド総督に改称~18350320)

1828年7月4日-09:00|日本|東京都|文政11年5月23日|<死去>浮世絵師・歌川豊広/64歳(歌川豊春の門人)

1828年7月5日 04:00|ボリビア/ペルー| |||ペルー、トゥンベスからパナマに至る海岸線を封鎖。ボリバルと対決。ボリバルはペルーに宣戦布告

1828年7月5日-09:00|日本|山形県天童市|文政11年5月24日|<陣屋移転>出羽国高島藩2万石「織田信美」⇒出羽国天童藩2万石(⇒天保7(1836)年8月4日、死去)

1828年7月7日-09:00|日本|千葉県市原市|文政11年5月26日|<死去>上総鶴牧藩15000石「水野忠韶」(68歳)⇒養子「水野忠実」が継ぐ(⇒天保13(1842)年1月29日、死去)

1828年7月11日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国首相「アントニオ・ヒポリタ・ダ・コスタ・エ・マチャド」ポルト反乱政府暫定理事会委員長(~7.1)

1828年7月11日 00:00|ポルトガル| |||<即位>ポルトガル王「ミゲル1世」(~18340506~18661114死去)ジョアン6世の子

1828年7月17日-09:30|オーストラリア| |||オーストラリア最初の雇用法(マスターズ・アント・サーヴ・アツツ法)制定される

1828年7月20日-05:30|インド| |||<就任>マハラジャ支配者(マハラ)「ラム・シン2世」(~18660327没)

1828年7月25日-09:30|オーストラリア| |||オーストラリア司法権法の改正。10人から15人の任命制の立法評議会の設置。立法

1830迄 (2634件)

評議会への立法権の付与を決める

- 1828年7月26日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事代行「ジェームズ・アレクサンダー・ファーカソン」(~18290310)
- 1828年7月27日-03:00|マダガスカル| |||<死去>マダガスカル王国君主「ラダマ1世」35歳
- 1828年7月30日-02:00|モルトバ/ロシア| |||<就任>ロシア領ベッサラビア州総督代行「エフゲラフ・ニコフォロフ・イチ・ゴルフツォフ」(~11. 2)
- 1828年8月-05:30|インド| |||<就任>パガル国統治者(ナ)「シグ・サラン・シン」(~18400116没)
- 1828年8月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Behram Mehmed Pasha」(~同年)⇒「Ispartali Ibrahim Pasha」(~1829年)
- 1828年8月-02:00|ギリシャ| |||サモス島ギリシャに編入(東スラブ[アトロン・スラフ]県の一部として~1830年7月)
- 1828年8月 04:00|刊| |||ピント政権、中道革新の傾向を持つ憲法を公布、連邦制を廃止/フレイル、政権を奪取。二度目の大統領に就任、間もなく引退。ふたたびピントが政権に就く
- 1828年8月1日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト総督代行「ハインリヒ・ゲルハルト・リンツ」(1回目~18310120)
- 1828年8月1日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トバゴ 総司令官、総督「サミュエル・シェファード・フランクウェル」(1回目~18291228)
- 1828年8月2日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド 暫定総督「ヴァンサン・フランソワ・スキピオン」(~14日)
- 1828年8月2日-01:00|イタリヤ| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「カーレのジャンニ」》
- 1828年8月2日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ副総督「サミュエル・J. スマート」(2回目~11. 11)
- 1828年8月2日 00:00|ガンビア/ガーナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ副総督)代行「サミュエル・J. スマート」(~11. 11)
- 1828年8月3日-03:00|マダガスカル| |||<即位>マダガスカル女王「ラウアルナ1世」(~18610816死去83歳)
- 1828年8月4日-05:30|インド| |||<死去>コチン国統治者(マハラジャ・ガンガ・ダラ・コウ・イラデ・イ・カリカル)「ケラウアルマ3世」イルラム・タン・プラン
- 1828年8月4日-05:30|インド| |||<即位>コチン国統治者(マハラジャ・ガンガ・ダラ・コウ・イラデ・イ・カリカル)「ラマウアルマ11世」(~1837年11月没)
- 1828年8月4日-01:00|オランダ/インドネシア| |||オランダが、ニューギニア島西部の併合を宣言
- 1828年8月5日 06:00|ニカラガア| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラガア首長「フアン・アルカ・エロ・デル・カステージョ・イ・グスマン」(2回目~1829年4月)
- 1828年8月6日-02:00|エジプト/ギリシャ/イギリス| |||エジプト総督ムハンマド・アリーが、イギリスと協定を結び、エジプト軍のギリシャからの撤退を決定
- 1828年8月9日-04:00|アゼルバイジャン| |||アゼルバイジャン、地震M5. 7、死者8千
- 1828年8月9日-09:00|日本|茨城県高萩市|文政11年6月29日|<死去>中山信情、病死(34歳) 常陸松岡藩主、水戸藩家老⇒水戸支藩の常陸府中藩から信守を養子に迎えて跡を継がせた
- 1828年8月10日-09:00|日本|愛知県岡崎市|文政11年6月30日|(~7月1日) 三河大水、矢作川大風雨にて満水となり矢作橋落ち、矢作村では堤防決壊し家屋流失200軒、14人死亡
- 1828年8月10日 03:00|日本|静岡県掛川市|文政11年6月30日|遠州掛川大風雨洪水、家屋流失29軒、同倒潰4軒、同半潰37軒、同浸水1386軒、田畑の損失は表高5万石の内2万690石余/天竜川大風雨にて堤防切れ洪水となり民家流失、死亡者多し
- 1828年8月10日 03:00|日本|静岡県静岡市|文政11年6月30日|(~7月1日) 駿河府中、二日続きの大風雨、出水あり城下の町々すべて浸水、付近の村々あわせて家屋流失30軒余、83人死亡/大井川、安倍川、富士川の各沿岸すべてで水害が発生
- 1828年8月10日 11:00|日本|長野県飯山市|文政11年6月30日|(~7月1日) 信州飯山大雨、千曲川、谷川など出水し、飯山藩家中長屋22棟、町家、農家とも113軒水押し入り倒潰/飯田も大風雨、城山の内所々崩壊、天竜川その他の川の洪水で、村々の田畑に砂入り、家屋30軒冠水、同流失15軒、同倒潰5軒、山塊崩壊39か所/江戸も大雨となり、東海道筋の出水あり、家屋流失、死亡者少なからず
- 1828年8月12日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア共和国大統領代行「ルイス・ミゲル・デ・ベラスコ・フランコ」(1回目~12. 18)
- 1828年8月12日-09:00|日本|大分県速見郡日出町|文政11年7月2日|日出は大雨洪水、家屋倒潰85軒、同破損357軒、その他村々の田畑冠水し死亡者あり
- 1828年8月12日-09:00|日本|宮崎県延岡市|文政11年7月2日|日向延岡では明け方より大風雨洪水、通常より6m余増水、城内、侍屋敷以下町家、農家など破損、堤防など大破
- 1828年8月14日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド 暫定総督「ジョセフ・マリー・エミニュエル・コルデイエ」(2回目~18290410)
- 1828年8月14日-09:00|日本|東京都|文政11年7月4日|<死去>絵師・狩野伊川院法印栄信(54歳) 木挽町家狩野派8代目
- 1828年8月18日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ナシク・パシャ」(~18310627)
- 1828年8月19日-09:00|日本|山形県|文政11年7月9日|(~12日) 出羽庄内地方に大雨が降り続き、川々が洪水となり、民家倒潰14軒、同流失3軒、同浸水3979軒、土蔵浸水188棟、橋流失295か所、同大破536か所、山塊崩壊24か所などの被害
- 1828年8月20日-05:30|インド| |||ラム・モハン・ローイがブラマ・サハ-を創設
- 1828年8月20日-01:00|イタリヤ| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「オリ伯爵」》
- 1828年8月20日 03:00|ウルグアイ/ポルトガル| |||サクラメントの新植民地は独立したウルグアイに組み込まれる
- 1828年8月23日-09:00|日本|静岡県|文政11年7月13日|天竜川で、7月1日の大雨で、山が崩れ自然ダムが出来ていた

1830迄 (2634件)

のが崩壊し、川が氾濫大洪水が起き12か村2400人～500人が死亡
1828年8月24日-10:00|パプアニューギニア/オランダ| |||オランダは、ニューギニア領有を宣言
1828年8月24日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス総督「Jose Maria Monteiro」(~18300420)
1828年8月24日-09:00|日本| |||文政11年7月14日<死去>初代石黒政常(69歳)装剣金工
1828年8月26日-09:00|日本| |||文政11年7月16日<死去>2代錦屋惣次(不明)長唄三味線方
1828年8月27日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>ウルグアイ知事兼暫定司令官「Luis Eduardo Perez」(~12.1)
1828年8月27日 03:00|ウルグアイ/アルゼンチン/ブラジル| |||「モンテビデオ条約」イギリスの仲裁の下に、モンテビデオ(現在のウルグアイ首都)で結ばれた/ウルグアイにあたる地域を巡ってブラジルとアルゼンチンとの間で行われていたアルゼンチン・ブラジル戦争に終止符を打った条約/ウルグアイ東方共和国の独立が承認された
1828年8月28日-09:30|オーストラリア| |||キング・ストリート、最高裁判所の建物完成
1828年8月28日 05:00|コロンビア| |||ホリーバルは長老会議の決定を受けコロンビアの全権を掌握
1828年8月29日-02:00|ギリシャ/フランス| |||モアをフランスが占領(~18330926)
1828年9月 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍フリゲイト「ハットソン」(1728t、18260823、ギリシャ向けのフリゲイトLiberatorをギリシャから購入、Smith & Dimonで建造⇒1844年、解体)
1828年9月5日-09:00|日本|長野県上田市|文政11年7月26日<死去>松平忠済(78歳)前信濃上田藩主
1828年9月6日-09:00|日本|長野県長野市|文政11年7月27日<死去>真田幸専(59歳)前信濃松代藩主
1828年9月9日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ケープ植民地知事「カール・レイス・ローリー・コール卿」(~18330810)
1828年9月15日 00:00|イギリス| |||<死去>初代アーン伯「ジョン・クライトン」
1828年9月15日 00:00|イギリス| |||<就任>2代アーン伯「アブラハム・クライトン」(~18420610死去)
1828年9月17日-09:00|日本| |||文政11年8月9日<文政11年子年の台風「シボルト台風」>(～10日)筑前では、福岡藩領で2353人死亡、家屋全潰2万2018軒、同半潰1万7132軒、船舶の損壊420隻余、そのほか福岡城の櫓大破、東照宮の回廊、松源院の客殿倒壊、筥崎宮の楼門大破などの被害/筑後では、久留米藩領で208人死亡、家屋全潰1万78軒/同柳川藩領で3000人余死亡、家屋全潰2630軒、同流失3200軒/肥前では、佐賀藩領で大風のさなか城下を始め各所で火災が起き、1万170人死亡、1万1373人負傷、家屋全潰3万5364軒、同焼失1677軒、同流失1512軒、同半潰2万57軒、船舶流失813隻/蓮池藩領では、大風雨と高潮により1719人死亡、家屋全潰2609軒、同流失380軒、同半潰1839軒、田畑の損失941町余(9.3平方km)の被害/同有田で強風にあおられて大火が起こり、1500軒余りが焼失/肥前長崎では、45人死亡、家屋全潰2780軒、船舶損壊283隻、石垣の損壊428か所、出島のオランダ屋敷も全潰/同大村藩領では353人死亡、町家全潰6715軒、同流失186軒、同半潰1276軒、侍屋敷全潰46軒、同半潰120軒、村々の役宅全潰22軒、船舶損壊1140隻/豊前中津藩領で洪水となり、17人死亡、607人負傷、家屋全潰2156軒
1828年9月18日 03:00|ブラジル| |||ブラジルで最高裁判所が創設される
1828年9月18日-09:00|日本|長崎県長崎市|文政11年8月10日|長崎奉行所が、ドイツ人医師シボルトの帰国時の所持品の中に、日本地図などの禁制品を発見(シボルト事件)
1828年9月18日-09:00|日本|広島県広島市|文政11年8月10日|暴風雨・洪水、広島領の流失倒壊家屋1603軒、損家1万2104軒、死者51人
1828年9月20日 00:00|イギリス| |||<死去>8代マー伯「ジョン・トマス・アースキン」
1828年9月20日 00:00|イギリス| |||<就任>9代マー伯「ジョン・フランシス・ミラー・アースキン」(⇒18291203兼11代ケー伯~18660619死去)
1828年9月22日-02:00|南アフリカ| |||<死去>ズール王国国王「シャカ・ズール」暗殺される
1828年9月24日-02:00|南アフリカ| |||<即位>ズール王国国王「ディンガネ・ヘンクセンガコナ」(~18400129死去)
1828年9月24日-01:00|ドイツ| |||ザクセンを中心に、中部ドイツ関税同盟が成立
1828年9月26日-09:00|日本|茨城県笠間市|文政11年8月18日<死去>常陸笠間藩8万石「牧野貞幹」(42歳)⇒次男「牧野貞一」が継ぐ(⇒天保11(1840)年11月27日、死去)
1828年9月28日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|文政11年8月20日|鶴岡八幡宮再建
1828年9月29日-09:00|日本| |||文政11年8月21日<死去>初代松井幸三(不明)歌舞伎作者
1828年10月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Rauf Mehmed Emin Pasha」(~1831.7)
1828年10月-01:00|ドイツ| |||<初演>ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン《弦楽四重奏曲第14番嬰ハ短調Op. 131》
1828年10月 03:00|アルゼンチン| |||アルゼンチンでは提案受入れをめぐり復員軍人の不満派により反乱、北西部ラ・リオハ州のファクト・キコが蜂起
1828年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ルイジ・ジャンニニ」「ジャコモ・アントニオ・ティニ」
1828年10月1日 03:00|ブラジル| |||地方行政法が制定される。地方の自主的傾向を抑えるため地方議会を閉鎖
1828年10月1日-09:00|日本|長崎県|文政11年8月23日(～24日)<文政第2次台風>夜半より翌朝にかけて再び大風雨/長崎市中潰家25軒、崩家49軒、船流失4艘、破損4艘、近郊9か村の被害総計は百姓潰家328軒、半潰家413軒、小屋潰304軒、庄屋宅半潰1軒、船打砕22艘
1828年10月4日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト司令官「フレデリック・フランシス・ルーデヴィヒ・ウルリッヒ・ラスト」(3回目~18330417)
1828年10月4日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アゾレス諸島総司令官「暫定委員会:Diocleciano Leao de Brito Cabreira(委員長)/Sebastiao Drago Valente de Brito/Jose Antonio da Silva Torres/Joao Jose da Cunha Ferraz」(~18290622)
1828年10月11日-02:00|ブルガリア/ロシア/トルコ| |||ロシア暦9月28日|3カ月の包囲の末、ロシア軍がオスマン帝国からヴァルナを奪取
1828年10月24日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「トパル・イェット・メフメト・パシャ」(1期目~18290128)
1828年11月 05:00|エクトル/ペルー| |||ペルー人のパント将軍、カカで反乱開始/ペルー軍、エクトル領を占拠

1830迄 (2634件)

1828年11月2日-02:00|モルトバ/ロシア| |||<就任>ロシア領ベッサラビア州総督「ニコライ・フ・ロコフィウ・イチ・フ・ラジエフスキー」(~18290324)

1828年11月3日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>アセンション島司令官「ウィリアム・ヘイト」(~18380415死去)

1828年11月3日-09:00|日本|三重県津市|文政11年9月26日|<死去>藤堂高邁(43歳)前伊勢久居藩主

1828年11月4日 06:00|アメリカ| |||サスカワシ州出身のアントニー・ジャクソンが、合衆国第7代大統領に選出される

1828年11月8日 00:00|リベリア/アメリカ| |||<就任>アメリカ領リベリア植民地代理人代行「ホルストン・マギブソン・ワーリング」(~12.22)

1828年11月11日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ副総督「ヘンリー・ジョン・リケッツ」(~18291218)

1828年11月11日 00:00|ガンビア/ガーナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ副総督)「ヘンリー・ジョン・リケッツ」(~18291218)

1828年11月12日-07:00|ラオス/タイ| |||<死去>ヴァンチャン王「セーターティラート3世(チャオ・アヌオン)」バンコクで処刑され、ヴァンチャン王国はサイアムにより併合される

1828年11月16日-09:00|日本|東京都中央区|文政11年10月10日|天文方兼書物奉行高橋景保らが、秘かに地図などをシボルトに与えた罪で捕らえられ伝馬町牢屋敷に投獄

1828年11月18日-09:00|日本|愛媛県松山市|文政11年10月12日|松山城下、藤原弓の町に火災があり211軒を焼く

1828年11月18日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|文政11年10月12日|<死去>大和高取藩25000石「植村家長」(76歳)⇒長男「植村家教」が継ぐ(⇒嘉永元(1848)年5月、隠居)

1828年11月19日-01:00|オーストリア| |||<死去>オーストリアの作曲家フランツ・シューベルト/31歳(誕生17970131)

1828年11月26日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア| |||<就任>ノーフォーク島司令官「Robert Hunt」(~18290217)

1828年11月30日-09:00|日本| |||文政11年10月24日|<死去>7代木村庄之助(不明)大相撲立行司

1828年11月30日-09:00|日本|東京都墨田区|文政11年10月24日|<大相撲>文政11年10月場所[江戸本所回向院境内](10日間)幕内優勝:(西関脇)緋緋,8勝0敗2休

1828年12月 03:00|アルゼンチン| |||軍隊の一部が政府に抗議し反乱/ドレーゴ知事を捕らえ処刑/中央集権派のファン・ラバジェ將軍を指導者とする

1828年12月1日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>外交関係委任ブエノスアイレス暫定総督「ファン・ガロ・デ・ラバジェ・イ・ゴンサレス・ボルトロ」(~18290813、辞任)

1828年12月1日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>ウルグアイ東方共和国暫定主席「Joaquin Suarez」(~22日)

1828年12月2日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>モンテビデオ総督兼総司令官代理「Joaquin Luis Miguel Suarez de Rondeolo y Fernandez」(~22日)

1828年12月3日 00:00|カリブ諸島| |||<死去>スペイン王国フェルベントウ島永続的軍政知事「Agustin de Cabrera Bethencourt Sanchez Dumpierrez」

1828年12月4日 00:00|イギリス| |||<死去>2代リヴァプール伯「ロバート・バンクス・ジェンクソン」

1828年12月4日 00:00|イギリス| |||<就任>3代リヴァプール伯「チャールズ・セシル・コープ・ジェンクソン」(~18511003死去)

1828年12月5日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ総督「チャールズ・ウィリアム・マクスウェル」(3度目~18320111)

1828年12月9日 00:00|イギリス| |||<死去>ハンティントン伯「ハンス・フランシス・ヘイステイングス」

1828年12月9日 00:00|イギリス| |||<就任>ハンティントン伯「フランシス・テオフィロス・ヘンリー・ヘイステイングス」(~18750913死去)

1828年12月13日-09:00|日本|大阪府和泉市|文政11年11月7日|<交替>和泉国伯太藩13500石「渡辺則綱」隠居⇒次男「渡辺潔綱」が継ぐ(⇒弘化4(1847)年5月23日、隠居)

1828年12月17日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督代行「ウィリアム・ヒージョー・マニングス」(4回目~18291109)

1828年12月18日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア共和国大統領「ペドロ・ブランコ」(~31日)、代行「セルバン・デ・ロアサ・パチエコ・サルガド」(~26日)

1828年12月18日-02:00|日本|新潟県|文政11年11月12日|<文政11年越後三條地震>卯の下刻(7時ごろ)、越後三條南西部を震源とするマグニチュード6.9の内陸型大地震/三條、燕、見附から長岡に至る信濃川下流域の平野部に大きな被害/三條で家屋全潰439軒、205人死亡/燕で家屋全潰269軒、221人死亡/見附で家屋全潰545軒、127人死亡/今町で家屋全潰300軒、60人死亡/与板で家屋全潰263世帯、同焼失17世帯、34人死亡/脇野で家屋全潰161軒、5人死亡など/長岡では城内の石垣が崩れ、本丸、二之丸などの門や塀、建物が全潰及び大破し、城下と郷中(郊外)も含め家屋全潰3660軒、442人死亡/北西に位置する新発田藩領でも家屋全潰1770軒、同半潰695軒、225人死亡/被害は全体で家屋全潰1万3149軒、同焼失1200軒、同半潰3639軒、同大破6127軒。土蔵全潰309棟、同半潰175棟、同焼損284棟、同大破326棟。寺社全潰91か所、同半潰38か所、同焼損8か所、同大破159か所。1681人死亡。橋梁の落下55か所、同損潰75か所、道路決壊6200間(約11km)以上、堤防決壊3万8000間(69km)以上、田畑損壊1250町歩(12.4平方km)以上。山崩れ750か所余

1828年12月22日 00:00|リベリア/アメリカ| |||<就任>アメリカ領リベリア植民地代理人「リチャード・ランドール」(~18290419没)

1828年12月22日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>ウルグアイ東方共和国暫定司令官兼知事「Jose Rondeau」(~18300417)

1828年12月28日-09:00|日本|大阪府大阪市|文政11年11月22日|<就任>大坂城代「太田摂津守資始」(~天保2.5.25)

1828年12月28日-09:00|日本|京都府京都市|文政11年11月22日|<就任>京都所司代「本庄宗発」(⇒1831(天保2年05月25日))

1828年12月29日-09:00|日本|東京都千代田区|文政11年11月23日|<就任>西の丸老中「水野忠邦」(京都所司代だった~天保14年閏9月13日)

1829年-12:00|タリシ・ツナ| |||<即位>タリシ王「Takala」(~1830年)

1829年-08:00|インドネシア| |||<即位>パク・アラマン君主「Pakualam2世」(~1858年)

1829年-07:00|タイ| |||<即位>ラムハーン国王「ワヤンランシー」(~1835年)

1829年-05:30|インド| |||<就任>チャルカリ国ラジャ「ラン・シン」(~1860年没)、摂政「デューン・マダン・シン」(~1835年)

1830迄 (2634件)

1829年-05:30|インド| |||<就任>トラヴァンコール藩王「ラーマ・ヴァルマ2世」(~18461227)
 1829年-05:30|インド| |||<就任>ハバサウンタ国統治者(チョベイ)「アチャルジュ・シン」(~不明)、摂政「ジラット・プーラサト」(~1840年)
 1829年-05:30|インド| |||<就任>ハバタデイ国支配者(ナワブ)「アクバル・アリ・カーン」(~18620303没)
 1829年-05:30|インド| |||<就任>ヒンドル国ラジャ「ハリハル・シン・マルドラーシ・ジヤガデブ」(~1841年)
 1829年-05:30|インド| |||<就任>ラムドゥルク国摂政「ラニ・ラタ・バイ」(~1857年没)
 1829年-05:30|インド/イギリス| |||カシ国(最終的には25州)がイギリスの保護下に置かれる(~1841年)
 1829年-05:30|インド| |||ジャンプゴダ国をバローダが占領(~1838年)
 1829年-05:00|パキスタン| |||<就任>カイルプール国対立ミール「モハラク・アリ・カーン」(~1839年)
 1829年-05:00|パキスタン| |||<就任>ミルプール国ミール「シル・モハマト・イブン・タロ」(~18430212)
 1829年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>シバルガン汗国ハキム「ルスタム・カーン(⇒1846年、フサイン・カーン)」(~1851年)
 1829年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>アフガニスタン大王(パトシャー・ヘラート)「カムラン・シャー」(~1842年没)
 1829年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>バタフジャン汗国ハン「ムラト・ベグ」(~1832年)
 1829年-04:00|オマーン| |||<死去>スファール・スルタン「サイード・ムハンマド・ハナキル・エシヤブ」
 1829年-04:00|UAE/イギリス| |||<就任>イギリスのシャルジャ在住土着代理人「Mulla Husain」(~1849年)
 1829年-04:00|ジョージア/ロシア| |||ゲリア公国がロシア帝国へ編入
 1829年-04:00|オマーン| |||スファールはオマーンに併合(オマーン)
 1829年-03:30|イラン| |||マクガヘルシャに再編入
 1829年-03:00|モロッコ| |||<死去>マオレ・スルタン国スルタン「マナ・アマディ・ビン・ホイ・コンボ」
 1829年-03:00|マダガスカル| |||<就任>マダガスカル首相「レインメイ」(~1830年)
 1829年-03:00|モロッコ| |||<即位>マオレ・スルタン国スルタン「ホイ・コンボ・ビン・アマディ」(~1832年)
 1829年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<死去>キエフ軍総督兼キエフ行政区域民事主席管理者「Pyotr Fyodorovich Zheltukhin」
 1829年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Ahmed Bey」(~1830年)
 1829年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>キエフ軍総督兼キエフ行政区域民事主席管理者「Boris Yakovlevich Knyazhnin」(~18320203)
 1829年-01:00|チュニジア| |||<就任>フサイン朝大法官「ラシッド・アル・ジャキール・アル・タバア」(~1837年)
 1829年-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「サンタ・コンパ・ダン男爵・ホセ・マリア・デ・ソウザ・マセド・アルメイダ・エ・ダ・アスコンセロス」(~18340625)
 1829年-01:00|モロッコ/フランス| |||<就任>モロッコ総督・国務院議長「オレス・ミシェル・アンジュ・ニコラ・マリー・フレディ・ド・サンタンブ・ロワーズ」(2回目~18390116)
 1829年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「ホセ・ジョアキン・ロペス・デ・リマ」
 1829年 00:00|モリタニア| |||<就任>トラルザ連邦エミール「ムハンマド・ウルト・ウマル・アル・ハビブ」(~1860年没)
 1829年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ司令官「カエターノ・ホセ・ノゾリーニ」(1回目~1830年7月)
 1829年 00:00|セネガル| |||<就任>ワタ・トーロ統治者統治者(アルマミ)「ユスフ・サー・リー」(10回目~1831年)
 1829年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「Sir James Frederick Lyon」(~1833年)
 1829年 05:00|ケイマン諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領ケイマン諸島主任判事「ジョン・Drayton」(~1842年)
 1829年 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ総督「ホセ・デ・ファブrega」(2回目~1830年)
 1829年 06:00|アメリカ| |||トレントハウス開業(ホーストン)<本格的な近代ホテルの始まり>
 1829年1月 05:00|エクトル/ペルー| |||ラ・マル将軍、反乱開始。ペルー軍8千が、エクトル領内に侵入。ペルー艦隊がグアヤキルを占領
 1829年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ニコラス・ルドルフ・フォン・ワッテンウイル」Mod(3期目~12. 31)
 1829年1月1日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア共和国大統領「ホセ・ミゲル・デ・ベラスコ・フランコ」(2回目、1. 31より代行~5. 24)
 1829年1月1日-09:00|日本|静岡県沼津市|文政11年11月26日|<加増>駿河沼津藩4万石「水野忠成」+1万石⇒5万石(⇒天保5(1834)年2月28日、死去)
 1829年1月4日-09:00|日本|東京都台東区|文政11年11月29日|<死去>酒井抱一(68歳)絵師、俳人
 1829年1月6日-09:00|日本|東京都|文政11年12月|<完成>岩崎灌園「本草図譜」(江戸で)
 1829年1月12日-01:00|イタリア| |||<初演>カエターノ・ド・ネッティ《歌劇「世襲貴族」》
 1829年1月17日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督「デヴィッド・スチュワート」(~18291218没)
 1829年1月20日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>サバ島副司令官代理「Richard Johnson」(~18300505死去)
 1829年1月21日-01:00|スウェーデン| |||<就任>エステルエートランド公「オスカ」(~18720918、スウェーデン王オスカル2世として即位)
 1829年1月28日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「レシット・メフメト・パシャ」(~18330218)
 1829年1月29日-09:00|日本|東京都|文政11年12月24日|<死去>兵法家、平山行蔵(70)
 1829年1月30日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サンサルバドル最高国家元首「ホセ・マリア・コルネリ・メリノ・ゲバラ」(~18320329)
 1829年1月31日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア共和国大統領「ホセ・アントニオ・デ・サンタ・クルス・イ・ビジャビセンシオ・イ・カラフマナ」(18310815まで暫定~18390220; 18361028~18390220、ペルー・ボリビア連邦の保護者)
 1829年2月2日-02:00|ルーマニア/ロシア| |||<就任>モルダヴィアとワラキアのデヴィアンのロシア議長「ピョートル・フョードロヴィチ・ジエルトウヒン」(~9. 14没)
 1829年2月4日-09:00|日本| |||文政12年|<完成>葛飾北斎「富嶽三十六景」
 1829年2月4日-09:00|日本| |||文政12年1月|<刊行>柳亭種彦(絵:歌川国貞)「倭紫田舎源氏」初編/大奥の生活を風刺した

1830迄 (2634件)

1829年2月4日-09:00|日本| ||文政12年1月|<出版>歌川国貞「三都俳優水滸伝」
1829年2月4日-09:00|日本| ||文政12年1月|<出版>葛飾北斎「忠義水滸画伝」
1829年2月7日-01:00|フランス| ||<刊行>フランス「ロマン主義」の詩人・小説家ウイクトル・ユゴー、「死刑囚最後の日」
1829年2月8日-09:00|日本|島根県安来市|文政12年1月5日|<死去>松平直行(76歳)前出雲母里藩主
1829年2月10日-01:00|バチカン| ||<死去>第252代ローマ教皇「レオ12世」68歳(誕生17600822)
1829年2月10日 04:00|バルバドス/イギリス| ||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督「James Lyon卿」(~18320721)
1829年2月10日 05:00|エクトル/ペルー| ||ケンカ、ペルー軍により占領
1829年2月10日-09:00|日本| ||文政12年1月7日|<死去>3代吉田文三郎(不明)人形浄瑠璃の人形遣い
1829年2月14日-04:00|ロシア/トルコ| ||ロシア暦2月2日|オスマン朝がロシアとアドリアノープル条約を締結
1829年2月17日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア| ||<就任>ノーフォーク島司令官「Joseph Wakefield」(~6. 29)
1829年2月19日 05:00|ジャマイカ/イギリス| ||<就任>英領サント・ヤコブ 総督「ヘルメア伯爵サマセット・ローリー・コリー」(~18320611)
1829年2月28日 05:00|コロンビア/エクトル/ペルー| ||ペルー、タルカの会戦でスクレ將軍率いるコロンビア軍に敗れ撤退、スクレ、ケンカを奪回
1829年3月-02:00|ルーマニア/ロシア| ||<就任>ワラキアのデ・イウ・アンのロシア副大統領(モルダヴィアの大統領に従事)「アレクサンドル・カルロウ・ウィッチ・ボシュニャク」(~1830年4月)
1829年3月 05:00|エクトル/ペルー| ||スクレとラマル將軍とのあいだにヒロン条約、ペルーとエクトルの境界線は副王領時代の境界で確定
1829年3月4日 06:00|アメリカ| ||<就任>アメリカ合衆国第7代大統領「アンドリュー・ジャクソン」民主党(~18370303)
1829年3月5日 08:00|ビトケン諸島/イギリス| ||<死去>イギリス領ビトケン諸島指導者「John Adams (アレクサンダー・Smith)」
1829年3月5日 08:00|ビトケン諸島/イギリス| ||<就任>イギリス領ビトケン諸島指導者「George Nobbs」(1期目~1832. 10)
1829年3月6日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿「ノーサンバーランド 公ヒュー・パーシー」(~18301223)
1829年3月7日 06:00|ホンジュラス| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国ホンジュラス最高国家元首代行「ディエゴ・ウイグ・ル・コナーニ」(~12. 2)
1829年3月8日 00:00|カンビア/イギリス| ||<就任>イギリス領バサスト司令官代行「ウィリアム・ハットン」(~8. 8)
1829年3月10日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トリニダード 知事「ルイス・ゲラント」(1期目~11. 20)
1829年3月11日-09:00|日本|岡山県岡山市|文政12年2月7日|<交替>備前岡山藩31万5千石「池田斉政」隠居⇒婿養子「池田斉敏」が継ぐ(⇒天保13年1月30日(18420311)、死去)
1829年3月11日-09:00|日本|東京都墨田区|文政12年2月7日|<大相撲>文政12年2月場所[江戸本所回向院境内](7日間)幕内優勝:(西大関)稲妻、6勝0敗1休
1829年3月16日-01:00|スペイン| ||スペイン・ムルシアで地震、死者6千
1829年3月20日-09:00|日本|東京都中央区|文政12年2月16日|<死去>高橋景保、シーボルト事件で捕縛後、伝馬町牢屋敷で獄死(45歳)天文学者
1829年3月21日-01:00|スペイン| ||スペイン・ムルシアで地震、死者2千
1829年3月24日-02:00|モルバ/ロシア| ||<就任>ロシア領モッサビア州総督「アキンフィ・イワノビッチ・ソコフスキー」(~18330417)
1829年3月26日-05:30|イント/デンマーク| ||<就任>東イント 諸島(トランカール)デンマーク領総督(ギュバーン)「ローリッツ・クリステンセン」(~18320514没)
1829年3月31日-01:00|バチカン| ||<就任>第253代ローマ教皇「ピウス8世」(~18301130死去)
1829年3月31日-01:00|バチカン| ||<就任>バチカン枢機卿国務長官「ジュゼッペ・アルバーニ」(~18301130)
1829年4月 06:00|ニカラグア| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラグア首長代行「ファン・エスピノーサ」(~18300510)
1829年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「カミッロ・ボネリ」「ピエトロ・ザーリ」
1829年4月1日 07:00|メキシコ| ||<就任>メキシコ合衆国大統領「ビセンテ・フェンケレ・サルトーニャ」(~18300204)
1829年4月2日-01:00|ドイツ| ||<死去>ヘッセン＝ホンブルク方伯「フリードリヒ10世」
1829年4月2日-01:00|ドイツ| ||<就任>ヘッセン＝ホンブルク方伯「ルートヴィヒ」(~18390119死去)
1829年4月4日-01:00|赤道ギニア/イギリス| ||<就任>フェルナンド・ポ 監督「エドワード・ニコルズ」(1回目~1830年)
1829年4月5日-09:00|日本|東京都江東区|文政12年3月2日|江戸深川三十三間堂通矢「五十間堂百射」で、小倉儀七(11歳)が91本(総矢数100中)を記録
1829年4月6日-01:00|ルウェー| ||<死去>ルウェーの数学者ニール・アーベル/26歳(誕生18020802)
1829年4月10日-05:30|イント/フランス| ||<就任>フランス領イント 総督「オーギュスト・ジャック・ニコラ・ピュル・ド・メー」(~18350503没)
1829年4月13日 00:00|イギリス| ||イギリス議会が、カトリック教徒に対する制限や社会的差別をなくす内容のカトリック教徒解放法を制定
1829年4月13日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国連合軍総司令官法の守護者「ホセ・フランシスコ・モラサン・ケサダ」(1回目~6. 25)
1829年4月13日 06:00|グアテマラ| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国グアテマラ暫定最高国家元首「マリア・ノ・ゼンノ」(~30日)
1829年4月17日 03:00|ブラジル| ||カンジョーラで新たに奴隷の反乱。反乱は5日間にわたり続き、敗北後はほとんどの参加者がそのまま逃亡
1829年4月17日-09:00|日本|福井県福井市|文政12年3月14日|福井城下で火事、町家141軒など焼失
1829年4月19日 00:00|リベリア/アメリカ| ||<死去>アメリカ領リベリア植民地代理人「リチャード・ランドール」
1829年4月19日 00:00|リベリア/アメリカ| ||<就任>アメリカ領リベリア植民地代理人「ジョセフ・マリン・ジュニア」(1回目、18290914まで代行~18300227)
1829年4月19日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|文政12年3月16日|<交替>遠江横須賀藩35000石「西尾忠善」隠居⇒四男「西尾忠固」が継ぐ(⇒天保14(1843)年8月7日、隠居)

1830迄 (2634件)

1829年4月22日 06:00|ベリーズ/イギリス| |||<就任>ベリーズ 居留地管理者(ジャマイカの知事に従属) 代行「弁務官:マシヤル・ベネット/ウィリアム・ジェントル/ジョージ・ギブソン/ジョン・ウォルト・ロン・ライト/チャールズ・エヴァンス」(~6.25)

1829年4月22日-09:00|日本| ||文政12年3月19日|<死去>円山応瑞(64歳) 絵師

1829年4月23日 03:00|ブラジル/ウルグアイ| |||最後のブラジル部隊、モンテビデオを離れる。ブラジルによるウルグアイ占領が終結

1829年4月24日 02:00|日本|東京都|文政12年3月21日|(~22日)<江戸文政12年「己丑の大火」>巳の刻半(11時ごろ) 神田佐久間町二丁目河岸の材木商尾張屋徳右衛門所有の材木小屋(飼葉屋・牛馬のえさの草やワを商う店、徳右衛門の河岸物置とも)から出火、江戸市中はたちまち炎に包まれ一面火の海と化し、翌日朝鎮火/焼失した地域は江戸の中心部で、東神田の武家屋敷や町家一円のほか、東は両国橋ざわ浜町あたりの武家地から永代橋手前まで、西は須田町通りの東側から今川橋向本銀町、本町河岸御堀端通り、数寄屋橋外まで。南は新橋汐留に達した/被害は焼失面積259万2000坪(8.6平方km)、町数にして1500町、町家表通り11万3835軒、同裏通り15万5065軒、合計36万9512軒、土蔵2982棟、大名屋敷73軒、旗本屋敷130軒、奥医師屋敷30軒、町医師宅279軒が全焼。橋の焼失67か所、船の焼失は大船76隻、小舟482艘。町人死亡1856人、武家方死亡945人、合計2801人

1829年4月29日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>タリヤのロシア総督「Aleksandr Ivanovich Kaznacheyev」(~18370225)

1829年4月30日 06:00|グアテマラ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国グアテマラ最高国家元首「フアン・ホセ・マセノ・バルデ・イ・セバタン」(2回目~8.30)

1829年5月-05:30|インド| |||<就任>サランガル国ラジャ「シンガラム・シン」(~1872年没)

1829年5月-01:00|オーストリア| |||<初演>フランツ・ペーター・シュベルト《歌曲集「白鳥の歌」》

1829年5月1日-05:30|インド| |||<即位>アジツァー王朝ハイデラバード・ニザム「ナシル・ウッダウラ」(~18570516死去)

1829年5月1日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリタ暫定総督「Juan Serrano y Reyna」(~1830年)

1829年5月3日-09:00|日本| ||文政12年4月|<出版>葵岡北溪「三才月百首」

1829年5月10日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの医者で物理学者、考古学者トマス・ヤング/55歳(誕生17730613)

1829年5月10日-09:00|日本| ||文政12年4月8日|<出版>大石真虎・歌川国芳・溪斎英泉等「神事行燈」三編

1829年5月11日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督「ピエール・ド・ヴァル・ブロー」(~18310527)

1829年5月15日-09:00|日本|東京都|文政12年4月13日|<死去>初代・船遊亭扇橋(落語家)

1829年5月16日-09:00|日本|東京都|文政12年4月14日|<死去>2代桜田治助(62歳) 歌舞伎作者

1829年5月16日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|文政12年4月14日|<死去>松平忠宝(60歳) 前摂津尼崎藩主

1829年5月16日-09:00|日本|福井県福井市|文政12年4月14日|福井城下で火事、町家497軒・時鐘など焼失

1829年5月17日-01:00|ルウェー| |||ルウェーで憲法制定を祝う民衆が軍隊と衝突

1829年5月18日-09:00|日本| ||文政12年4月16日|<死去>2代花沢伊右衛門(不明) 浄瑠璃三味線方

1829年5月21日-05:30|インド| |||<就任>ニザム藩王「ナシル・ウッダウラ」(~18570517死去)

1829年5月21日-05:30|インド| |||<就任>ハイデラバード 国統治者(ニザム・アル・モルク)「サール・アブ・ニザム・ファルカンダ・アリ・アサフ・ジャ-4世」(~18570516没)

1829年5月21日-01:00|ドイツ| |||<死去>オルデンブルク大公「ペーター1世(ペーター・フリートリヒ・ルートヴィヒ)」74歳

1829年5月21日-01:00|ドイツ| |||<即位>オルデンブルク大公「アウグスト(パウル・フリートリヒ・アウグスト)」ペーター1世の子(~18530227死去69歳)

1829年5月25日 04:00|ケレタ/イギリス| |||<就任>ケレタ 総督代行「アントニー・ヒューストン」(2回目~1830年5月)

1829年5月27日-01:00|ドイツ| |||(独)南・北ドイツ関税同盟間に通商条約締結

1829年5月29日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの化学者ハフリー・デーヴィー/50歳(誕生17781217)/鉱山用ランプを発明

1829年6月 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 総督「ローレンツ・アンヘル・グリーガー」(18310402まで代行~1837年6月没)

1829年6月1日 03:00|仏領ギニア/フランス| |||<就任>ギニア総督「Louis Jean-Guillaume Jubelin」(1期目~18340424)

1829年6月2日-09:00|日本| ||文政12年5月|<出版>葵岡北溪「本朝狂歌英雄集」「狂歌桂花集」

1829年6月3日 00:00|カサリ諸島| |||<就任>スペイン王国フェルデナント島永続的軍政知事「Francisco Manrique de La ra del Castillo」(~18331231死去)

1829年6月4日 06:00|アメリカ| |||アメリカ海軍外輪フリゲイト「フルトン」(1450t) 爆発事故により破壊

1829年6月6日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領「アントニオ・グティエレス・デ・ラ・フエンテ(暫定最高首長)」(~9.1)

1829年6月9日-09:00|日本|新潟県新潟市|文政12年5月8日|直江津今町に米騒動が起こり、米屋・町役人宅9軒が打ちこわされる

1829年6月10日 00:00|イギリス| |||世界最初ボートレース、テムズ川のヘンリーで開催/オックスフォード 大がケンブリッジ 大に勝利

1829年6月10日 04:00|フォークランド/イギリス| |||<就任>イギリス領フォークランド 諸島総督「Louis Elie Vernet」(~18320910)

1829年6月13日-02:00|ルーマニア| |||モルダヴィアで初のルーマニア語誌が刊行

1829年6月14日-09:00|日本|福島県白河市|文政12年5月13日|<死去>松平定信(72歳、宝暦8(1758)1227生) 前陸奥白河藩主、元老中/寛政の改革を推進した

1829年6月15日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国首相「ペドロ・デ・スザ・ネスタイン」(1期目~18300315)

1829年6月17日-09:00|日本|栃木県さくら市|文政12年5月16日|<死去>喜連川恵氏(78歳) 前下野喜連川藩主

1829年6月18日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||西オーストラリア植民地が設立される

1829年6月19日 00:00|イギリス| |||イギリスのロバート・ピール内相が、強盗の横行するロンドンの治安を守るために警察を組織

1829年6月20日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Louis Henri de Saulces de Freycinet」(~18300201)

1829年6月23日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アゾレス諸島総司令官「Antonio Jose de Sousa Manuel de

1830迄 (2634件)

Lib Menezes Severim de Noronha (~18320604)
1829年6月25日 06:00|ベリス/イギリス| |||<就任>ベリス 居留地管理者代行(ジャマカの知事に従属)「アーチボルト・アレクサンダー・マクドナルド」(1回目~1830年1月)
1829年6月25日-09:00|日本|広島県広島市|文政12年5月24日|暴風雨・洪水, 広島領の流失倒壊家屋162軒, 死者14人
1829年6月26日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国上院議長「セルバンチオ・マリア・ペドロ・ロカド」(~18300916)
1829年6月28日-09:00|日本|静岡県藤枝市|文政12年5月27日|<死去>駿河田中藩4万石「本多正意」(46歳)⇒長男「本多正寛」が継ぐ(⇒安政7(1860)年2月17日、死去)
1829年6月29日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア| |||<就任>ノーフォーク島司令官「James Thomas Morisset」(~18340417)
1829年7月-01:00|スペイン/メキシコ| |||スペイン, メキシコ奪回をめざし攻撃開始/スペイン軍三千名がタンピコ要塞を占領
1829年7月1日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ 王国國務院副議長兼閣僚評議会議長「オラニエ・ナッソー公ウィレム・ヴァン・ナッソー(=ウィレム2世)」(~18401007)
1829年7月1日-09:00|日本|東京都|文政12年6月|江戸で赤痢などが流行し、多数の死者がでる
1829年7月2日-09:00|日本|和歌山県|文政12年6月2日|<死去>徳川重倫(84歳)前紀州藩主
1829年7月6日-01:00|イタリヤ| |||<初演>カエターノ・ド・ネッティ《歌劇「エリザベッタ」》
1829年7月6日-09:00|日本|東京都|文政12年6月6日|<死去>鹿津部真顔(77歳)狂歌師、戯作者
1829年7月7日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督代理「ロバート・ケプティン」(1期目~11. 2)
1829年7月7日 04:00|米領グアージン諸島/イギリス| |||<就任>セント・マース島・セントジョン島総督代理「Frederik Ludvig Christian Pentz Rosenorn」(1期目⇒2. 20総督~18300515)
1829年7月16日-09:00|日本| |||文政12年6月16日|<死去>近藤重蔵(59歳)旗本、探検家/5度にわたって蝦夷地探検をおこなった
1829年7月18日-09:00|日本|富山県魚津市|文政12年6月18日|魚津の町民が祭礼中止に反対して騒動をおこす
1829年7月21日 05:00|コロンビア/エクアドル| |||ホリーバルみずからのひきいるコロンビア軍, 苦戦の末グアヤキルを奪還
1829年7月25日-09:00|日本| |||文政12年6月25日|<死去>喜多古能(88歳)能役者
1829年8月 06:00|コスタリカ/ニカラグア| |||コスタリカは、中米連邦を一時脱退
1829年8月 06:00|エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス| |||ホンジュラス=エルサルバドル連合軍を率いたモラサン, 二千の兵をひきいりグアテマラに進攻。アルセを辞任に追い込み権力を掌握
1829年8月1日-09:00|日本| |||文政12年7月2日|<死去>鳥文斎栄之(74歳)浮世絵師
1829年8月3日-01:00|イタリヤ| |||<初演>ジョアキーノ・ロッシーニ《歌劇「ウィリアム・テル(グリエルモ・テル)」》
1829年8月4日-01:00|チェコ| |||レツェルの発明したスクリー船「ゾヴァ」号初航海
1829年8月4日-09:00|日本|福島県いわき市|文政12年7月5日|<交替>陸奥磐城平藩67000石「安藤信義」隠居⇒従弟「安藤信由」が継ぐ(⇒弘化4(1847)年6月5日、死去)
1829年8月8日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国第8代首相「ジュール・オギュスト・アルマン・マリー・ド・ポリーニャック」(~18300729)
1829年8月8日 00:00|ガボン/イギリス| |||<就任>イギリス領バサート司令官代行「ジェームス・ジャクソン」(~18300128)
1829年8月9日-09:00|日本| |||文政12年7月10日|幕府一朱銀通用始まる
1829年8月13日 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島市民知事「Manuel Genaro de Villota」(~1831. 7)
1829年8月13日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>外交関係委任サンタフェ総督「スタニスオ・ロペス」(~26日)
1829年8月18日 03:00|ウルクアイ| |||最初の自由主義的憲法が制定される
1829年8月21日-02:00|ザンビエ/ポルトガル| |||<就任>ザンビエ総督・総司令官「パウル・ヘンリッヒ・ミケル・デ・フリート」(~18320129没)
1829年8月22日-04:00|ロシア/トルコ| |||ロシア軍がエディルネを占領し、オスマン帝国の首都イスタンブールに迫る
1829年8月25日-09:00|日本|大分県佐伯市|文政12年7月26日|<死去>毛利高誠(54歳)前豊後佐伯藩主
1829年8月26日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>外交関係委任ブエノスアイレス総督「ファン・セルヴァティオ・モンテ・コンサレス」(1回目~12. 8)
1829年8月30日 06:00|グアテマラ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国グアテマラ最高国家元首「ペドロ・ジョセフ・モリーナ・マザリエゴス」(~18301027)
1829年9月 06:00|アメリカ/メキシコ| |||<就任>メキシコ領ニューメキシコ総督「Jose Antonio Chaves」(~1832年)
1829年9月1日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領「アグスティン・ガマ・イ・メシア」(1回目、12. 20まで暫定~18331220)
1829年9月5日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ハントン伯「チャールズ・スタンホープ」
1829年9月5日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ハントン伯「チャールズ・スタンホープ」先代の息子(~18510303死去)
1829年9月9日-09:00|日本|茨城県牛久市|文政12年8月12日|<死去>常陸牛久藩1万石「山口弘致」(49歳)⇒10月3日、長男「山口弘封」が継ぐ(⇒天保10(1839)年8月16日、隠居)
1829年9月12日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||オスマン帝国はギリシャ独立戦争の最終戦でペトラで敗北(オスマン帝国の守備隊は18330331にアクロポリスを出発)
1829年9月14日-04:00|ジョージア/ロシア/トルコ| |||オスマン帝国がホティ港をロシアに譲渡
1829年9月14日-04:00|ロシア/トルコ| |||ギリシャ解放戦争をめぐる始まったオスマン帝国とロシアの戦争が、エディルネ(旧アドリアノープル)で講和条約が結ばれて終結
1829年9月14日-02:00|ルーマニア/トルコ/ロシア| |||オスマン帝国とロシアの間のアドリアノープル条約によってワキアはドナウ川の北にある3つの小さなオスマン帝国の領土(ブライラ、ジュルジュ、トルヌ)を取り戻す

1830迄 (2634件)

1829年9月15日 07:00|メキシコ| ||メキシコ、奴隷制廃止を宣言
1829年9月16日 04:00|刊| ||<就任>刊共和国大統領「フランシスコ・ラモン・デ・ビ・キューナ・ラライン(最高首長)」(1回目~10.19)
1829年9月22日-09:00|日本|香川県高松市|文政12年8月25日|<死去>松平頼儀(55歳)前讃岐高松藩主
1829年9月23日 03:00|ブラジル| ||ブラジル銀行、資金難から倒産に追い込まれる
1829年9月24日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|文政12年8月27日|<死去>摂津尼崎藩48000石「松平忠誨」(27歳)⇒10月2日、叔父「松平忠栄」が継ぐ(⇒文久元(1861)年8月6日、隠居)
1829年9月28日-09:00|日本|東京都中央区|文政12年9月|<初演>「菊蝶車籠伎」<三ッ面子守>[作・津村治兵衛、曲・名見崎徳治、振・西川扇蔵]河原崎座
1829年9月30日-09:30|オーストラリア| ||オーストラリアで穴あきドルの使用禁止*推定残存数:リングが1000枚、ダブが200枚
1829年10月-01:00|スペイン/メキシコ| ||スペイン軍に伝染病患者が続出。戦闘力を失ったスペイン軍は降伏し撤退
1829年10月1日-01:00|サマリノ| ||<就任>サマリノ共和国執政「ジュゼッペ・メルクリ」「フィリッポ・フィリッポ」
1829年10月16日 03:00|ブラジル| ||バイ州のコレバ農場で奴隷の反乱
1829年10月17日 06:00|アメリカ| ||アメリカでデラウェア・チェサピーク運河が開通
1829年10月19日 04:00|刊| ||<就任>刊共和国大統領「フランシスコ・アントニオ・ベント・イ・デ・イラス・デ・ラ・フエンテ」(2回目~11.2)
1829年10月20日-09:30|オーストラリア| ||ニューサウスウェールズ、陪審法施行される。12人の市民からなる陪審裁判を一般法廷で保証
1829年10月22日-09:00|日本/ドイツ| ||文政12年9月25日|幕府シボルトを国外追放処分
1829年10月28日-09:00|日本| ||文政12年10月|<刊行>植物学者・伊藤圭介「泰西本草名疏」
1829年10月30日-09:00|日本|東京都|文政12年10月3日|<死去>2代坂東三津五郎(80歳)歌舞伎役者
1829年10月31日-09:00|日本|茨城県水戸市|文政12年10月4日|<死去>常陸水戸藩35万石「徳川斉脩」(33歳)⇒16日、弟「徳川斉昭」が継ぐ(⇒天保15(1844)年5月6日、強制隠居)
1829年11月 04:00|刊| ||フレイル、ふたたびクーデターを試みるが失敗
1829年11月 04:30|ペネラ| ||ペネラ議会、最高統領としてのパエスの再承認などを決議。パエス、ペネラのグランコロニアからの分離を宣言
1829年11月2日 04:00|バミューダ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督「ヒルゴ・ローブ・ターナー卿」(2期目~18300730)
1829年11月2日 04:00|刊| ||<就任>刊共和国大統領「フランシスコ・ラモン・デ・ビ・キューナ・ラライン(最高首長)」(2回目~12日)
1829年11月3日-09:00|日本|東京都江東区|文政12年10月7日|江戸深川三十三間堂通矢「四十間堂百射」、小倉儀七(13歳)が100本(総矢数100中)を記録。完全記録
1829年11月3日-09:00|日本|東京都江東区|文政12年10月7日|江戸深川三十三間堂通矢「四十五間堂千射」、小倉儀七(13歳)が965本(総矢数1000中)を記録
1829年11月3日-09:00|日本|東京都江東区|文政12年10月7日|江戸深川三十三間堂通矢「四十五間堂百射」、小倉儀七(13歳)が96本(総矢数100中)を記録
1829年11月4日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国主席大臣「カペラス侯爵セル・ホセ・カルネイロ・デ・カンボス」(3回目~18300812)
1829年11月6日-09:00|日本| ||文政12年10月10日|<死去>小金厚丸(不明)狂歌師、戯作者
1829年11月7日 04:00|刊| ||<就任>刊共和国大統領「ラモン・フレイル・イ・セラノ(サンティアゴ政府委員会議長)」(2回目~12.16)
1829年11月9日 05:00|バハマ/イギリス| ||<就任>バハマ植民地総督「ジェームズ・カーマイケル・ミス」(~18330601)
1829年11月10日 05:00|コロンビア| ||<就任>コロンビア大統領代理「エタニスオ・ベルナルド・ラ・イ・サントマリア」(~12.10)
1829年11月15日 04:00|セントビンセント/イギリス| ||<就任>イギリス領セントビンセント総督代行「ウィリアム・ジョン・ストルース」(~18310112)
1829年11月18日-09:00|日本|東京都墨田区|文政12年10月22日|<大相撲>文政12年10月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西大関(横綱))稲妻, 8勝0敗1分1休
1829年11月20日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トリニダード知事代行「リチャード・ド・ハーティ」(1期目~18300215)
1829年11月21日 06:00|カタラ| ||カタラで、エジントン・ライアソンが、クリスチャン・ガーデアン紙を発行
1829年11月23日-01:00|ドイツ| ||<死去>ライエン侯「フィリップ・フォン・デア・ライエン」63歳
1829年11月24日-02:00|ルーマニア/ロシア| ||<就任>モルダヴィアとワラキアのデイヴアンのロシア議長「パヴェル・ド・ミトリウ・イチ・キレフ」(~1834年7月)
1829年11月26日-09:00|日本| ||文政12年11月|<刊行>旗本・水野忠暁「草木錦葉集」
1829年11月26日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・道光9年11月|京畿・江原道一帯で海賊の変乱が発生
1829年11月27日 06:00|カタラ| ||エリ湖とワタリ湖をつなぐウェラント運河が開通
1829年12月-04:00|ロシア| ||<就任>ダゲスタンとチェチンのイマム「ガジール・ムハンマド・ブン・ムハンマド・アル＝ギムラギー」(~18321029没)
1829年12月2日 06:00|ホンジュラス| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国ホンジュラス最高国家元首「セル・フランシスコ・モラサン・サタ」(2回目~18300728)
1829年12月3日 00:00|イギリス| ||<死去>10代ケー伯「メスグエン・アースキン」
1829年12月3日 00:00|イギリス| ||<就任>11代ケー伯「ジョン・フランシス・ミラー・アースキン」9代マー伯(~18660619死去)
1829年12月4日-05:30|インド| ||ベンガル総督がヒンドゥー寡婦の殉死慣習の禁止条例を布告
1829年12月6日-01:00|ノルウェー| ||<就任>ノルウェー総督代行「ジョン・ス・コレット」(1回目~18330720)
1829年12月8日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>外交関係委任ブエノスアイレス総督「フアン・マヌエル・セル・ド・ミンゴ・オルティス・デ・ロサス・イ・

1830迄 (2634件)

ロペス・デ・オルネオ (1回目~18321217) プエルト・リコ州の大地主でガウチョの頭目、諸州の連邦派を糾合/プエルト・リコを占領、独裁政治が始まる

1829年12月11日-09:00|日本|兵庫県丹波市|文政12年11月16日|<交替>丹波柏原藩2万石「織田信守」隠居⇒養子「織田信古」が継ぐ(⇒天保13(1842)年3月9日、隠居)

1829年12月18日 00:00|シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス王領シエラレオネ副総督代理「オーガスタン・フィッツジェラルド・エヴァンス」(1期目~18300112)

1829年12月18日 00:00|ガンビア/イギリス| ||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ副総督)代行「オーガスタン・フィッツジェラルド・エヴァンス」(1回目~18300112)

1829年12月18日 04:00|セントルシア/イギリス| ||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「ジョージ・オーガスタス・エリオット・デ・メルステ」(~26日)

1829年12月18日 07:00|メキシコ| ||<就任>メキシコ合衆国大統領代行「ホセ・マリア・ボカネグラ・イ・ビラパント」(~23日)

1829年12月22日-09:00|日本|東京都|文政12年11月27日|<死去>4代鶴屋南北(75歳、宝暦5(1755)年生)歌舞伎・狂言作家/「東海道四谷怪談」などの作者

1829年12月23日 07:00|メキシコ| ||<就任>メキシコ合衆国大統領代行「暫定最高行政権:ホセ・ベトロ・ベレス・デ・スニガ/ルカス・イグナシオ・デ・パウラ・アマン・イ・エスカダ/ホセ・ルイス・キンタナル・イ・ソト」(~18300101)

1829年12月24日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トリニダード・トバゴ総督代行「アレクサンダー・ガードナー」(1期目~18300113)

1829年12月25日-09:00|日本|愛知県刈谷市|文政12年11月30日|<死去>三河刈谷藩23000石「土井利以」(34歳)⇒翌年1月21日、次男「土井利行」が継ぐ(⇒天保9(1838)年9月10日、死去)

1829年12月26日 04:00|セントルシア/イギリス| ||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「ロバート・マレン」(~18300101)

1829年12月28日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トリニダード・トバゴ総督代行「アレクサンダー・ガードナー」(1期目~18300113)

1829年12月28日-09:00|日本|福井県福井市|文政12年12月3日|丹生郡鮎川浦などの漁船17艘遭難、139人行方不明

1829年12月30日-09:00|日本|大阪府大阪市|文政12年12月5日|<死去>豊田貢。捕縛され、引き回しの上磔刑に処された(56歳)大坂のキリシタン

1830年-13:00|サモア/米領サモア| ||<即位>サモア王「マリエタ・ウ・アイヌ・タタ」(~1842年)

1830年-12:00|カリス・ツツ| ||<即位>ツツ王「Soane-Patita Vaimua Lavelua1世」(2期目~1858年)

1830年-08:00|フィリピン| ||<即位>マギンダナオ・スルタン「Sikandar Kudratullah ムハマト・ジャマル・Azam bin Raja Tiwa」(~1854年死去)

1830年-08:00|インドネシア| ||<即位>マタラム王国スルタン「Pakubuwono7世」(~18580510死去)

1830年-08:00|インドネシア| ||<退位>マタラム王国スルタン「Pakubuwono6世」(~18490602死去)

1830年-05:30|インド| ||<就任>アールコト国摂政「ジェイムソン」(~1838年)

1830年-05:30|インド| ||<就任>カチャリ国ラジャ「セホ・ティ・トララム・タセン」(~1832年)

1830年-05:30|インド| ||<就任>シハ国ラジャ「コ・ビント・シン」イギリス保護領として再興(2回目~1845年)

1830年-05:30|インド| ||<就任>ジャソ国統治者(デュワン)「イシュワリ・シン」(~1860年没)

1830年-05:30|インド| ||<就任>シグニ国統治者(ラオ)「ホ・バル・シン」(~1870年没)

1830年-05:30|インド| ||<就任>チュダ国統治者(タークル)「ライシンジ・アバシンジ」(~1854年)

1830年-05:30|インド| ||<就任>デナカール国ラジャ「バギラティ・マヒンドラ」(~1877年没)、摂政「サンタ・ライ」(~1844年)

1830年-05:30|インド| ||<就任>ハスター国ラジャ「ホ・バル・デオ」(~1853年没)

1830年-05:30|インド/イギリス| ||<就任>ケントール国シムラをイギリス領インドに割譲

1830年-05:30|インド/イギリス| ||<就任>ソハル国をイギリスが統治(~1833年)

1830年-05:00|パキスタン| ||<就任>ジャントル国支配者(カーン)「モハマト・アマン・カーン」建国(~1879年)

1830年-05:00|パキスタン| ||<就任>ラスベラ国ジャム・サハブ「ミール・カーン2世」(1回目~1869年)

1830年-04:30|アフガニスタン| ||<即位>アンクイ汗国ハン「アフダルアジズ・カーン」(~1835年)

1830年-04:00|アゼルバイジャン| ||<即位>イリス・スルタン「ム・サ・ベック」(~同年)⇒「ダニール・ベック」(1回目~1844年)

1830年-03:00|マダガスカル| ||<就任>マダガスカル首相「アントリア・ミハジヤ」⇒「ライニハロ」(~18521018没)

1830年-03:00|イエメン| ||<即位>カシーリ国スルタン「Ghalib ibn Muhsin al-Kathir」(~1880年)

1830年-03:00|ケニア| ||<即位>ハテ・スルタン国スルタン「Fumo Bakari ibn Shaykh, Mfalume」(~1840年)

1830年-03:00|コモロ| ||<即位>ムワリ・スルタン国スルタン「ラマテカ」マダガスカルからの移民が独立したスルタン国として設立(~1842年没)

1830年-03:00|サウジアラビア| ||<即位>アルハサガベジド首長国に占領される(~1838年)

1830年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレクサンドロポリス(総督)「Trabzonlu Ali Pasha」(~同年)⇒「Bendereli Selim Mehmed Pasha」(~1831.11)

1830年-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>ウクライニ・ホジミチ臨時総督「Yakov Alekseyevich Potyomkin」(~1831年死去)

1830年-02:00|キプロス/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領キプロス・ムハッシル「アリ・サイト」(~18311218)

1830年-02:00|モザンビーク| ||<就任>カラガ統治者(マンボ)「ジエカ」(~1849年)

1830年-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>ホロシヤ・ベツサラフ総督代理「Afanasiy Ivanovich Krasovskiy」(~1831年)

1830年-02:00|ジンバブエ| ||<就任>マリ統治者(マンボ)「チベ1世タベンゲルウェ」

1830年-01:00|フランス| ||<就任>ヌメル公「ルイ・シャルル」(~18960626死去)

1830年-01:00|赤道ギニア/イギリス| ||<就任>フェルナンド・ポ・監督代行「ジョン・ピー・クロフト」(1回目~1831年)

1830年-01:00|ニジェール| ||<就任>マティ国統治者(サルキン・カツナ)「ラウダ・タン・マガジ」(~1835年)

1830迄 (2634件)

1830年-01:00|ナジヱリア| |||<即位>オヨ王国アラフィン「アマト」(~1833年)
1830年-01:00|中央アフリカ| |||<即位>ダル・アル・ケティ国スルタン「ジュゲルトゥム(亡命したバギルミアの王子)」建国(~1870年頃)
1830年-01:00|アルジェリア| |||<即位>トゥゲルト・スルタン「イブラヒム3世」(~1831年)
1830年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「ジョアン・カブラル・ダ・クニャ・グット・ルフィム」(3回目)
1830年 00:00|トーゴ| |||<就任>カフ统治者(オホテ)「ウトゥン」(~1865年頃)
1830年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「Joaquim Bento da Fonseca」(~1834年)
1830年 00:00|フェロ諸島/デンマーク| |||<就任>フェロ諸島知事(トスハウ)「Frederik Ferdinand Tillisch」(~1837年)
1830年 04:00|英領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領ヴァージン諸島大統領「ジョン・Middleton Donovan」(~1837年)
1830年 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ総督「ホセ・ド・ミンゴ・エスピナル」(2回目~12月)
1830年 06:00|カタ/イギリス| |||<就任>イギリス領両カタ 総督「アイルマ-男爵マシュー・ホイットワース=アイルマ-」(~1835年)
1830年1月-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ 王国マニコ「ガルス5世」
1830年1月-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ 王国マニコ「アントリュ-2世」(~1842年没)
1830年1月 06:00|ベリス/イギリス| |||<就任>ベリス 居留地管理者(ジャマイカの知事に従属)「フランシス・コックハーン」(~1836年3月)
1830年1月 10:00|ホリネシア| |||<就任>マレバ 統治者「Te-Ma-puteo」(~18570620死去)
1830年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「エマール・フリートリヒ・フォン・フィッシャー」(~12. 31)
1830年1月1日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「フランシス・パワー」(~2. 1)
1830年1月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領「アサタシオ・フスタマンテ・イ・オセラ」(1回目、2. 4まで代行~18321226)
1830年1月3日-01:00|フランス| |||<創刊>タレーランやラ・ Fayetteが後援する「自由派」の新聞「ナショナル紙/編集者ティエールは、「名誉革命」を理想とし、「君臨すれども統治せず」の原則を打ち出し、「オルアン家」への政権交代を主張
1830年1月3日 05:00|コロンビア/ベネズエラ| |||<就任>コロンビアからの完全独立をもとめ反乱開始
1830年1月10日-09:00|日本|栃木県佐野市|文政12年12月16日|<加増>下野佐野藩13000石「堀田正敦」+3000石⇒16000石(⇒天保3(1832)年1月29日、隠居)
1830年1月12日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ副総督代理「アレクサンダー・マクレーン・フレイザー」(~18300425)
1830年1月12日 00:00|ガンビア/ガナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ副総督)代行「アレクサンダー・マクレーン・フレイザー」(~4. 25)
1830年1月13日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トバゴ 総司令官. 総督「サミュエル・シェファード・ブラッケウェル」(2期目~18330412)
1830年1月13日 04:30|ベネズエラ| |||<就任>ベネズエラ共和国国家元首「ホセ・アントニオ・パイス」大コロンビアから離脱独立(1期目⇒5. 27国家主席⇒18310411大統領~18350120)PC
1830年1月15日-09:00|日本| ||文政13年12月21日|<死去>歌川豊広(57歳)浮世絵師
1830年1月16日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ 領東インド 総督「Johannes van den Bosch」(~18330702)
1830年1月18日-09:00|日本|長崎県五島市|文政12年12月24日|<交替>肥前福江藩12530石「五島盛繁」隠居⇒長男「五島盛成」が継ぐ(⇒安政5(1858)年1月21日、隠居)
1830年1月25日-09:00|日本|セブン&アイ・ホールディングス|文政13年|初代十合伊兵衛が古着屋「大和屋」を大阪坐摩神社近くに開業
1830年1月25日-09:00|日本|富山県|文政13年|胃腸薬の「越中反魂丹」創製
1830年1月25日-09:00|日本| ||文政13年1月|<出版>葵岡北溪「狂歌東関駅路鈴」
1830年1月25日-09:00|日本| ||文政13年1月|<出版>歌川国貞「劇場一観頭微鏡」
1830年1月25日-09:00|日本| ||文政13年1月|<出版>喜多川豊春「拳独稽古」
1830年1月25日-09:00|日本| ||文政13年1月|<出版>柳川重信「狂歌百千鳥」
1830年1月25日-09:00|日本|大阪府大阪市|文政13年1月|<初演>「雁のたより」[作・金澤龍玉, (三代目歌右衛門)], 角の芝居
1830年1月28日-01:00|フランス| |||<初演>フランス・オペラ《歌劇「ラ・ディヴァー」》
1830年1月28日 00:00|ガンビア/イギリス| |||<就任>イギリス領バサースト副総督「アレクサンダー・フインデレー・ジュニア」(~4. 3)
1830年2月1日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「ジェームズ・アレクサンダー・ファカーソン」(1回目~18310110)
1830年2月1日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク暫定知事「Joseph Gerodias」(~同年)
1830年2月3日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||<議定書>によって、ギリシャがオスマン帝国から独立することが承認される
1830年2月7日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ドニゼッティ《歌劇「気遣いのふりをする人たち」》
1830年2月15日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事「ルイス・ゲラント卿」(2期目~5. 15)
1830年2月16日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サルバドル最高国家元首代行「ホセ・ダミアン・ウイヨル・タケインズ」(~25日)
1830年2月18日 04:00|チリ| |||<就任>チリ共和国大統領「フランツ・アンソニー・パスクアル・デ・ラ・アセンシオン・イステタ・グレイ・イ・ポルタレス」(~3. 31)
1830年2月19日 00:00|ガナ/イギリス| |||<就任>イギリス領ゴールド・コースト商人委員会総裁「George Maclean」(1期目~18360626)
1830年2月23日-09:00|日本| ||文政13年2月|<出版>葵岡北溪「三才雪百首」

1830迄 (2634件)

1830年2月25日-01:00|フランス| |||グイクトル・ユゴーの「エルネ」がパリのコメディ・フランセーズで上演される
1830年2月27日 00:00|リベリア/アメリカ| |||<就任>アメリカ領リベリア植民地代理人代行「ジョン・ウォレス・アンダーソン」(~4. 12)
1830年2月28日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ドニゼッティ《歌劇「Aの大洪水」》
1830年3月 05:00|エクトル/コロンビア| |||重税に苦しむキト州、独立を宣言しエクトルを名乗る/まもなくグアヤキル、ケンカが加わる
1830年3月1日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|文政13年2月7日|<交替>肥前佐賀藩32万石「鍋島齊直」隠居⇒十七男「鍋島直正」が継ぐ(⇒文久元(1861)年11月20日、隠居)
1830年3月11日-01:00|イタリア| |||<初演>グインチェンツォ・ベッリーニ《歌劇「キャピュレット家とモンターギュー家」》
1830年3月15日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国首相「ルイス・ダ・シルバ・ムンシニョ・デ・アルバケルク」(1期目~18310702)
1830年3月17日-01:00|ポーランド| |||<初演>フレデリック・フランソワ・ショパン《ピアノ協奏曲第2番ヘ短調Op. 21》
1830年3月18日-04:00|モリシャス| |||モリシャスのファラゲーが彗星C/1830F1(1830年の大彗星)発見
1830年3月18日-01:00|フランス| |||フランス、シャルル10世が下院を解散
1830年3月19日-05:30|インド| |||<就任>トリプーラ国ラジャ「クリシュナ・キショール・マニーヤ」(~18490403没)
1830年3月30日-01:00|ドイツ| |||<死去>ハーデーン大公「ルートヴィヒ1世」
1830年3月30日-01:00|ドイツ| |||<即位>ハーデーン大公「レオルト」(~18520424死去)
1830年4月-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ総督「イオニス・イリウ・マウロミリス(ラコニアで反乱)」(~5月)
1830年4月 05:00|コロンビア/エクトル| |||エクトル、大コロンビア連邦より脱退
1830年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・マルベリ」
1830年4月1日 04:00|チリ| |||<就任>チリ共和国大統領代行「ホセ・トマス・デ・オバージェ・ベサニョ」(~18310321)
1830年4月3日 00:00|カンビア/イギリス| |||<就任>イギリス領バサート副総督「ジョージ・レントール」(~18370920没)
1830年4月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン大公「ルートヴィヒ1世」76歳
1830年4月6日-01:00|ドイツ| |||<即位>ヘッセン大公「ルートヴィヒ2世」ルートヴィヒ1世の息子(~18480616死去)
1830年4月6日 06:00|アメリカ| |||アメリカでジョセフ・スミス、末日聖徒イエス・キリスト教会(モルモン教会)創設
1830年4月6日 07:00|メキシコ| |||メキシコ、アメリカ人のテキサス移住禁止法制定
1830年4月7日-09:00|日本|東京都墨田区|文政13年3月15日|<大相撲>文政13年3月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西大関(横綱))稲妻, 8勝0敗2休
1830年4月10日 03:00|ブラジル| |||サルバドル市内で奴隷の反乱。奴隷市場を襲撃。50人が殺され41人が捕らえられる
1830年4月12日-09:00|日本|千葉県野田市|文政13年3月20日|<死去>久世広運(32歳)下総関宿藩主
1830年4月13日 00:00|リベリア/アメリカ| |||<就任>アメリカ領リベリア植民地代理人代行「アンソニー・デヴィッド・ウィリアムズ・シニア」(1回目~12. 4)
1830年4月17日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>モンテビデオ総督兼総司令官「Juan Antonio Lavalleja y de la Torre」(2期目~11. 6)
1830年4月17日 04:00|チリ| |||チリで、保守党のデイエゴ・ホルヘスが新民主自由主義党との内戦に勝つ
1830年4月20日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス総督「Alvaro da Costa de Sousa e Macedo」(~18340713)
1830年4月23日-09:00|日本|徳島県徳島市|文政13年閏3月1日|四国阿波よりおかげ参り始まる
1830年4月25日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ副総督「アレクサンダー・G. ファントレイ」(~18320612)
1830年4月25日 00:00|カンビア/カナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ副総督)「アレクサンダー・G. ファントレイ」(~18320612)
1830年5月-01:00|オランダ/インドネシア| |||ジャワ戦争が終結し、オランダがジャワ全域を直轄領とする
1830年5月 04:00|グレナダ/イギリス| |||<就任>グレナダ総督「ジェームズ・キャンベル卿」(2回目~1831年6月)
1830年5月 06:00|コスタリカ/ニカラグア| |||コスタリカ、中米連邦に復帰
1830年5月1日 04:00|グアテマラ/フランス| |||<就任>グアテマラ知事「Louis Francois」(2期目~18310708)
1830年5月3日 05:00|エクトル| |||<就任>南コロンビア国最高長官(⇒8. 14暫定大統領⇒9. 22大統領)「ファン・ホセ・フロレス」(~18340910)
1830年5月4日 05:00|コロンビア/パナマ/エクトル/ベネズエラ| |||<辞任>コロンビア共和国大統領「シモン・ボリーバル」
1830年5月4日 05:00|コロンビア/パナマ/エクトル/ベネズエラ| |||<就任>コロンビア共和国大統領代行「トミンゴ・カイセド・イ・サンス・デ・サンタマリア」(1回目~9. 4)
1830年5月5日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<死去>サバ島副司令官代理「Richard Johnson」
1830年5月5日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>サバ島副司令官「Thomas Dinzey Winfield」(~18331120)
1830年5月10日 06:00|ニカラグア| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラグア首長「ホセ・デ・イオニシオ・デ・ラ・トリニダード・デ・エレラ・イ・デ・イマス・デル・ヴァッレ」(~1833年11月)
1830年5月13日 05:00|エクトル/コロンビア| |||大コロンビアから南コロンビア国独立
1830年5月15日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>セントトマス島・セントジョン島総督代理「Lewin Jurgen Rothe」(1期目~6. 30)
1830年5月15日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード知事代行「リチャード・ドハーティ」(2期目~6. 3)
1830年5月16日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの数学者・物理学者フーリエ/62歳(誕生17680321)フーリエ級数の理論を作った
1830年5月16日-01:00|フランス| |||フランス議会総選挙で反政府派が過半数を獲得
1830年5月16日-09:00|日本| |||文政13年閏3月24日|2代大谷友右衛門(62歳)歌舞伎役者
1830年5月16日-09:00|日本|東京都|文政13年閏3月24日|<死去>石川雅望(78歳)狂歌師、国学者、戯作者

1830迄 (2634件)

1830年5月22日-09:00|日本| ||文政13年4月|<出版>歌川国直「神事行燈」四編
1830年5月24日 06:00|アメリカ| ||米ボストンでサラ・ジョセファ・ヘイルの詩「メリーさんのひつじ」発刊
1830年5月24日 06:00|アメリカ| ||ボルトンとオハイオ間の鉄道の最初の1区間が開通
1830年5月25日-01:00|フランス/アルジェリア| ||フランス王シャルル10世、「オスマン帝国」の属領アルジェリアに出兵
1830年5月28日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連邦議会で、インディアン強制移住法が可決される/北部の部族は移住に応じるが、部分的に農耕を営んでいた南部のインディアン五部族は、強制移住令に抗議し抵抗・反乱
1830年5月29日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連邦議会で公有地先買権法制定
1830年5月31日 06:00|アメリカ| ||ジャクソン大統領、カンバーランド道路拡張法案に署名
1830年6月1日-09:00|日本| ||文政13年4月11日|<死去>2代松井幸三(38歳)歌舞伎作者
1830年6月1日-09:00|日本|福岡県柳川市|文政13年4月11日|<死去>筑後柳河藩104200石「立花鑑賢」(42歳)⇒次男「立花鑑備」が継ぐ(⇒弘化3年3月24日(18460419)、死去)
1830年6月3日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トリニダード知事代行「チャールズ・フェリックス・スミス卿」(2期目~18311205)
1830年6月4日 05:00|エクアドル| ||元ボリベア大統領アントニオ・ホセ・スケレ、エクアドル初代大統領として赴任の途中、コロンビア南部の町ベルベコにおいて軍人のフアン・モリヨらによって殺される
1830年6月8日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領メウラ総督「Luis Cappa y Rioseco」(2期目~1835年)
1830年6月8日 06:00|アメリカ| ||世界周遊を成し遂げた最初の戦艦「インセン」号、ニューヨークに帰還
1830年6月10日-09:00|日本|長野県上田市|文政13年4月20日|<交替>信濃国上田藩53000石「松平忠学」隠居⇒養子「松平忠固」が継ぐ(⇒安政6(1859)年9月14日、急死)
1830年6月12日-08:00|中国| ||清・道光10年閏4月22日|中国・河北省、磁県地震M7.5、犠牲者数千人
1830年6月13日-09:00|日本|福井県坂井市|文政13年4月23日|<交替>越前丸岡藩5万石「有馬誉純」隠居⇒孫婿養子「有馬徳純」が継ぐ(⇒天保8(1837)年9月22日、死去)
1830年6月14日-01:00|アルジェリア/フランス| ||フランス軍がシディ・フルージュに上陸し、アルジェリア征服開始
1830年6月18日-03:00|エチオピア| ||<即位>エチオピア帝国皇帝「ヤサ4世サモン」(~18320318)
1830年6月21日-01:00|ジブラルタル/イギリス| ||<設立>イギリス直轄植民地ジブラルタル
1830年6月22日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|文政13年5月2日|<死去>因幡鳥取藩32万石「池田斉稷」(43歳)⇒長男「池田斉訓」が継ぐ(⇒天保12年5月16日(18410704)、死去)
1830年6月24日-09:00|日本|茨城県笠間市|文政13年5月4日|<死去>松平頼救(75歳)前常陸宍戸藩主
1830年6月26日 00:00|イギリス/ドイツ| ||<死去>グレートブリテン国王「ジョージ4世」兼ハノーファー国王「ゲオルク4世」67歳誕生17620812)
1830年6月26日 00:00|イギリス/ドイツ| ||<即位>グレートブリテン国王「ウィリアム4世」兼ハノーファー国王「ヴィルヘルム」ゲオルク4世の弟(~18370620死去71歳)
1830年6月26日-09:00|日本|福島県会津若松市|文政13年5月6日|会津藩城内三の丸で倉庫の縁類を利用し通矢/足軽田中五郎が45間の距離を朝~夕までに6千本通す
1830年6月28日 03:00|ウルグアイ| ||<就任>ウルグアイ暫定司令官兼知事「Juan Antonio Lavalleja」(~10.24)
1830年7月-02:00|ルーマニア/ロシア| ||<就任>ワキアのデヴィアンのロシア副大統領(モルダヴィアの大統領に従事)「ティトリク」
1830年7月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| ||<就任>ビサウ司令官「ジョアキン・アントニオ・デ・マリス」(3回目~1834年)
1830年7月1日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| ||<就任>セント・マース島・セントジョン島総督「Frederik Ludvig Christian Pentz Rosenornj」(2期目~18310330)
1830年7月4日-08:00|マレーシア| ||<死去>トレンガヌスultan「トゥアンク・アフマド・シャー1世、イブニ・アル=マルフム・スultan・ザイナル=アビディン」
1830年7月4日-08:00|マレーシア| ||<即位>トレンガヌスultan「トゥアンク・アブドゥル=ラマン・イブニ=アル=マルフム・スultan・ザイナル=アビディン」(~18310131)
1830年7月5日-04:00|レユニオン/フランス| ||<就任>ブルボン島知事「Etienne Henry Mengin Duval d'Ailly」(~18321107)
1830年7月5日-01:00|アルジェリア/フランス| ||<就任>フランス軍アルジェリア司令官「ジェイス・ド・ブルモン伯爵」(~9.3)
1830年7月5日-01:00|アルジェリア/フランス| ||フランス軍がアルジェを占領、サイン降伏
1830年7月7日 00:00|セネガル| ||<就任>ワロ統治者(フラク)「セルフィ・シャリ・ダロ」(1回目~1832年)
1830年7月20日-09:00|日本| ||文政13年6月|<出版>岳鼎「猿蟹ものがたり」
1830年7月26日-01:00|フランス| ||フランス王シャルル10世が7月勅令を發布/言論・出版の自由の制限、自由派多数の下院(未招集)の解散、選挙法の改定による資産家優遇など
1830年7月27日-01:00|フランス| ||フランス、七月革命(栄光の3日間)がはじまる
1830年7月28日 06:00|ホンジュラス| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国ホンジュラス最高国家元首代行「ホセ・サントス・デ・イラス・デル・バジェ」(~18310312)
1830年7月29日-01:00|フランス| ||<就任>フランス王国第9代首相「カシミール・ルイ・ガイユルニユ・ド・ロシュユア」(~同日)
1830年7月29日-01:00|フランス| ||フランス、民衆がパリの実権を握る
1830年7月30日 04:00|バミューダ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督代理「ロバート・ケネディ」(2期目~11.1)
1830年8月-01:00|ドイツ| ||ザクセン、ハノーヴァーなどで都市下層民が独立を求め暴動
1830年8月 04:00|英領ヴァージン諸島/イギリス| ||<就任>ヴァージン諸島主席「John Middleton Donovan」(~1837年)
1830年8月2日-01:00|フランス/イギリス| ||<退位>フランス国王「シャルル10世」イギリスに渡る
1830年8月2日-09:00|日本|東京都千代田区|文政13年6月14日|<死去>一橋徳川家10万石「徳川斉礼」(28歳)⇒7月19日、養子「徳川斉位」が継ぐ(⇒天保8(1837)年5月7日、20歳で死去)

1830迄 (2634件)

1830年8月9日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「フランス王(オルアン家)ルイ・フィリップ」(~1848年)

1830年8月9日-01:00|フランス| |||<就任>オルアン公「フェルディナン・フィリップ」王太子(~18420713、事故死31歳)

1830年8月9日-01:00|フランス| |||<就任>ヌムル公「ルイ・シャルル」(~18960626死去)

1830年8月9日-01:00|フランス| |||<即位>フランス国王(オルアン朝)「ルイ・フィリップ 国民王」ルイ13世の男系6世孫ルイ16世・ルイ18世・シャルル10世と5代前が兄弟同士(~18480224)

1830年8月10日 05:00|エクトル| |||リオンバのエクトル制憲会議、共和国として独立宣言

1830年8月12日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「アルカンタラ男爵・子爵ジョアン・イナシオ・ダ・ケニヤ」(1回目~10.4)

1830年8月13日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国七月王政第9(10)代閣僚評議会議長「アシル＝ヴィクトル＝シャルル・ド・フロイ」オルアニスト(~11.2)

1830年8月19日 07:00|日本|京都府|文政13年7月2日|<文政13年京都地震>16時ごろ京都を中心にマグニチュード6.5クラスの大地震/京都洛中、洛外で激しく、二条城本丸や御所に被害が出たほか土蔵の被害が多かったが、民家の倒壊は少なかった/京都で280人が死亡/近国では近江の大津、丹波亀山で町家が倒壊し死傷者が出ている

1830年8月23日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト＝ケーテン公「Frederick Ferdinand」

1830年8月23日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「ランペルトツツのイメルダ」》

1830年8月23日-01:00|ドイツ| |||<即位>アンハルト＝ケーテン公「Henry」(~18471123死去))

1830年8月23日-09:00|日本|岡山県真庭市|文政13年7月6日|<交替>美作勝山藩23000石「三浦てる次」隠居⇒養子「三浦誠次」が継ぐ(⇒天保2(1831)年2月14日、死去)

1830年8月25日-01:00|ベルギー/オランダ| |||ベルギーで、オランダ支配に対して、ブリュッセル市民が反乱を起こす

1830年8月25日 01:00|カーホ＝ベルデ/ホルガール| |||<就任>カーホ＝ベルデ 総督「ドゥアルテ・ダ・コスタ・イ・ソウザ・デ・マセド」(~1831年)

1830年8月27日-01:00|フランス| |||<死去>アンギャン公「ルイ4世アンリ」兼ギーズ公・コンデ公「ルイ5世アンリ」自宅で変死死体として発見される

1830年8月30日-01:00|フランス| |||<死去>ブルボン公「ルイ6世アンリ」

1830年8月30日-09:00|日本|福島県郡山市|文政13年7月13日|<死去>陸奥守山藩2万石「松平頼慎」(61歳)⇒長男「松平頼誠」が継ぐ(⇒文久2(1862)年8月13日、死去)

1830年9月3日-01:00|アルジェリア/フランス| |||<就任>フランス軍アルジェリア司令官「クラウセル伯爵ペルトラン」(~18310321)

1830年9月3日-09:00|日本|京都府|文政13年7月17日|<文政13年京都土砂災害・宇治洪水>鴨川、宇治川があふれて洛中上京、宇治地域が洪水/特に洛中音羽山から土石流が起こり清水寺の廻廊を崩し市内へ押し出した/宇治では地震で半壊状態の所に急な洪水で、宇治橋の流失をはじめ被害が甚だしい/洪水と土砂災害で合わせて520人余死亡

1830年9月9日-01:00|ドイツ| |||<即位>プ라우ンシュヴァイク公「ゲイルヘルム」カール2世の弟(~18841018死去)

1830年9月11日 05:00|コロンビア/パナマ/エクトル/ベネズエラ| |||<就任>コロンビア共和国大統領代行「ラファエル・ホセ・ウルダネータ・フアラ」(~18310430)

1830年9月15日 00:00|イギリス| |||<死去>4代アッル公・4代ティリバーデイン侯・7代トリバーデイン伯・4代ストラステ＝ストラエーテル伯・初代ストレンジ伯「ジョン・マレー」

1830年9月15日 00:00|イギリス| |||<就任>5代アッル公・5代ティリバーデイン侯・8代トリバーデイン伯・5代ストラステ＝ストラエーテル伯・2代ストレンジ伯「ジョン・マレー」4代公の長男(~18460914死去)

1830年9月15日 00:00|イギリス| |||リバプールとマンチェスター間の鉄道が正式に開通

1830年9月16日 00:00|イギリス| |||英国が初の戦車を実戦に投入

1830年9月16日 06:00|グアテマラ/ニカラグア/ホンジュラス/エルサルバドル/コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国大統領「ホセ・フランシスコ・モラサン・ケサダ」(統治期間中に連邦共和国首都をグアテマラからソソナテへ遷都、その後ササルバドルへ移した~18340916)

1830年9月17日-08:00|中国| |||清・道光10年8月|ジヤンギールの兄ユースフがカシュガルに侵入し反乱

1830年9月19日-09:00|日本|東京都|文政13年8月3日|長岡藩、江戸藩邸の上屋敷内に、江戸詰藩士子弟のため就正館を設

1830年9月22日-09:00|日本|三重県桑名市|文政13年8月6日|<死去>松平忠功(75歳)前伊勢桑名藩主

1830年9月26日-01:00|ベルギー| |||ブリュッセルで自由主義者らが勝利し、臨時政府が樹立される

1830年9月26日 05:00|パナマ/コロンビア| |||パナマ、コロンビア共和国からの分離独立を宣言

1830年9月27日 06:00|アメリカ| |||チクト族とはねうさぎ川条約調印

1830年9月28日-01:00|クロアチア| |||<即位>クロアチア王「フェルディナント5世」(~18481202)

1830年10月-02:00|ギリシャ/エジプト| |||クレタ島にエジプトが侵攻(オスマン帝国を代表して)占領(~1831年)

1830年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャンバティスタ・オノフリ」「ピエールアントニオ・ダ・ミラニ」

1830年10月4日-01:00|ベルギー/オランダ| |||ベルギーがオランダから独立を宣言

1830年10月4日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ホセ・アントニオ・ダ・シルバ・マイア」(1回目~12.24)

1830年10月6日-09:00|日本|千葉県野田市|文政13年8月20日|<死去>下総関宿藩58000石「久世広運」⇒10月12日、養子「久世広周」が継ぐ(⇒万延元(1860)年、68000石に加増)

1830年10月10日-01:00|スペイン| |||<就任>アストurias公(スペイン国王の推定相続人)「イサベル・フェルナンド7世」の長女、後のスペイン女王イサベル2世(~1833年~19040410)

1830年10月11日-01:00|ポーランド| |||<初演>フレデリック・フランソワ・ショパン《ピアノ協奏曲第1番林短調Op. 11》

1830年10月16日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「Johannes van den Bosch」(~18330702)

1830年10月17日-09:00|日本|東京都|文政13年9月|<襲名>7代横綱「稲妻雷五郎」(~天保10年11月)

1830迄 (2634件)

1830年10月19日-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「ヘーメル2世」(~18511019死去)
1830年10月19日-09:00|日本|新潟県柏崎市|文政13年9月3日|<死去>越後椎谷藩1万石「堀直哉」(33歳)⇒10月25日、長男「堀之敏」が継ぐ(⇒文久2(1862)年12月8日、死去)
1830年10月20日-09:00|日本|新潟県長岡市|文政13年9月4日|長岡藩領栃尾郷炭村の農民、御用炭の負担軽減、売炭の自由化を求め、一揆(炭村一揆)を起こす
1830年10月21日 00:00|イギリス| |||<就任>ビバリー伯「ジョージ・ハーシー」(⇒18650212兼5代ノサンバーランド公~18670822死去)
1830年10月22日-01:00|モンテネグロ| |||<退位>モンテネグロ王「ヘーメル1世」
1830年10月22日-01:00|ルクセンブルク/ベルギー| |||ベルギーがルクセンブルク(要塞都市を除く)を占領管理(~18390119)
1830年10月24日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>ウルグアイ東方共和国上院議長「Luis Eduardo Perez」(~11.6)
1830年10月24日 04:00|トミカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領トミカ総督代行「ジェームズ・ホッター・ロックハート」(~18320107)
1830年10月27日-01:00|ベルギー/オランダ| |||ベルギーのアントワープ市民がオランダの支配に対して蜂起し、要塞のオランダ軍が市街を砲撃
1830年10月27日 06:00|グアテマラ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国グアテマラ最高国家元首「アントニオ・リベラ・カベサス」(~18310210)
1830年11月-01:00|フランス| |||フランスの小説家スタンダールが「赤と黒」を刊
1830年11月1日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督「ヒルゴ・ローフ・ターナー卿」(3期目~18320110)
1830年11月1日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Jean Henri Joseph Dupotet」(~18340404)
1830年11月2日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国第10代首相「ジャック・ラフィット」オルアナリスト(~18310303)
1830年11月5日-09:00|日本|愛知県豊田市|文政13年9月20日|<交替>三河拳母藩2万石「内藤政成」隠居⇒弟「内藤政優」が継ぐ(⇒嘉永4(1851)年2月12日、死去)
1830年11月6日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>ウルグアイ東方共和国第1回憲法大統領「フルトゥオソ・リベラ」コロト党(1期目~18341024)議会制を基礎とする統一共和国がスタート
1830年11月8日-01:00|イタリア| |||<死去>両シチリア王「フランチェスコ1世」
1830年11月8日-01:00|イタリア| |||<就任>カラブリア公(両シチリア王の推定相続人の称号)「フランチェスコ・フェルディナンド2世」の長男(~18590522、両シチリア王フランチェスコ2世)
1830年11月8日-01:00|イタリア| |||<即位>両シチリア王「フェルディナンド2世」(~18590522死去)
1830年11月12日-08:00|マレーシア/シンガポール/イギリス| |||<就任>イギリス領海峡植民地総督「ロバート・イェットソン」(~18331207)
1830年11月15日 00:00|イギリス| |||イギリス総選挙で、トリー党が敗北
1830年11月16日 00:00|イギリス| |||<辞任>イギリス連合王国第25代首相「初代ウェリントン公爵アーサー・ウェルズリー」
1830年11月20日-09:00|日本|福岡県朝倉市|文政13年10月6日|<交替>筑前秋月藩5万石「黒田長韶」隠居⇒養子「黒田長元」が継ぐ(⇒万延元(1860)年8月21日、隠居)
1830年11月22日 00:00|イギリス| |||<就任>イギリス連合王国第26代首相「第2代グレイ伯爵チャールズ・グレイ」ホイッグ党(~18340716)
1830年11月29日-01:00|ポーランド/ロシア| |||<11月蜂起>ポーランド・ロシアで下士官たちがロシア帝国に対して/ロシア軍鎮圧
1830年11月30日-01:00|バチカン| |||<死去>第253代ローマ教皇「ピウス8世」[17611120生~](享年69)
1830年12月-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ポズナń大公国総督「Eduard Heinrich von Flottwell」(~1841.5)
1830年12月 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ総督「ファン・エリシオ・アルス」(~1831年没)
1830年12月 05:00|コロンビア| |||大コロンビアは、ヌエバ・グラナダに名称復帰
1830年12月4日 00:00|リベリア/アメリカ| |||<就任>アメリカ領リベリア植民地代理人「ジョセフ・マクリン・ジュニア」(2回目~18330924)
1830年12月4日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国内エルサルバドル国家元首「ホセ・マリア・コルネリ」(~18320403)
1830年12月5日-01:00|フランス| |||<初演>リイ・エクトル・ベルリオーズ《幻想交響曲》
1830年12月5日-09:00|日本|愛媛県大洲市|文政13年10月21日|<死去>加藤泰賢(64歳)前伊予新谷藩主
1830年12月7日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、新しい民主党政府機関紙ワシントン・グローブ創刊
1830年12月11日 05:00|パナマ/コロンビア| |||パナマ、ホリーバルの説得によりコロンビア共和国への復帰を決定
1830年12月12日-01:00|セルビア| |||セルビア公国、オスマン帝国の宗主権下で自治国となる
1830年12月13日-01:00|アルジェリア/フランス| |||マズルキルをフランスが占領、サン・アントレ・ド・メル・イル・ケールと改名
1830年12月13日-09:00|日本|新潟県新潟市|文政13年10月29日|米価高騰のため、新潟町に大規模な打ちこわし起こる
1830年12月15日-09:00|日本| |||文政13年11月|<出版>京都の画工、青洋・虎岳等「狂歌百鬼夜興」
1830年12月15日-09:00|日本|東京都墨田区|文政13年11月1日|<大相撲>文政13年11月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西前2)渦ヶ淵、6勝0敗1分1預2休
1830年12月16日-09:00|日本| |||文政13年11月2日|<死去>森川竹窓(68歳)書家、画家、篆刻家
1830年12月17日 04:30|ベネチア| |||<死去>南アメリカの革命家シモン・ボリーバル/47歳(誕生17830724)
1830年12月19日-09:00|日本|京都府|文政13年11月5日|京都地震/M6.4、死者280人/二条城など損壊
1830年12月20日-08:00|マレーシア| |||<死去>ペラ・スルタン「アブド・ラ・ムアッザム・シャー・イブ・ニ・アル=マフム・スルタン・アブド・ウル・マリク・マンスール・シャー」
1830年12月20日-08:00|マレーシア| |||<即位>ペラ・スルタン「シャハブ・デイン・リアヤット・シャー・イブ・アル=マフム・ラジャ・イヌ」(~1851年没)

1830迄 (2634件)

1830年12月20日-01:00|ベルギー/イギリス| ||ロンドン会議でベルギーの独立と中立が承認される
1830年12月23日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督「パスクアル・エンリレ」(~18350301)
1830年12月23日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「アングルスー侯爵ヘンリー・ウィリアム・パジエット」(2回目~18330926)
1830年12月23日-09:00|日本|東京都千代田区|文政13年11月9日|江戸神田連雀町に、立川源四郎があんこう鍋「いせ源」を開く
1830年12月24日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「アルカンタラ男爵・子爵ジョアン・イサオ・ダ・クーニャ」(2回目~18310318)
1830年12月26日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「アンナ・ボレーナ」》